

一 般 質 問 通 告 書

平成18年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 宮田慶一郎	1 子供達の教育のあり方について	市発展には、人材育成が必要である。その中でも最も大切なのは、幼児・学童教育のあり方だと思うが、その考え方を問う。	市 長 教育委員長
	2 地元の農林水産業発展について	地元の産業を発展させ、雇用の場を創出させる必要がある。とりわけ農林水産業を発展させるため、どのような施策を考えているか問う。	市 長
	3 職員の綱紀肅正について	合併前の有明町役場内の雰囲気は良かったと思う。現在は、少々公務員として市民への対応が変わっていると感じているが、どう思うか。	市 長
	4 市道昭和・弓場ヶ尾線への分譲地からの出入口について	旧志布志町の土地開発公社で、大原地区を分譲したが、道路の角切りが小さいため、見通しが悪い。改良する考えはないか。	市 長
	5 西谷川の歩道用蓋板設置について	市道西谷線について、志布志小学校付近から志布志中学校への坂の入り口までは蓋板敷設済みである。その上流側も通学路であるが、蓋板を設置する考えはないか。	市 長
2 坂元修一郎	環境保全型農業問題について	(1) ポジティブリスト制度施行による航空防除について 食品衛生法の改正による残留農薬のポジティブリスト制度が5月より施行される。これまで行ってきた水稲航空防除の存続が懸念されるが、継続するための対策はどのように取られるのか。 (2) 農業用マルチシートの適正処理に対する行政関与について マルチ資材を使った農業が拡大するなか、回収率の低さと労力や環境への負荷が問題となっている。農業用マルチビニール等の適正処理を行うための行政支援策は考えられないか。	市 長
3 金子光博	県道の改良整備の見通しについて	(1) 柿ノ木・志布志線の柳橋～弓場ヶ尾間について (2) 塗木・大隅線の泰野地内の進捗状況はどのようになっているか。	市 長
4 長岡耕二	1 国際交流について	国際交流都市をどう進めていくか。	市 長
	2 地域政策について	(1) ふるさとづくり委員会はどうなっているか。 (2) 地産・地消の取り組みはどうなっているのか。	市 長
	3 道路行政について	(1) 県道の改良率が低い、今後の計画はどうなっているのか。 (2) 生活関連道の整備はどうするのか。	市 長
	4 教育行政について	(1) 小規模校の複式学級への対応について (2) 潤ヶ野小学校体育館建設はどうなっているのか。	教育委員長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成18年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小野広嗣	1 所信表明について	(1) 市民との共生・協働を目指した「総合的な新自治会システム」の具体的な内容について問う。 (2) 行財政改革を断行するうえでの、今後の方向性と課題について問う。 (3) 子育て日本一のまちづくりの具体的姿と、それを実現するための今後の施策展開のあり方について問う。	市 長
	2 商店街の振興について	旧志布志町の既存商店街の活性化へ向けた今後のビジョンを問う。	市 長
	3 支所機能の充実について	志布志支所の人員配置の現状認識と、空きスペースの有効利用に対する考え方について問う。	市 長
6 吉国敏郎	茶業振興について	(1) 旧有明町が、産地として取り組んだことに対して、志布志市としての取り組みは。 (2) 今後の市の進め方について (3) 市内の公共施設等への給茶器の整備は考えられないか。	市 長
7 東 宏二	1 大隅公共職業安定所志布志出張所の閉鎖に伴う建物利用計画について	大隅公共職業安定所志布志出張所が3月で閉鎖となるが、建物を市として譲り受ける予定はないのか。	市 長
	2 福祉タクシー事業について	当初予算で福祉タクシー事業の予算が840万円計上されているが、その利用形態について具体的に示せ。	市 長
8 小園義行	1 所信表明（政治姿勢）について	(1) 新しく誕生した志布志市の旧三町地域をどう認識しているか。 (2) 本庁舎及び本所機能を旧有明町にしたことでの影響をどのようにとらえているか。 (3) 合併による職員の異動で支所における窓口サービス等の実態をどうとらえているか。 (4) 平成18年度予算案で住民の負担増が計画されている具体的な内容について問う。(介護保険料、水道料) (5) 旧志布志町地域における福祉乗合いソバスの取組み状況について問う。	市 長
	2 健康増進法について	新市での対応と啓発のあり方について問う。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成18年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 下平晴行	1 人事について	(1) 職員の適材適所の配置について (2) 臨時職員の処遇について	市 長
	2 教育政策について	食育の取組みについて	市 長 教育委員長
	3 環境政策について	粗大ごみ等の戸別収集について	市 長
	4 道路整備について	(1) 県道3号線（日南・志布志線）の整備について (2) 市道（弓場ヶ尾・佐野原線）の整備について	市 長
	5 農業政策について	(1) 環境保全型農業の取組みについて (2) 航空防除のあり方について	市 長
10 上野直広	1 予算編成について	平成18年度の地方財政計画をどのように受けとめているか。	市 長
	2 財源の確保と事業の選択について	(1) 自主財源の確保についてはどうか。 (2) 経費合理化等についてはどうか。 (3) 事務事業の選択と財源の重点的・効率的配分についてはどうか。 (4) 有利な地方債の活用についてはどうか。 (5) 未利用財産の活用についてはどうか。	市 長
11 鶴迫京子	所信表明について	(1) 「いっど！ すっど！ やっど！」の精神とは、どういう精神のことを言うのか、具体的に示せ。 (2) 市民が輝く「共生」「協働」「自立」のまちづくりについて (3) 安心・安全・健康で住みよいまちづくりについて	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成18年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 鬼塚弘文	1 志布志港振興対策とアクセス道路の取り組みについて	(1) ポートセールスについての考え方を伺う。 (2) 観光船埠頭の有効活用について (3) 漁業振興及び海の駅レストラン構想について (4) 港湾から出入りする車両の台数と、今後の見通しについて (5) 国道220号と港湾道との接点(タッチ)について、どのような策を考えているのか。 (6) 志布志・都城間高規格道路の今後の展開について (7) 港湾関係の税込(平成17年度)を示せ。	市 長
	2 教育行政について	(1) 本市内25校の小中学校の児童・生徒数の規模と現況について伺う。 (2) 将来を見据えた学校教育の一端について、市教育委員会としての考え方について伺う。	市 長 教育委員長
	3 志布志支所庁舎の有効活用について	(1) 志布志保健所の庁舎移設を県に働きかけたらどうか。	市 長
	4 食品工業団地について	(1) 現況と今後の見通しについて問う。	市 長
	5 保養施設利用券について	(1) 蓬の郷は該当しないが、あれほどの人々が利用されるのだから、何らかの策は考えられないか。	市 長
2 立平利男	1 公約について	(1) 市民が輝くまちづくり 地域特性を生かした「地域活性化プロジェクト(地域再生促進事業)」の取り組みをどのように進めるか。 (2) 3つの力を合わせて 新しい事業(クリーンエネルギー産業バイオマス事業環境関連産業)を積極的に起こし支援することだが、今後の展開と支援をどうするか。 (3) 地域循環型産業振興に評価が高い畜産物やお茶、うなぎ、メロン、イチゴ、ピーマンなどの園芸作物等、安心安全な「本物づくり」のブランド化を推進し、加工関連産業の発展政策はどのように進めるのか。 (4) 安心安全 ・「子育て日本一」市独自の子育て支援策の取り組み ・ インフラ整備をどのように進めるか。 (5) 「国際交流都市」をめざして 「SHIBUSHIプロジェクト」の取り組みは	市 長
3 迫田正弘	1 畑かん営農等について	(1) 18年度曾於南部地区の一部通水、19年度曾於東部地区の完全通水に向けて、営農類型及び水利用計画の考え方について (2) 同じ市内に南部と東部の2つの水利組合が存在することになるが、施設管理や水の使用料はどのようになるのか。	市 長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
3 迫田正弘	2 岩崎グループ赤字バス路線廃止問題について	(1) 廃止路線と今後の方向性について、考えを伺う。 (2) 市では、福祉バス若しくはコミュニティバス導入の構想があるが、これを機に近隣市町を含め、広域的な視野に立って検討をすべきではないか。	市長
	3 在日米軍再編問題について	(1) 米軍の空中給油機訓練計画について、鹿屋・大隅地域の総意として反対を表明しているが、閣議決定されたことに対して、見解を問う。 (2) 反対の一方で地域振興策を期待する向きもあるようだが、周辺市町は、島原大変肥後迷惑とならないか。	市長
4 立山静幸	1 観光の振興について	(1) 枇榔島の払い下げについて (2) 枇榔神社の立ち入り許可について (3) 国際の森周辺の市有地の有効活用について (4) グリーン・ツーリズムについて (5) 姉妹都市盟約について	市長
	2 教育行政について	(1) 小中学校一貫校の推進について	教育委員長
5 藤後昇一	1 バス路線の廃止問題について	(1) 岩崎グループが南薩、大隅半島の赤字バス路線の廃止を一方的に通告しているが、志布志市の現状と影響はどうか。 (2) 廃止発表後の岩崎グループ、県などへ対してどのような対策を講じたか。その間の経緯と今後の見通しはどうか。 (3) 志布志市として、バス路線廃止問題に今後どのような具体的対策をもって解決していくのか、財政問題を含めて、考えを聞く。	市長
	2 医療制度改革法案成立後の志布志市への影響と問題点について	(1) 国会で医療制度改革関連法案が審議中であるが、成立すると7月から高齢者や医療機関に多大な影響が予想されるが、その情報の収集と対策は検討されているか。 (2) 法案が成立すると、高齢者の生活が直撃を受けるとともに、志布志市から病院が無くなる可能性も考えられる。志布志市が「医療砂漠」となり「介護難民」を出さないための方策は検討されているか。 (3) 法案のうち特に療養病床の消滅は、志布志市の介護保険財政や救急医療体制に危機的状況をもたらすと考えるが、その方策は検討されているか。	市長
6 小野広嗣	1 住民サービスについて	(1) 窓口業務の充実を図るうえで、市民の声をどのように把握しているのか。また、今後の窓口サービスの方向性をどのように考えているのか。 (2) ホームページによる、市民への情報提供のあり方について問う。	市長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
6 小野広嗣	2 少子化対策について	(1) 子育て支援の環境整備の現状と課題、今後の展望について問う。	市長
	3 商工業の振興について	(1) 大迫地区、食品関連団地分譲の今後の展望について問う。	市長
	4 教育行政について	(1) 国際化が進む中で、本市の小中学校における英語学習の推進状況について問う。	教育委員長
7 長岡耕二	1 農業振興について	(1) 「志布志市農業農村家業再生支援事業」の創設とあるが、基本的な考え方を問う。	市長
	2 教育行政について	(1) 小中学校の今後のあり方を庁内において検討委員会等を設置し、今後のあり方、学校区の見直し、学校の統廃合を検討するとあるが、基本的な考え方を問う。 (2) 学校施設の老朽化や整備改修計画の中で、優先順位をどのように考えているか。また、行政は継続されるべきであると思うがどうか。	市長 教育委員長
8 本田孝志	1 県道拡幅工事について	(1) 県道522号、尾野見・伊崎田線の拡幅改良工事はできないか。	市長
	2 市立伊崎田中学校校門の拡幅について	(1) 校門の拡幅はできないか。	市長
	3 市営有明球場の管理施設の整備について	(1) 電動方式による表示に改修はできないか。 (2) 球場施設開放時間について 球場施設の開場時間を、現行より30分早めることはできないか。	市長
9 西江園明	1 飲み水の水質について	(1) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素とは、どのような物質か。 (2) どうして、そのような物質が地下水や水道水に混入しているのか。 (3) この物質の毒性とは、どのようなものか。 (4) 市内のあちこちにあり、広く利用されている湧水場の水質検査をしたことがあるか。 (5) 広く利用されているこれらの湧水場を、市としてはどのように考えているか（位置づけているか）。 (6) 水道水について 旧3町の代表的な水源での、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素がどのくらい含まれているのか。（四半期ごとの変化状況（例）〇〇地区 〇月 〇〇%） (7) 環境省が出している「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素にかかる水質汚染対策マニュアル」について これについて、県から何らかの指導はなかったのか。 (8) 湧水場を検査対象箇所とする考えはないか。 (9) これらの水質状況を広報紙等に情報公開する予定はないか。	市長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
9 西江園明	2 志布志港の工事の地元業者への優先受注について	(1) 志布志港内にある市道とこれと通ずる幹線市道は、何本あるか。 ①本数 ②延長 それらを補修するとした場合、どれくらいの事業費がかかるか。 ①オーバーレイ工法 ②打換え工法 (2) 国、県の機関に地元業者が少しでも多く受注できるように働きかけるべきと思うがどうか。	市長
10 丸山 一	1 AED導入について	(1) 高齢化社会に対応するためには、必要ではないのか。	市長
	2 学童保育について	(1) 旧3町による保護者負担の一元化はできないか。	市長
	3 一丁田地区排水対策について	(1) 一丁田地区、通山地区線路跡地等の総合的な対策はできないか。	市長
	4 スポーツ振興について	(1) 多面のサッカー場をつくれぬか。	市長
11 岩根賢二	1 住みよいまちづくり対策について	(1) 安全・安心で住みよいまちづくりは、行政の最重要課題のひとつである。より住みよいまちづくりを進めるために、行政をサポートする「ボランティアセンター」のさらなる拡充は考えられないか。また、地域通貨の導入は考えられないか。 教育委員会は、ボランティア活動で、地域とどのように取り組む考えか。	市長 教育委員長
	2 障害者福祉の施策について	(1) 障害者の社会参加を促す意味から、車両改造に対する助成の制度は考えられないか。	市長
	3 情報提供のあり方について	(1) 市の情報を正しく、早く、わかりやすく市民に伝えることは、行政の責務である。 このことについてどのように取り組む考えか。	市長
12 重永重久	1 市職員の接遇（応対）について	(1) 合併後、約半年経過して、市長は市民の目線で行財政を進めていくと言うが、果たして職員の市民への行政サービスはどのように認識し、指導、監督を行っているか。	市長
13 上野直広	1 学校運営協議会制度について	(1) 学校運営協議会制度の指定を受ける考えはないか。 (2) 県道63号字尾交差点から黒葛自治会入り口まで歩道の要望があるが、要望に対して学校の熱意が感じられないが、どう考えるか。	教育委員長
	2 学校経営について	(1) 教職員に、個人プレーからチームプレーへの意識転換が必要ではないか。 (2) 根底に独自の理念が必要であるが、経営品質では、対話主義、現場主義、成果主義も必要だと考えるが、どう考えているか。 (3) これには、教職員の情熱と決意が重要と考えるが、どう考えているか。	教育委員長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
14 小園義行	1 政治姿勢について	(1) 米軍再編に伴う自衛隊鹿屋基地への移転について、考え方を問う。 (2) 地元の声を聞かない国のやり方に対して、どう考えるか。	市長
	2 交通政策について	(1) 岩崎グループのバス路線廃止計画の本市への影響と対応をどのように考えているか。	市長
	3 障害福祉について	(1) 障害者自立支援法施行2カ月を過ぎての障害者への影響はどうか。 (2) 定率1割負担をすることについて、どう考えるか。 (3) 市独自の軽減策を必要と考えるが、どうか。	市長
	4 母子保健事業について	(1) 乳幼児医療費の助成について、6歳まで無料にする考えはないか。 (2) 現物給付にして住民の負担を軽減する考えはないか。	市長
	5 介護保険について	(1) 一般会計から繰り入れをする等して、高齢者の負担を軽減する考えはないか。 (国保税についても問う。)	市長
	6 高齢者福祉について	(1) 社協等へ委託している宅配給食サービスは、現在旧3町で調理配食がされている。合併によって志布志支所に統合されるとのことだが、サービスの低下を招く恐れはないか。	市長

一般質問通告書

平成18年9月定例会

No.1

質問者	件名	要旨	質問の相手方
1 林 勇作	1 公有財産の管理について	曲瀬線道路敷（安楽5176番地）の管理委託について	市長
	2 福祉行政について	老人保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について	市長
	3 教育行政について	給食センター建設と民間委託について	市長 教育委員長
2 本田孝志	1 7月5日、6日の豪雨被害について	## 天災か豪雨災害かをお伺いしたい。 ## 災害後の対応について	市長
	2 高齢化する今日、バリアフリー化をどのように推進しているか。	身体障害者に対する志布志市の取り組みについて	市長
	3 志布志市の道路維持について	維持管理について	市長
3 立山静幸	観光振興について	## 国際の森に水道設備を ## 国際の森を展望、夜景の名所に取り組む考えはないか。 ## 種田山頭火句碑建立について ① 句碑建立の目的及び経緯について ② 今後の建立計画及び改善について ③ 市民に建立協力依頼は考えていないか。	市長
4 坂元修一郎	畑かんの積極的水利用について	## 国営かんがい排水事業も全面通水がせまってきたが、水を有効に使うための利用方法や、かん水技術、かん水資材等の情報など、農家への周知はどうされるのか。 ## 推進品目が選定してあるが選定基準は何か。産地化された推進品目外には水利用の効果が高く、収益性の高い新規推進品目はないか。 ## 水を利用した畑かん営農の現場では、土壌の排水性が効果を大きく左右するが、深耕、天地返し、明・暗渠設置等の排水に対する事業の展開はあるか。 ## 畑かんで効果を上げるための土作りと、地下水の環境保全については、どう考えるか。 ## 茶園の防霜では間断散水が検討されているようであるが、間断にする根拠と効果についてはどう考えるか。 ## 水の多目的利用には、どのようなものがあるか。	市長

一般質問通告書

平成18年9月定例会

No.2

質問者	件名	要旨	質問の相手方
5 小野広嗣	1 住民サービスについて	住民サービスに資するための住民基本台帳カードによる利活用方法の検討状況について問う。	市長
	2 福祉施策について	## 成年後見制度の利用促進のための相談支援や課題について問う。 ## 高齢者、特にひとり暮らし高齢者への火災警報器設置促進について問う。	市長
	3 健康増進について	先の通常国会でがん対策基本法が成立したが、本市のがん検診の質の向上、受診率アップについての取り組みを問う。	市長
	4 教育行政について	義務教育における保護者負担（教材費、学校指定物品費等）の軽減について、教育委員会の考え方を問う。	教育委員長
6 玉垣大二郎	1 教育行政について	## 水難救助法の実施について問う。 ## 学校での環境対策について問う。	市長 教育委員長
	2 地域振興策について	## ふるさとづくり委員会について問う。 ## 志布志市街地の活性化について問う。	市長
7 金子光博	1 地方公務員の服務規律について	市職員、教員の規律指導をどのように行っているか。	市長 教育委員長
	2 海釣り公園について	海洋性レクリエーションの場の整備は考えられないか。	市長
	3 県道の整備について	県道柿ノ木・志布志線（柳橋～弓場ヶ尾間）の整備状況の進行度と今後の見通しについて	市長
8 宮田慶一郎	本市の小学校英語教育について	「英語に慣れ親しむ」とは、どのような授業をするのか問う。	市長 教育委員長
9 木藤茂弘	1 野菜産地強化策について	## 装置化された畑地における主要作物の具体的な点から面への生産計画があるのか。 ## 生産団地育成の手法について ## 人的装備はどのようになされているのか。 ## メロン生産団地の再生について ## 新市に伴う生産者組織の方向付けについて	市長
	2 肉用牛振興の取り組みについて	## 肉用繁殖雌牛導入資金貸付金について ## 子牛価格の平準化について ## 新市に伴う生産者組織の方向付けについて	市長
	3 農地災害復旧について	ほ場整備事業実施地区に伴う一時利用指定地の災害復旧の取り扱いについて	市長

一般質問通告書

平成18年9月定例会

No.3

質問者	件名	要旨	質問の相手方
10 藤後昇一	防災対策について	<p>## 本市の新防災計画書作成の進捗状況と概要を問う。</p> <p>## 校区ごとの防災マップの作成について問う。</p> <p>## 地震、津波、豪雨等災害ごとのハザードマップの作成について問う。</p> <p>## 地域自主防災組織や地域防災推進員の育成、活用対策について問う。</p> <p>## 高齢者、障害者等の災害弱者対策について問う。</p> <p>## 減災・防災を目的とした市独自の「防災条例」の策定について問う。</p>	市長
11 小園義行	1 政治姿勢について	保育所の民間移管についての対応や人事異動についての考え方を問う。	市長
	2 障害者福祉について	<p>## 障害者自立支援法施行5カ月を過ぎて、障害者の負担増を含め、影響はどうか。</p> <p>## 児童ディサービス等の利用者負担が10月以降どう変わるか。</p>	市長
	3 介護保険について	<p>## 地域包括支援センターの果たす役割は、大変重要と考える。市長の認識を問う。</p> <p>## 平成19年4月以降、ケアマネージャーは一人8件までしか担当できない。現在の体制で十分な対応が可能か。</p>	市長
	4 国民健康保険について	住民の生活は大変厳しい状況にある。法に基づき、医療費の一部負担金の免除について、住民に十分な周知がなされているか。	市長
	5 非常備消防について	志布志方面隊中央分団は、職員の異動で、初期消火活動を含め、対応はどうか。	市長
12 下平晴行	1 生活保護福祉について	生活保護の認定を市でするようになったが、公平公正に認定されているか。また、合併前との違いはあるか。	市長
	2 水道水の水質及び水源地の施設の管理について	<p>## 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の濃度が極めて高いが、年次的、将来的にどのような対策をしていくのか。</p> <p>## 台風や大雨等に、水源地の施設が冠水するが、今後どのような対策を考えているか。</p>	市長
	3 行政改革について	<p>## 組織の見直しについて</p> <p>## 事務の効率化について</p> <p>## 職員数の適正化について</p>	市長

一般質問通告書

平成18年9月定例会

No.4

質問者	件名	要旨	質問の相手方
13 鶴迫京子	1 環境行政について	<p>## ふれあい広場、多目的広場（志布志運動公園）の南側に、水飲み場の設置はできないか。</p> <p>## 両広場の南側下の緑地公園に通じる階段の安全性を問う。</p> <p>## 全市の公園緑化事業の推進と花いっぱい運動推進について</p> <p>## 道路里親制度の導入について</p>	市長
	2 男女共同参画社会推進について	<p>## 「女性支援」ということに対する認識を問う。</p> <p>## 「女性支援対策室」が設置されたが、これまでの経緯と内容を、そして今後の方向性をどのようにとらえているか。</p> <p>## 女性支援推進会議の具体的計画内容と目的について問う。</p>	市長
	3 子育て支援について	<p>0才児～小学校4年生までの子どもを預けられるシステムづくりとして、行政と市民の協働による有償ボランティアでの子育て応援団の設置はできないか。 （お願い会員、まかせて会員、両方会員）</p>	市長
14 野村公一	1 教育行政について	<p>検討委員会における今後の基本方針について</p>	教育委員長
	2 施政方針について	<p>進捗状況を問う。</p> <p>## 行財政改革の目標と進め方について</p> <p>## 行政組織と人事管理と適材適所について</p> <p>## 男女共同参画社会への取り組みについて</p> <p>## 商工観光振興策について</p> <p>## 企業誘致への取り組みについて</p> <p>## 港湾の利活用と振興策の進め方について</p> <p>## 漁業振興と資源の確保について</p> <p>## 歴史のまちづくり事業への対応について</p>	市長
	3 政治姿勢を問う	<p>公平、平等の行政の在り方について</p>	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成18年12月定例会 No.1

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 立平利男	1 財政について	(1) 特例債の起債予定総額、活用方策、具体的方策をどのように考えているか。 (2) 過疎債、辺地債の起債現在額、今後の起債予定額は。	市 長
	2 女性用トイレについて	開田の里公園や志布志港旅客船埠頭等の女性用トイレの増設はできないか。	市 長
2 迫田正弘	1 保育行政について	(1) 民間移管の考え方について (2) 来年4月からの民間移管は拙速すぎると思うが、保護者等の理解や同意は得られたのか。 (3) 移管先は内定しているのか。	市 長
	2 畑地かんがい排水事業の水利用について	利用権設定農地の畑かん給水について、利用権設定がされている間、借り手で行うことはできないか。	市 長
	3 平成19年度の予算編成方針について	(1) 平成19年度予算編成方針について問う。 (2) 新生志布志市の中・長期的な財政見通しについて問う。	市 長
	4 特別職等の人事について	地方自治法改正に伴う副市長の配置並びに収入役廃止の考え方について	市 長
3 立山静幸	1 肉用牛振興について	(1) 子牛の飼育管理指導について ① 濃厚飼料の給餌と過肥対策は。 (2) 優良牛確保対策について (3) パドック牛舎補助基準の緩和について	市 長
	2 教育行政について	(1) 一家庭一家訓について (2) 食育について ① 平成17年6月17日食育基本法が公布されたが、これの普及度合いは。 (3) スローライフの取組について ① 老人クラブ会員、婦人団体連絡協議会会員に自然、歴史、文化施設等、市内めぐりの実施を。	市 長 市 長 教育委員長
4 小野広嗣	1 地域振興策について	(1) グリーンツーリズム等による体験型観光の推進状況と今後の展望について問う。 (2) 「2007年問題」と呼ばれる団塊の世代の大量退職を目前に控え、人材誘致や移住・交流の促進に向けた施策を検討すべきではないか。	市 長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
	2 児童虐待・DV対策について	(1) 児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する、本市の現状と対応策について問う。	市長
	3 教育問題について	(1) 市内小・中学校における「いじめ」や不登校の実態について、学校及び教育委員会はどのように現状を把握し、解決に向けて取り組んでいるか。 (2) 教育再生会議のいじめ問題緊急提言に対する市長及び教育委員会の考え方を問う。	教育委員長 市長 教育委員長
5 鬼塚弘文	1 「さんふらわあ」存続問題について	存続してもらうための環境整備について問う。 (1) 今後の対応策について問う。 (2) 県の対応について問う。 (3) 港湾とアクセス道路の関係について (4) 「さんふらわあ」と本市、大隅半島の商工、観光、農業、漁業との関係について (5) 財政状況及び支援策について	市長
6 毛野 了	1 本市の農業振興と施策について	後継者育成と認定農家支援策等々について	市長
	1 県道の改良整備の状況について	柿ノ木・志布志線の着工・完成の進捗状況と今後の取組について	市長
	1 産業振興と活性について	市内の遊休地の活用と企業誘致の取組現況と対策について	市長
7 岩根賢二	1 交流促進策について	市民の中には合併前の他の2町の状況を知りたいと思っている人も多いと思うが、市内の各町の概要を把握し、交流促進を図る意味で、各町の見学会を企画する考えはないか。	市長
	2 子育て支援策について	(1) 育児や家事の援助を受けたい人と、それらを援助したいという人の支援をするためのファミリーサポートセンターの設置は考えられないか。 (2) 認定こども園への取組みを進めるべきではないか。	市長
	3 自殺予防対策について	今まで自殺は個人の問題としてとらえられていたが、いじめによる子供の自殺や中高年の自殺も増えており、自治体としても、その対策に取り組むべきと思うが、その考えはないか。	市長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
8 丸山 一	1 環境について	(1) 市の水道水は安心・安全な水か。 (2) 森林環境税条例の適用拡大を。	市長
	2 道路行政について	飯山・通山1号線の改良について	市長
	3 消防行政について	輝北分署の今後の取扱いについて	市長
9 小園義行	1 合併効果について	(1) 合併後1年経過したが、松山町、志布志町地域の商店街をはじめとした状況をどう受け止めているか。 (2) 合併の効果をどう考えているか。 (3) 本庁機能をはじめ総合支所方式等、見直しをすべきと考えるがどうか。	市長
	2 児童福祉について	(1) 保育所の民間移管について、保護者の声をどう受け止めているか。 (2) 2005年4月に改正児童福祉法が施行された。児童に対する虐待防止等を目的としたネットワークや要保護児童対策地域協議会の設置に向けての取組はどうか。	市長
	3 国保について	(1) 平成17年度決算を受けて、医療費の伸びに対する対策が必要と考えるが、現状の認識を問う。 (2) 予防保全としてレセプトの点検や保健師の活用も必要と考える。対応を問う。 (3) 医療費の抑制対策としてドック検査等への補助は考えられないか。	市長
10 八久保壹	1 志布志市の将来像について	(1) 「さんふらわあ」撤退の影響と存続への意欲について (2) 教育環境の悪化について (3) 少子化対策について	市長 教育委員長 市長
	2 「さんふらわあ」が示唆したものは何か。	(1) 原因解明と対策について (2) 道路網整備の早期実現を目指せ。 (3) スポーツ観光都市宣言について	市長
	3 学校・教育の環境悪化について	(1) 悪化の原因とその対策は。 (2) 志布志独自の教育改革について	市長 教育委員長
	4 少子化対策について	(1) 過疎化とその対策について (2) 人口増推進について	市長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
11 長岡耕二	1 「さんふらわあ」撤退について	(1) 「さんふらわあ」志布志・大阪航路存続運動を展開しているが、市長の感触はどうか。 (2) 「さんふらわあ」が、もし撤退した場合の経済的影響は、金額にするといくら位か。 (3) 「さんふらわあ」が、もし撤退しても志布志港に対する国、県からの補助金等は変化はないか。	市長
	2 地域振興について	(1) 地域活性化住宅を志布志の農村地区にも建設できないか。 (2) 各学校の対震度調査の結果はどうだったか。 (3) 潤ヶ野小体育館は、過疎計画の中で19年度建設がうたってあるが、進捗状況はどうか。	市長 教育委員長 市長
	3 災害復旧について	(1) 夏の水害により道路の全面通行止めとなっている所は何箇所あるか。 (2) その復旧計画、進捗状況はどうか。 (3) 水害の大きかった大性院地区の復旧は、どう考えているか。 (4) 水田や畑の復旧状況はどうか。	市長
12 金子光博	1 海釣り公園について	海洋性レクリエーションの場として、海釣り公園の整備計画は考えられないか。	市長
	2 地方公務員の服務規律について	市職員の飲酒による交通違反、交通事故等に係る懲戒処分に関する基準は定めてあるか。	市長
	3 県道の整備について	柿ノ木・志布志線の進捗状況はどうか。	市長
13 宮城義治	1 農業振興について	(1) 市全体の農地未整備地区の(田・畑)面積と今後の対応策は。 (2) 野井倉開田(旧飛行場地区)のほ場整備の計画は。	市長
	2 消防行政について	市消防団員の体制は万全か。今後の対応は。	市長
	3 女性職員の管理職登用について	女性職員を管理職に登用すべきではないか。	市長
	4 教育行政について	(1) 市内の児童・生徒の不登校について (2) いじめの実態は。	教育委員長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
14 福重彰史	1 郵政事業について	郵政民営化に向け、志布志市管内における収集・配達（集配）業務再編計画は、どのようになっているか。また、その対応について。	
	2 保育行政について	公立保育所の民間移管について、現状（進行度）と今後のスケジュールについて。また、その必要性を問う。	市長
	3 県道の整備について	県道柿ノ木・志布志線、柳橋～弓場ヶ尾間の進捗状況と整備計画について	市長
	4 生活環境整備について	(1) 曾於南部厚生事務組合の管理する清掃センターの現状と今後の見通しについて (2) 「ごみゼロのまちづくり」に向けた取組と思想、啓発の考え方について (3) 生活排水対策の現状と今後の考え方について	市長
15 鶴迫京子	1 教育行政について	(1) 本市における教育相談体制について ① いじめ、不登校、問題行動等への現状認識の対応、対策とスクールカウンセラーについて (2) 「朝ごはん条例」の制定は考えられないか。	市長 教育委員長
	2 AED導入について	AED（自動体外式除細動器）導入についてのその後の協議結果はどうなったのか問う。	市長
16 東 宏二	1 観光行政について	志布志市の基本的観光の考え方を問う。	市長
	2 商工行政について	旧志布志町の商店街の活性化対策にどう取り組むのか問う。	市長

質問者	件名	要旨	質問の相手方
17 下平晴行	1 財政政策について	<p>(1) 夕張市は、財政破綻で市民に税等の負担増のため脱出者が出ており大変な状況である。本市は大丈夫か。また、企業会計的手法の導入はできないか。</p> <p>(2) 財源確保の一環で広告事業を導入できないか。</p> <p>(3) 納税に対する市民の不公平な現状を解消するために、滞納者の行政サービスの利用制限を図るべきだと思うがどうか。</p> <p>(4) 補助金等の見直しについて問う。</p>	市長
	2 教育行政について	<p>(1) 単身赴任の学校管理者がいるが、地域・学校・家庭との連携は大丈夫か。</p> <p>(2) 全国的にいじめによる自殺者が増えて大きな問題になっている中で、本市ではいじめは無いと聞くがどうか。</p>	教育委員長
	3 志布志支所の利活用について	<p>(1) 課の設置見直しをして、空きスペースを商店街活性化等のために利活用できないか。</p>	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 鬼塚弘文	1 さんふらわあの志布志航路存続について	(1) 県(知事)のトップセールスは、どのような成果が見られたのか。 (2) 市・関係団体の対応策は、何を示したのか。 (3) 環境(アクセス道路・緑地帯)についての県との協議はどうなっているか。	市 長
	2 市の基本構想について	(1) 人口の推移と雇用の提供について、どのように考えているのか。 (2) 港湾・漁村と商工・観光の共生策についての政策について問う。	市 長
	3 行政の窓口について	(1) 市民の声として、港湾、水産、商工・観光、林産の行政窓口は志布志支所に設置すべきとの声が高いが、その考えはないのか。	市 長
	4 市街地と農村地域との格差はないか。	(1) 道路、住宅政策、教育、情報等において格差があるのではないか。	市 長
2 本田孝志	1 財団法人志布志観光開発公社について(ボルベリアダグリ)	(1) 合併後、18年度志布志市は、補助金を600万円支払しているが、旧志布志町の時は、いくら支払したか。	市 長
	2 (株) やちちくふるさと村について(道の駅)	(1) 平成9年度より旧松山町、志布志市は、管理委託料45,706千円を支出しているが、今後の取組は。	市 長
	3 (株) 志布志まちづくり公社について(アピア)	(1) 今後の見通しについて	市 長
	4 志布志商店街について	(1) 活性化について	市 長
3 西江園明	1 本庁を志布志町の中心街へ	(1) 本庁機能を旧志布志町地区に移設する考えはないか。	市 長
	2 志布志市の知られていない財産について	(1) 志布志市にある技術的に優れた企業や個人を、広く市民に紹介する機会は作れないか。	市 長
	3 自衛艦の誘致活動について	(1) 現状はどうしているか。 (2) 誘致活動する考えはあるか。 (3) 自衛艦が来航したときの対応はどうしているか。	市 長
4 上村環	1 都城・志布志道路の整備状況について	(1) 都城・志布志道路の整備状況と地域振興策について (2) 松山地区における住宅政策について	市 長
	2 山間部集落の過疎・高齢化対策について	(1) 集落の実態と振興策について (2) 特例債による基金の造成、活用について	市 長
	3 行政改革について	(1) 組織・機構の見直しと支所機能の充実について (2) 臨時職員の雇用状況と今後の処遇について	市 長
	4 大規模土地改良事業への取組について	(1) 昨年の豪雨災害の発生状況について (2) 大規模土地改良事業による農村振興について	市 長
5 岩根賢二	1 自治会組織の再編策について	(1) 高齢化や過疎化により自治会組織が崩壊の危機にある所もあるが、自治会組織の再編をどのように進めていく考えか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
	2 談合防止策について	(1) 福島、和歌山、宮崎の3県で談合事件が発覚したのを契機に、全国知事会は、指名競争入札の早期廃止を盛り込んだ談合防止策の指針を決定した。本市においては、どのような談合防止策を考えているか。	市 長
	3 教育再生会議の第1次報告に対する市教育委員会としての受け止めについて	教育再生会議が、第1次報告で「教育委員会のあり方そのものを抜本的に問い直す」との具体的な改革を提言した。このことについて、委員会で協議されたと思うが、 (1) 市教育委員会としてどう受け止め、当面どう対応するのか。 (2) 「教育委員一人一人の活動状況の公表等、情報公開を徹底し、住民や議会による検証を受ける」とある。また「教育委員会の活動状況を、原則として毎年議会に報告」とあるが、実施する考えがあるか。 (3) 「人口5万人以下の市町村には、原則として教育委員会の共同設置を求める」とあるが、市教育委員会としてどう受け止めているか。	教育委員長
	4 大崎町との合併問題について	(1) 昨年11月に行われた「大崎町の市町村合併に関する住民アンケート」では、志布志市との合併を希望する回答者数が全体の52%を占めた。また、大崎町議会は、12月に「志布志市との合併を推進する決議」をしたとの報道があった。 これらの状況を受けて、市長は、どのような感想を持たれたか。 また、大崎町から合併の申入れがあった場合、どのように対処する考えか。	市 長
6 坂元修一郎	1 イベントについて	(1) 各地のイベントの存続と支援について	市 長
	2 地域の活性化について	(1) 地域活性化を目的とした市の事業展開と地域おこし、NPO、ボランティア団体等の民意組織の把握について (2) 官民一体となったまちづくりと拠点作りについて	市 長
	3 近代化遺産について	(1) 近代に造られ、文化財に指定されていない近代化遺産の把握と今後の維持について (2) 旧松山駅前の石倉等、危機迫る近代化遺産の存続について	市 長 教育委員長
	4 農業支援策について	(1) 農業農村家業再生支援とはどのような取組か。 (2) 後継者育成支援と団塊世代のふるさと回帰による定年帰農支援について	市 長
7 藤後昇一	1 県議選違反事件と踏み字損害訴訟の裁判について	(1) 平成15年の県議選を巡る公選法違反事件は、「志布志事件」として、裁判結果が全国的にマスコミや国会、県議会等で大きな注目を集めた。1月18日には「踏み字」事件が、2月23日には「買収」事件の判決が、い	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
		<p>ずれも犯罪者とされた志布志市住民の実質的な完全勝利となった。</p> <p>そこで、志布志市民の代表である市長の「志布志事件」とその裁判結果に対する所見を問う。</p> <p>(2) 「志布志事件」に対する当時の県警、志布志署の捜査・取調べがいかに人権を無視した違法、異常なものであったか明白になりつつあるが、犯罪者とされた志布志市民や、大量の捜査員が長期間にわたり動員された旧志布志町、中でも四浦校区住民は、日常生活を攪乱され、その精神的、経済的被害は甚大なものと聞く。</p> <p>そこで、市長は、「志布志事件」の影響調査とそれに基づくサポート施策を実施する考えはないかを問う。</p> <p>(3) 「志布志事件」の再発を防ぐために、取調べの録音・録画による可視化の実現が急務であり、本議会においても可視化を求める陳情書が継続審査中であるが、可視化の問題に対する市長の見解を問う。</p>	
	2 本市の財政施策運営について	<p>(1) 昨年の6月20日、北海道夕張市が財政再建団体の指定を申請し、事実上自治体破綻した。全国の自治体を震撼させた夕張ショックの直接的で最大の要因は、不適切な財務処理による赤字隠蔽と第3セクターによる観光事業への歯止めなき投資と借入れであった。</p> <p>そこで、本市の「ボルベリアダグリ」等の公営企業や「やっちくふるさと村」等の第3セクター企業の財務状況と今後の運営方針について問う。</p> <p>(2) 自治体が最悪の財政破綻に陥らないためには、主権者である市民が財政の現状を誤りなく掌握できる財務情報の開示と、議会の正常なチェック機能の行使が不可欠である。それを実現する方策として、以前より提案されている発生主義、複式簿記の導入による「バランスシート」や「行政コスト計算書」の財務書類の作成をさらに進めて、公営企業、第3セクターとの連結会計による債務情報等の開示や将来にわたる財務運営のシミュレーション等を研究、作成する考えはないか、市長の見解を問う。</p>	市 長
8 立山静幸	1 地域活性化住宅建設の促進について	(1) 山重地域に活性化住宅 (P. F. I) の実施を	市 長
	2 高齢者福祉の充実について	(1) 認知症の現状について (2) 認知症の増加に対する今後の取組について	市 長
	3 体験・交流型観光の推進について	(1) 有明町川西地区に体験・交流型観光の体制整備を (2) モデル民宿の取組について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年3月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
	4 学校教育と文化振興について	(1) 学校教育に市内の施設利用を (2) 合併3周年か5周年記念事業として、のど自慢等の実施の取組について	教育委員長 市長
	5 施政方針について	(1) 市長のマニフェストの実施について (2) 市長・職員が一丸となって「市民の幸せ」のため全力を尽くす意気込みについて	市長
9 小野広嗣	1 子育て支援の充実について	(1) 妊娠・出産にかかわる支援の拡大について問う。 ① 不妊治療の助成について ② 妊婦検診の無料券の拡充について ③ 出産一時金の増額について	市長
	2 生活保護について	(1) 生活保護受給者の適正化と自立支援対策の取組について問う。	市長
	3 防犯対策について	(1) ヤミ金融や架空請求、悪徳商法等による住民の被害状況と被害の未然防止対策について問う。	市長
	4 教育行政について	(1) 子供の読書活動を推進するための学校図書館の図書整備の充実について問う。	教育委員長
10 木藤茂弘	1 道路行政について	(1) 東九州自動車道大隅～鹿屋串良間の工事着手に伴う、市の事務組織の充実と協力体制を取る職員の配置について (2) 地域高規格道路松山～有明間が来年度中の開通見込みであるが、県道飯野・松山・都城線は市に移管されるのか。その対応は。 (3) 県道柿之木・志布志線弓場ヶ尾地区改良工事の促進策について	市長
	2 岳野山の道路管理について	(1) 管理主体は市なのか。干支の石造が建立されている手前、道路の安全管理について	市長
	3 地上デジタルテレビ放送2011年全面移行は大丈夫なのか。	(1) 本市において難視聴地区があるのか。 (2) 市営住宅等の共同アンテナの対応は。 (3) 移行に対して、市としては対策を考えておられるのか。	市長
11 長岡耕二	1 畜産振興について	(1) 志布志市の鳥インフルエンザ対策について (2) 輸入飼料・牧草価格の高騰を受け、対応は考えていないか。	市長
	2 教育行政について	(1) 潤ヶ野小学校の体育館が、建て替えでなく改築になった理由を示せ。 (2) 建て替えと改築の予算の違いを示せ。 (3) 建物の耐震度調査の結果と基礎部分の強度は大丈夫か。 (4) 災害時の避難場所の確保は。 (5) 建て替えを望む地域住民の強い声にどう対応するか。	教育委員長 市長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年3月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
12 上野直広	1 畜産振興について	(1) 子取り用雌牛の規模別戸数・頭数を問う。 (2) 規模拡大策について問う。 (3) 後継者の支援を急がなければならないと考えるが、市長はどう考えるか。	市 長
	2 定住促進について	(1) 団塊世代の状況を問う。 (2) 全国各地での人の誘致策を問う。 (3) 本市は人口減少地域である。人の誘致策の考えはないか。	市 長
13 金子光博	1 福祉施設について	(1) 火葬場(紫雲園)は28年を経過し施設の老朽化が進んでいるが、今後の考え方は。	市 長
	2 県道整備について	(1) 泰野地区、柳橋～弓場ヶ尾間の19年度の見通しは。	市 長
14 小園義行	1 本庁移転について	(1) 本庁機能を志布志町に戻す考えはないか。 (2) 合併による人口移動が期待できないときは、人口の多い地域に本庁機能を置くべきと考えるがどうか。 (3) 各支所(本庁を含めて)の窓口対応等の状況を問う。	市 長
	2 保育所民間移管について	(1) 公立保育所をすべて民間移管したときに、待機児童が発生する心配はないか。	市 長
	3 税の徴収について	(1) 過年度分の税に対しての徴収金は、本税優先の原則は守られているか。 (2) 介護保険「要介護認定者」へ障害者控除が受けられることの周知徹底は十分にされているか。	市 長
	4 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金の条例改正の考え方を問う。	市 長
	5 学校教育について	(1) 特別支援教育は、今後どう具体化されていくのか。 (2) 給食費の還付についての考え方を問う。	教育委員長
15 下平晴行	1 農業政策について	(1) 農地災害復旧事業補助金の取扱いについて	市 長
	2 道路行政について	(1) 県道3号線の進捗状況について	市 長
	3 環境政策について	(1) 地球温暖化対策について (2) 粗大ごみ等の個別収集について (3) 清掃センターの管理について (4) 環境特区(オムツ)の取組について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年6月定例会(No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 迫田正弘	1 豪州との経済連携協定(EPA)締結交渉について	(1) 今後の交渉次第では、農畜産物の関税撤廃等、本市農業に大きな打撃を受ける可能性があるが、これに対する市長の見解と対応策について問う。	市 長
	2 公立保育所の民間移管について	(1) 保護者に対する説明会の結果はどうであったか。踏まえて、今後の考え方について問う。 (2) 民間がすべてではないと思うが、保護者の選択肢の一つとして、公立保育所を残す考えはないか。 (3) 民間移管が地域商店等に及ぼす影響について	市 長
	3 防災無線について	(1) 防災無線のデジタル化に向けての対応策について ① 現在松山地区は、全戸に戸別受信機が設置されているが、公平な立場から、全市に拡大する考えはないか。 ② 整備にかなりの経費が見込まれるが、基金を積み立ててはどうか。	市 長
	4 遊休施設の利活用について	(1) 旧食糧事務所松山支所の活用策について ① 旧食糧事務所松山支所が廃止され、遊休施設となっており、現在競売に付されている。市が取得若しくは借り受け、保健福祉施設や社会教育施設等として活用する考えはないか。 (2) 県営特農事業尾野見地区畑かん施設について ① 曾於東部畑かんの完全通水に伴い、尾野見地区畑かん施設が遊休施設となるが、用途を変更し、水利及び施設を上水道へ転用する考えはないか。	市 長
2 玉垣大二郎	1 東九州自動車道整備計画について	(1) 地権者説明会の内容、タイムスケジュールを問う。 (2) 地権者からどのような質問があったのか。 (3) 今後の対応は、どのようにするのか。	市 長
	2 学校行政について	(1) 学習環境の整備について	市 長
3 西江園明	1 ごみ分別について	(1) ごみ収集の在り方について問う。 ① リサイクル率が全国で4位という報道があったが、市長の感想を聞く。 ② 分別について、水洗いをすることにより、逆に河川等が汚れるのではないか。 ③ 紙の分別の種類が多すぎるのではないか。 ④ おじゃったもんせクリーン大作戦等、各種クリーン作戦において、ボランティアで集めたごみを洗う必要があるのか。洗う手間がかかるため、参加が少なくなるのではないか。	市 長
	2 外灯(防犯灯)について	(1) 自治会(各集落)内にある外灯について ① 現在の電気料の支払について、平成18年度は、どうなっていたのか。旧町それぞれ違いがあるのか。 ② 違いがあるとすれば、今後どうするのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年6月定例会(No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 小野広嗣	1 防災・防犯対策について	(1) 耐震改修促進計画を策定し、補助制度の導入も含めた住宅の耐震診断・耐震改修の促進を図るべきではないか。 (2) 防犯・防災情報を市のホームページや登録希望者携帯メールを通じて、リアルタイムに提供できないか。	市 長
	2 水道事業について	(1) 市民に安価で安全な水を安定的に供給するための現状の取組と今後の展望について問う。 (2) 限りある資源である水を有効利用するための節水及び断水対策について問う。	市 長
	3 スポーツ振興について	(1) 志布志運動公園を中心とした総合的なスポーツゾーンを形成し、スポーツ振興を図るべきではないか。	市 長 教育委員長
5 宮田慶一郎	1 各校に対するビロウ樹鉢配布について	(1) ビロウ樹を鉢に植えるのは無理ではないか。	市 長 教育委員長
	2 水道事業について	(1) 大迫及び森山水源のことの投資とその効果について	市 長
	3 旧志布志町にミニ歴史博物館を設置する考えはないか	(1) 旧志布志町の旧家に眠る歴史的宝物を保存し、観光に役立てるつもりはないか。	市 長 教育委員長
6 岩根賢二	1 イメージソングの活用策について	(1) 今年1月、市誕生一周年記念式典で決定した市のイメージソングをもっと活用すべきと考えるが、市長の考えはどうか。	市 長
	2 健康増進策について	(1) 施政方針に、「『心』かよい合い若さあふれる元気なまち」を目指すとする。健康で明るいまちづくりのために、「3・3歯みがき」や「メタボリック解消」、「受動喫煙解消」等に、全市的に取り組む考えはないか。	市 長
	3 決算書の調製について	(1) 「決算」は早期調製が望ましいとされるが、平成18年度分は、いつ提出の予定か。 (2) 「主要施策の成果説明書」は、施政方針に沿って体系的に示してはどうか。	市 長
7 八久保壹	1 防災対策は万全か	(1) 志布志市の防災基本計画について (2) 災害時の体制について (3) 昨年の水害の教訓について (4) 防災組織活動の重要性について	市 長 教育委員長
	2 志布志市の観光対策について	(1) 観光政策と観光戦略会議の経過について (2) 観光戦略と観光資源の見直しについて (3) 志布志市の活性化と観光行政について	市 長
	3 地域間格差について	(1) 志布志の現状把握について (2) 消防・教育・農業・自然環境の保持について (3) 行政としての格差への施策について	市 長 教育委員長
8 長岡耕二	1 地場産業の発展について	(1) 上海・香港・大阪等で志布志の物産展は考えられないか。 (2) 地産地消の今後の取組について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年6月定例会(No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
	2 ポートセールスについて	(1) ポートセールスの現状と今後の計画を問う。	市 長
9 宮城義治	1 農業後継者対策について	(1) 専業農家の数と後継者の有無について (2) 後継者と新規就農者の確保対策は。	市 長
	2 行政相談員制度の導入を	(1) 市職員全員を地域の相談員、あるいは行政事務連絡担当員に任命することについて	市 長
10 東宏二	1 観光行政について	(1) 種子屋久航路を開設して、高速船の誘致はできないか。 (2) 安楽とどろ溪谷を整備して、市の景勝地に指定する考えはないか。	市 長
	2 道路行政について	(1) 旧志布志町町原、中央クリニック付近の生活道の整備はできないか。	市 長
11 小園義行	1 本庁舎移転について	(1) 市長として1年4箇月を経過して、現在の所信を問う。 (2) 各種の大きなイベント等、志布志市文化会館で行われている現状を考えると、本庁機能を志布志支所に移す考えはないか。	市 長
	2 消費生活相談員の設置について	(1) 金融庁が4月に、「多重債務問題改善プログラム」を決定した。本市でも、相談員を置き、多重債務者の問題解決を支援する考えはないか。	市 長
	3 国民健康保険について	(1) 昨年9月議会で、国保法第44条に基づく一部負担の減免制度についての質問で、周知徹底をしていくと答弁されているが、減免制度の要綱作成等、どのように取組をされているか。	市 長
	4 環境行政について	(1) 本市は、合併浄化槽の普及に積極的であるが、その前提となる側溝等の未整備地区の解消を、どのように各課と検討されたのか。 (2) 二酸化炭素排出量削減に対する具体的な取組はどうか。	市 長
	5 農業行政について	(1) 農業公社で研修をされ、独立していかれる就農者への支援は、十分対応されているか。 (2) 志布志市農業生産対策補助金の考え方について問う。	市 長
	6 高齢者福祉について	(1) 地域ふれあい交流事業補助金は、当初予算では全く提案されていない。1年限りと説明があったが、復活した大きな理由は何か。 (2) 志布志地区の乗合タクシーは、有明・松山方式と同じ方法で運行することは検討されなかったのか。	市 長
	7 教育行政について	(1) 給食費の還付についての運営審議会での議論は、どのような結論になったのか。 (2) 保護者への説明と今後の対応はどうか。	教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年6月定例会(No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
12 鶴迫京子	1 一般質問のその後の経過と方向性について	(1) 平成16年3月議会(旧志布志町)の一般質問 ① 志布志市文化会館のバリアフリー化について ア 志布志市文化会館のリニューアル事業計画の内容と今後の方向性を問う。 (2) 平成18年9月議会の一般質問 ① 志布志運動公園周辺の整備について ア ふれあい広場・多目的広場下の公園とアピア下の緑地公園について、どう対応されたか。 (3) 平成18年12月議会の一般質問 ① スクールカウンセラーについて検討されたか。 ② AED(自動体外式除細動器)についての取組は。	市 長 教育委員長
	2 少子化対策について	(1) 鹿児島県の「かごしま出会いサポート事業」にならって、本市でも少子化対策の拡充として、独身の男女の出会いの場を企画する考えはないか。	市 長
13 下平晴行	1 農業政策について	(1) 災害対策及び農地有効利用として、中山間地域総合整備事業を導入するための行政指導はできないか。	市 長
	2 公選法違反事件(志布志事件)について	(1) 人権を考える会の要請について (2) 人権尊重都市宣言の制定について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年9月定例会(No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 藤後 昇一	1 国民宿舎ボルベリアダグリの指定管理者の問題と今後のまちづくりへの関連と今後の展望について	<p>(1) 6月定例会でのボルベリアダグリの指定管理者の指定についての議案は、市民の高い関心と呼ぶと同時に、議会の否決という結果に対し、地元マスコミも論評付きで報道した。6/29「域外資本の参入が地域経済を衰退させる。」「ダグリ岬活用の代替案とまちづくりの展望を議会も示す責任がある。」(南日本新聞)、7/9「6,500万円をファイにした」「市民の税負担が続く」「市民にとって不利益になる議会の議決」(南九州新聞)等である。これらの報道に対しての市長の見解を問う。</p> <p>(2) 平成18年度の志布志市観光開発公社の事業・決算報告書も提出され、ボルベリアダグリの国民宿舎事業の18年度の業績も確定したと思うが、その内容、結果を問う。 併せて、指定管理者の指定に向けての開発公社の今後の展望を、ノルマである納付金6,500万円の見通しと関連して市長の見解を問う。</p> <p>(3) ボルベリアダグリの活性化のため「休暇村サービス」利活用等があるが、検討されたか見解を問う。</p> <p>(4) 国土交通省は、6月に、観光を低迷している地方経済活性化の柱にしようと「観光立国推進基本計画」を立案し、閣議決定した。その内容は、国内観光旅行消費額を05年度の24兆円から10年度に30兆円にする目標を立てて、様々な方策を提案している。本市もボルベリアダグリの活性化と、さんふらわあ利用促進等の観光事業を軸とした「内発的発展」を目指した地域経済自立のまちづくり政策を推進することが必須と考えるが、市長の具体的な方策を問う。</p>	市 長
2 坂元修一郎	1 近代農業の諸問題について	<p>(1) バイオ燃料の実用化に向けた取り組みが国内各地で始まっているが、本地域での取り組みは。</p> <p>(2) 海外でのバイオ燃料生産の影響で輸入飼料の高騰が続いているが、環境にも配慮した国内自給のための耕畜連携の飼料供給推進について</p> <p>(3) ポジティブリスト施行後1年が経過したが、本市の農業に与えた影響と、施行後の安心・安全な作物づくりの状況は。</p> <p>(4) 東部畑かんの全面通水が開始されるが、本市農業への貢献と今後の取り組みについて</p> <p>(5) 国は集落営農を推進しているが、本市における組織づくりの状況はどうか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年9月定例会(No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 小野 広嗣	1 母子家庭の支援策について	(1) 母子家庭は、児童扶養手当制度の見直しなど、厳しい経済情勢の中で一層不利な状況に置かれようとしている。母子家庭の増加傾向と生活実態及び母子家庭が将来に希望を持てるような支援策について問う。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 生後4ヵ月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）や育児支援家庭訪問事業の推進状況について問う。	市 長
	3 介護保険について	(1) 改正介護保険制度から1年余り、市が責任を持って実施する地域包括支援センターを拠点にした介護予防への取り組みは、軌道に乗っているのか。 (2) 介護事業者の認定取り消し、立ち入り権限も強化されている県と、保険者である市との連携はどのように行われているのか。	市 長
	4 多重債務対策について	(1) 多重債務に陥り、生活に苦しむ市民を一刻も早く救済するための体制づくりと、中学生に対する金融教育について問う。	市 長 教育委員長
4 木藤 茂弘	1 入札制度改革の考え方について	(1) 一般競争入札の導入について	市 長
	2 イチゴ産地づくりにおける炭疽病対策について	(1) 健全苗の確保はできているのか。 (2) 今後の健全苗供給体制の整備について	市 長
	3 新生「志布志市」本庁、支所周辺の景観について	(1) 旧町時代の看板等の整理、整備について	市 長
	4 歴史のまちづくり「基本構想」について	(1) 学校施設の耐震補強工事にも今後取り組まなければならないと思うが、財政上、実施可能な歴史のまちづくり「基本構想」について (2) 進める組織体制について	教育委員長 市 長
5 八久保 壹	1 志布志港へのアクセス道路について	(1) 高規格道路の終点（取付け地点）は、どこに予定されているのか。 (2) 高規格道路の使命と果たすべき機能について (3) アクセス（取付け位置）の重要性について (4) 新港部への直結はしないのか。	市 長
	2 「スポーツ振興」について	(1) 今年のサッカーフェスティバルに、市としてどのようにかわり、取り組まれたのか。 (2) スポーツの持つ特性をどう考えるか。 (3) スポーツ振興のために温かい支援策を示せ。	教育委員長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年9月定例会(No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 丸山 一	1 農業行政について	(1) 早期米不作の現状認識とその後の対応について	市 長
	2 通山・一丁田地区の防災について	(1) 線路跡地の排水対策について (2) 町境から海岸への防災避難道路について (3) 通山地区からの排水路延長について (4) 安楽川右岸堤防工事と海岸の護岸工事について (5) 鮫島坂の道路改良について	市 長
7 上野 直広	1 保育所について	(1) 民営化によるメリット、デメリットについて問う。 (2) 保育の在り方も、多くの青少年事件に関係しているのではないかと。 (3) 質の高い保育の環境を目指す必要があるのではないかと。	市 長
8 小園 義行	1 公立保育所の民間移管について	(1) 民間移管を進める理由と自治体の公的責任をどのように考えているかと。 (2) 住民（保護者）への十分な説明と理解を求める対応をどのように進めてきたかと。 (3) 議会で陳情の審査が行われているが、そのことに対する認識を問う。 (4) 移管先選考委員会の状況はどうか。	市 長
	2 後期高齢者医療制度について	(1) 制度発足に対する市長の認識を問う。 (2) 対象者数と、現在子供等の扶養家族になっている人は保険料を支払う必要がないが、新制度は負担が課せられる。こうした人がどれくらいいるのかと。 (3) 月15,000円以下の普通徴収の対象者はどれくらいかと。	市 長
	3 生活保護行政について	(1) 北九州市等で起きている状況を、市長はどのように受けとめているかと。 (2) 本市の相談に対する申請率と開始率は、どれくらいになっているかと。	市 長
	4 福祉タクシーについて	(1) 志布志町地域の昨年度の利用実績はいくらかと。 (2) 志布志町地域においても、有明町、松山町地域と同じ方式に変えていくように見直しを検討すると答弁されているがどうかと。	市 長
	5 福祉行政について	(1) 組織の見直し等がされていく中で、保健師の退職等も考えて採用が予定されているが、本市の保健師の配置は十分かと。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年9月定例会(No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 鶴迫 京子	1 若者への支援と育成について	(1) 本市の青年団活動に対して、現状をどのように認識しているか。 (2) イベント「さんふらわあクルージングパーティーinしぶし」について ① 第1回実行委員会（志布志市青年団連絡協議会）での市長の感想はどうであったか。 ② 市の支援策は、12月23日のイベントに向けて、どのように図られていくのか。 (3) 青年団活動に対する本市の支援の在り方はどうか。また、育成はどのようにしていかれるのか、今後の方向性を伺いたい。 (4) 若者の市外流出対策として、本市ではどのような取り組みがなされているか。	市長 教育委員長
	2 救急救命について	(1) AED（自動体外式除細動器）について ① AED設置後の状況と市民の反応はどうか。また、市民への周知及び啓発はどのような方法ですか。 ② 消防本部職員を講師にした市職員へのAED操作方法を学ぶ普通救命講習会は開かれたのか。また、現在、講習終了証を持っている職員は何人いるのか。市職員全員の習得を目指す計画が立てられているのか。 ③ 6月議会での一般質問、「AEDをすべての小・中学校25校へ配置せよ」に向けてのその後の取り組みはどうか。 ④ 医療の確保は図られているか。現況と問題点はないのか。対策はとられているか。また、救急医療体制の整備は万全かどうか。	市長 教育委員長
10 下平 晴行	1 サポート志布志アピアの商業政策について	(1) 株を50%以上所有している志布志市が、代表取締役社長になって経営に取り組むべきだと思うがどうか。 (2) 2階のコミュニティー施設が全体の13.1%を占めており、償還について大変な重荷になっているが、利活用についてどのように考えているか。	市長
	2 過疎地域の活性化対策について	(1) 過疎地域は少子高齢化で、学校運営はもちろん、公民館（集落）の運営が大変厳しい現状である。定住化を促進するために、地域活性化住宅を設置する考えはないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年12月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 迫田 正弘	1 県からの権限委譲を受けることについて	(1) 県から市町村への権限委譲プログラムに基づく、農地転用の許可権限及び農地等の転用のための権利移動の許可権限について、受託する考えはないか。	市 長
	2 畜産振興策について	(1) 畜産振興の中核をなす志布志市畜産振興協議会の設立はできないか、考え方を問う。	市 長
	3 指定管理者制度について	(1) やっちくふるさと村の設置目的は、地域の資源及び特産品の有効利用、ふるさと情報の発信並びに市内外の住民との交流及び連携による活力ある地域づくりに寄与するとあるが、この目的に沿った運営がなされているか。 (2) やっちくふるさと村使用料の減免、免除の考え方について問う。	市 長
	4 地域経済活性化対策について	(1) 雇用創出のための企業誘致について、取組状況と、その成果を問う。	市 長
2 西江園 明	1 高速道路網について	(1) 東九州自動車道計画のその後の経過を問う。 ① 地域を二分する計画案が示されたが、その後見直しがあったのか。 ② このような地域に大きな不安をもたらした計画について、市長の見解を問う。 ③ 具体的な回答は、いつ頃か。	市 長
		(2) 都城・志布志道路について ① 東九州自動車道とのアクセスの見込みを問う。 ② 年間どのくらいの事業費が投入されているのか。	市 長
	2 保健行政における検診の在り方について	(1) ガンの発見ができなかった検診の在り方について問う。 (2) 行政の実施する検診の受診率は低い、民間がすると受診者が多いが、これをどのように思うか。 (3) 受診率の向上の目標をどのくらいと考えているのか。	市 長
	3 国際港を持つ志布志市の姿について	(1) 外国人の訪れるまちの玄関・窓口の在り方について ① 国際港を持つまちの姿は、どうあるべきと考えるか。 ② 外国船の乗組員のための案内板の現況はどうか。 ③ 乗組員が訪れる店舗に案内板を設置する計画はないか。	市 長
		(2) 行政の窓口・玄関について ① 研修等で長期滞在する外国人は、どのくらいいるのか。 ② 窓口で日本語のできない外国人が来たときの対応はどうしているのか。 ③ 志布志市の木と決まった「びろう」を市役所本庁のどこに植えているのか。 ④ さんふらわあの発着する大阪南港には、鹿児島県や志布志市の案内やパンフレットは置いていないのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年12月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
	4 商工業の活性化と合併特例債について	(1) 商工業の現況をどのように認識しているか。 (2) 昨年、商工業の後継者育成と活性化のために、各々が持つ技を紹介する機会を設ける考えはないかと質問したが、その後どうなったか。 (3) 衰退している商店街の一部でも、人が集まる施設を含め、活性化するまちづくりは考えていないのか。 (4) 特例債を投入して、商店街の活性化を図る考えはないか。 (5) 今まで、建設事業にどのくらい特例債を投入しているのか。 (6) 今後、建設事業に投入する特例債の事業費はどのくらいか。	市 長
3 小野 広嗣	1 情報化の推進について	(1) 総務省が策定した「新電子自治体推進指針」では、2010年度までに「利便・効率・活力を実感できる電子自治体の実現」を目標にしているが、本市の推進状況はどうか。 (2) 市民が安心して利用できる電子自治体を構築するためにも、情報セキュリティの維持、強化に取り組む必要があるのではないか。	市 長 市 長 教育委員長
	2 発達障害児の支援について	(1) 発達障害児支援の基本は、早期発見・早期療育にある。早期発見で多くの子どもたちを救うためにも、5歳児検診の導入を図るべきではないか。	市 長
	3 教育行政について	(1) 平成19年度全国学力・学習状況調査の結果をどのように分析しているのか。また、その分析結果を今後どのように活かしていくのか。 (2) 文部科学省は、明年度より地域全体で公立小中学校の教育活動を支援することをねらいとした学校支援地域本部（仮称）を設置する方針であるが、本市はその方針に十分対応できる状況にあるのか。	市 長 市 長 教育委員長
4 毛野 了	1 本市の農業振興とその取組について	(1) 集落営農組織と農業農村家業再生事業について	市 長
	2 県道整備の進捗状況について	(1) 柿ノ木・志布志線について	市 長
	3 産業振興と企業誘致について	(1) 遊休地の活用について	市 長
	4 国民宿舎の指定管理者導入について	(1) 蓬の郷とボルベリアダグリについて (2) 指定管理者の選定委員の人選は適性だったのか。 (3) 志布志市観光開発公社について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年12月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 鶴迫 京子	1 少子化対策について	(1) 平成19年1月から県が実施しているかごしま子育て支援パスポート事業を導入する考えはないか。	市 長
	2 戦没者追悼式について	(1) 市長の現状認識と見解について (2) 学校教育関係の現状認識と見解について (3) 戦争の悲惨さを語り継ぐ「語り部」等の養成は考えられないか。	市 長 教育委員長
6 東 宏二	1 防災無線について	(1) 防災無線が聞こえにくい地区が多い。市民から要望の多い個別受信機を設置できないか。	市 長
	2 環境衛生について	(1) 生ごみ入れのバケツのふた留めが大半壊れ機能していないが、改善すべきではないか。	市 長
7 小園 義行	1 自衛隊への名簿提供について	(1) 中学校、高等学校、大学を卒業する生徒、学生の自衛隊への名簿提供が新聞報道された。本市の対応はどうか。	市 長 教育委員長
	2 要介護認定者の障害者控除について	(1) これまでの取組と、確定申告に向けての広報を含めた対応はどう考えているか。	市 長
	3 国民健康保険法について	(1) 国民年金法改正による短期保険証の発行について考え方を問う。	市 長
	4 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金の節目支給に対する住民の受けとめを、どのように判断しているか。	市 長
	5 健康増進法について	(1) 本庁、支所の現状をどう認識しているか。 (2) これまでの議会答弁で、現状の見直しを含め検討するとあるが、どのように検討されたのか。	市 長 教育委員長
	6 学校教育について	(1) 学校図書館基準に基づく蔵書の整備は十分か。 (2) 普通教室へのエアコン設置を図り、児童の学習環境を充実させる考えはないか。	教育委員長
8 立山 静幸	1 畜産振興について	(1) 志布志市農業公社へ堆肥散布車の購入を ① 農業公社に対して、堆肥散布車購入の補助対象事業はないか。 ② あるとすれば、堆肥散布車を配備し、畜産振興に資する考えはないか。	市 長
	2 志布志市活性化について	(1) 志布志音頭の作詞、作曲の実施により、市の活性化を図る考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成19年12月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 鬼塚 弘文	1 志布志港の活性化について	(1) 志布志港振興対策等調査特別委員会の提言について、当局の考え方を問う。 (2) 新若浜の緑地検討委員会の意見を、市としてどのようにとらえ、県当局に伝えていくのか問う。 (3) 新若浜を含め、港湾周囲の緑地の管理と、スポーツゾーンの見通しについて問う。	市 長
	2 市立学校の規模・配置の在り方検討委員会について	(1) 進捗状況と今後の方向性について問う。	教育委員長
	3 農山村の過疎対策について	(1) 住宅、教育、福祉、交通等の政策について問う。	市 長 教育委員長
10 下平 晴行	1 街路灯 (防犯灯) の設置について	(1) 幹線道路等の街路灯及び自治防犯灯の設置を早急に対応できないか。 (2) 自治防犯灯のモデル地区を設置できないか。	市 長
	2 補助金等の取扱いについて	(1) 補助金等の基本的な取扱いは公平・均衡が求められるが、校区公民館補助金及び自治会運営費助成金はどうか。 (2) 条例公民館と自治公民館の在り方について問う。	市 長 教育委員長
	3 職員等の福利厚生について	(1) メンタルヘルス対策について (2) 分煙機の取扱いについて	市 長
11 福重 彰史	1 平成20年度予算編成について	(1) 基本的な考え方は。 (2) 重点施策は。	市 長
	2 道路行政について	(1) 地域高規格道路 (都城・志布志道路) の志布志市内及び全区間の進捗と今後の計画について (2) 東九州自動車道の進捗と今後の考え方について (3) 県道柿ノ木・志布志線、柳橋～弓場ヶ尾間の進捗と今後の見通しについて	市 長
	3 農業振興について	(1) 農地の基盤整備を今後どのように計画し進めていくのか。 (2) 遊休農地、耕作放棄地の現状はどのようになっているのか。また、今後の対策は。	市 長 農業委員長
	4 福祉行政について	(1) 障害者控除対象者の所得税控除の認定書、交付状況は。今後の認定書の交付についての考え方は。 (2) 介護保険料の軽減に向けたボランティア活動をどのように考えているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 坂元 修一郎	1 茶業振興について	<p>(1) 県の出先機関が統廃合される中、本市にある県農業開発総合センター茶業部大隅分場は、大隅半島の地域特産茶の生産向上と経営安定合理化のために必要な存在である。今後の存続は保証されているのか。</p> <p>(2) 県は「日本一の茶産地づくりチャレンジ事業」の中で、地域に応じた茶産地拡大プランを策定しているが、本市の茶園面積はどの位を目標にしているのか。</p> <p>(3) 南部畑かんの茶の防霜については間断散水が検討されているようであるが、今後面積の拡大が予想される中、ファームポンドの増設等の手立では考えられないか。</p> <p>(4) 畑かんの配管工事が進む中、予定地に入っていない茶団地等への布設要望もあるが、追加工事はできないのか。</p> <p>(5) 畑かん水使用の賦課金の設定は茶農家から不満の声が多く聞かれるが、価格設定の協議はされているか。</p> <p>(6) 石油価格の上昇や開発途上国の肥料需要の拡大等で、世界中の肥料価格が高騰し続けている。堆肥を肥料として利用する時代に来ており、コストの削減や環境保全のためにも、耕畜連携を利用した早急な事業の導入が必要ではないか。</p> <p>(7) 九州各地で防霜ファンの電線盗難が相次いでいるが、防霜時期になり茶農家の不安は大きい。本市での被害状況は。 また、盗難防止対策はとられているか。</p>	市 長
2 金子 光博	1 道路行政について	<p>(1) 県道改良、柿ノ木志布志線（柳橋～弓場ヶ尾間）の進捗状況について</p> <p>① 20年度当初予算4千万円の内訳はどうなっているか。</p> <p>② 用地買収は、具体的にどの位終わっているのか。</p> <p>③ 本年度に工事着手する場所と延長距離は。</p> <p>(2) 道路案内標識の現状はとて十分と言える状況ではないと思うが、今後の取り組みについて</p>	市 長
	2 保健行政について	<p>(1) 温泉保養施設利用券の利用状況について</p> <p>① 19年度は45施設、20年度は39施設と協定締結となっているが、減った理由は</p> <p>② 新規の協定締結はないか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 岩根 賢二	1 コミュニティFM放送の活用策について	(1) 市の情報発信手段の一つとして、コミュニティFM放送を活用することは考えられないか。	市 長
	2 新エネルギービジョンの導入について	(1) 昨年2月に策定された新エネルギービジョンを実現させるために、市長自ら努力する考えはないか。	市 長
	3 マニフェストの検証について	(1) 合併後2年を経過したが、市長のマニフェストがいかに実行されてきたかを市民に検証してもらう場を設ける考えはないか。	市 長
4 宮田 慶一郎	1 街路事業に伴う並木の景観について	(1) 県道志布志・福山線の関屋口付近の街路事業に伴い植えられた並木が枯れているが、どう考えるか。	市 長
5 小野 広嗣	1 限界集落について	(1) 65歳以上の高齢者が半数を超え、共同体としての機能が維持できずに、消滅の危機に直面している限界集落が増えている。本市の限界集落に対する認識と今後の施策の方向性について問う。	市 長
	2 寄付条例の制定について	(1) 用途を明確にした上で、市民をはじめ全国から寄付を募ることができる寄付条例の仕組みを取り入れ、市民協働のまちづくりを目指している自治体が増えている。本市でも、このような寄付条例を制定する考えはないか。	市 長
	3 環境行政の推進について	(1) 地球温暖化問題をめぐり、京都議定書では日本に対しCO ² などの温室効果ガスの排出量を1990年比6%削減するよう義務付けている。本市でも実行計画に基づき平成24年度までに、対17年度比6%削減を目標に掲げているが、その推進状況はどうか。 (2) 施政方針には、4月24日に全国規模の「地球環境を考える自治体サミット」を開催し、循環型社会や生活様式の見直しについて全国に情報発信するとあるが、その具体的な内容について問う。	市 長
	4 通学路の安全対策について	(1) 通学路に関しては危険個所の改善等、徹底した安全対策を講じていく必要があるが、本市の取組状況はどうか。	教育委員長
6 鬼塚 弘文	1 地球環境を考える自治体サミットについて	(1) 全国規模のサミットを本年4月24日に開催予定と示されたが、内容、目的、農業振興との関連を問う。	市 長
	2 東九州自動車道、都城・志布志道路について	(1) 早期完成に向けて要望すると言われているが、道路特定財源の確保等、厳しい状況下であるようだが、今後の見通しについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
	3 消防行政について	(1) 団員の確保と資質向上を図り、充実強化に努めると示されたが ① 常備消防……広域合併に伴う負担金と消防力の関係、広域消防運営計画の作成についての取り組みはどうか。 ② 非常備消防……志布志方面隊の再編計画について	市 長
	4 スポーツ振興について	(1) スポーツ合宿への支援と誘致促進を目的とした(仮称)「スポーツ団体誘致歓迎推進連絡会」を設置し、官民一体で支援していくとあるが、具体的に示せ。	市 長 教育委員長
7木藤 茂弘	1 組織機構見直しについて	(1) 支所機能として、支所長に総括、調整機能の位置付けをどのように考えているか。 (2) 支所長の執行権限を予算額でどの程度考えているか。 (3) 滞納事務窓口一本化への取り組みについて	市 長
	2 民俗芸能保存について	(1) 今後の発表の機会をどのように考えているか。	教育委員長
	3 ピーマン農家の方向付けについて	(1) 低温適応作物への切り替えの検討が必要ではないか。	市 長
8立山 静幸	1 保育所の民間移管について	(1) 平成19年11月15日以後の民間移管に対する反省と現在までの取り組みについて (2) 保護者や地域・議会の皆様の理解を求めながら、引き続き移管を推進するとあるが、どのような理解の求め方を考えているのか。 (3) 移管先を社会福祉法人だけでなく、NPO法人等、希望があれば未経験でも移管対象にすべきと考えるが。	市 長
	2 志布志市地球温暖化防止活動実行計画について	(1) 平成24年度までに、二酸化炭素排出量を対17年度6%の削減について、目標達成のためどのような取り組みを実施しているのか。 (2) 市役所職員の取組状況を市民に普及する考えはないか。	市 長
	3 歴史の街づくり事業について	(1) 庁内プロジェクトチームの組織づくりと職員の配置について (2) 平成20年度で歴史的環境保全整備計画書づくり、事業認定まで完了するのか。また、地域住民、関係団体等に計画の見直し、今後の進め方について説明する必要があると思うが。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年3月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 上村 環	1 入札制度改革について	(1) 改革の方針と今後の取り組みについて問う。 (2) 地域貢献に対する評価点について (3) 不当要求等に対するマニュアルについて	市 長
	2 営農推進について	(1) 畑かん営農の推進体制とビジョンについて (2) 営農技術職員の採用について (3) 農業振興に果たす市の責務について	市 長
10 八久保 壹	1 住民サービスへの対応について	(1) 市民が望むサービスにどう対応してきたか。 (2) 選挙公約の実現について (3) 部制廃止後の対応策について	市 長
	2 志布志市の活性化について	(1) 人口増対策について (2) 企業誘致について	市 長
	3 志布志港湾の機能充実にについて	(1) 国際交流センター設置について (2) トラクターミナルセンター(基地)の整備について	市 長
11 上野 直広	1 農業振興について	(1) 大隅半島は日本の食料基地と言われているが、志布志市のトウモロコシ、小麦、大豆、牧草、野菜等の食料状況はどうなっているか。 (2) 遺伝子組み換えトウモロコシの汚染はどうなっているか。そして、表示偽造問題は。 (3) 日本の食料基地として食料安泰に取り組むのは責務ではないか。 (4) 食料供給の不安定さが増す中で、私達が安心して生活するためには何が大切か。 (5) 食料をどうするか。WTO交渉だけが進むようなことになれば、市としても取り返しのつかない事態を招くのではないか。 (6) 施政方針の安心安全健康な産地づくり、農業生産コスト削減の取り組みを問う。 (7) 人口減少の中で、これに取り組むのは並大抵ではない、どう取り組むか。 (8) 農業生産力を高めるためには、包括的かつ本格的に取り組むべきではないか。	市 長
12 小園 義行	1 施政方針について	(1) 合併して2年経過しての合併効果をどう認識しているか。 (2) 本庁・支所のあり方と組織の見直しについて問う。	市 長
	2 後期高齢者医療制度について	(1) 新しい制度について市長の考え方を問う。 (2) 保険料の減免制度については連合でやられるわけだが、徴収するのは市町村である。申請減免について考え方を問う。 (3) 保険料滞納者への資格証明書の発行は機械的にすべきでないと思うが、本市の考え方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年3月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
		(4) 健康診査の対象者をどのように考えているか。 (5) 定額制(包括払い制度)は問題があると考えますが、このことについてどう認識しているか。 (6) 住民に対する説明会の計画はどうか。	市 長
	3 児童福祉について	(1) 公立保育所の耐震診断は行われていないが、今後の考え方を問う。 (2) 保育士の待遇改善について問う。	市 長
13下平 晴行	1 教育行政について	(1) 給食費の滞納を無くすために保護者との契約制を導入している先進地があるが、どうか。 (2) 弁当の日(子供の手作り)を実践して、親子のふれあいや親のありがたさ、食物の大切さ、給食の残渣の減少等の結果を出している学校があるが、導入する考えはないか。	市 長 教育委員長
	2 環境政策について	(1) 環境対策として4Rが基本であるが、どうか。 (2) 「ごみゼロのまち」を目指すために、空き缶等のポイ捨てや犬等の糞の未処理の対策として、環境美化条例等は設置できないか。 (3) 清掃センターの維持管理について	市 長
	3 自治行政について	(1) 集落未加入世帯が増えている現状をどのように受け止めているか。 (2) 集落及び公民館の運営が厳しくなっているが、転入時の加入促進はどのように図っているか。 (3) 市営住宅等の入居申込書の制約に集落加入用件はできないか。	市 長
	4 財政について	(1) 地方債発行の考え方について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 林 勇作	1 ダグリ公園施設の指定管理について	(1) 指定管理者の管理運営について問う。 (2) 納付金の契約について問う。 (3) 従業員の雇用について問う。	市 長
	2 志布志市観光開発公社の現状について	(1) 寄附行為について問う。 (2) 解散及び残余財産の処分について問う。 (3) 今後の取扱いについて問う。	市 長
2 岩根 賢二	1 合併問題について	(1) 合併に関する大崎町の動向について、どのような感想を持っているか。また、今後どのように対処する考えか。	市 長
	2 少子化対策について	(1) 子育て日本一のまちづくりを実現させるために、企業や諸団体との連携を深めていく考えはないか。	市 長
	3 地域活性化対策について	(1) マニフェストの第一番目に掲げている「新自治会組織の立ち上げ」を、今後どのように進めていく考えか。	市 長
3 小野 広嗣	1 特定健診について	(1) 4月から生活習慣病の発見並びに生活指導による予防を主な目的に、特定健診制度がスタートしたが、その推進状況と今後の取組について問う。	市 長
	2 リサイクルの推進について	(1) 携帯電話には、金、銀などの貴金属とともにリチウム、インジウムなどのレアメタルが含まれているため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の観点から適切な処理と有用資源の回収に大きな期待が寄せられている。回収への協力が環境への貢献にもつながる携帯電話リサイクルの推進を図るべきではないか。	市 長
	3 食の安全について	(1) 食の安全が脅かされる中、市民への安心できる食生活の情報提供など、食の安全を守るための対策が急務である。本市の取組状況について問う。 (2) 学校給食の安全な食材の確保と地産地消の取組状況について問う。	市 長 教育委員長
	4 学校の耐震化の推進について	(1) 学校施設は、地震等の非常災害時に児童・生徒の生命を守るとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保が不可欠である。耐震補強策を取り入れるなど、学校施設の耐震性を向上させるべきではないか。	教育委員長
4 西江園 明	1 道路行政について	(1) 市道にある街灯の維持費は今後どうなるのか。 (2) 今後市道にもっと街灯を増やす計画はないのか。 (3) 学校単位でスクールゾーンの通学路点検を行った結果をどのように処理しているのか。	市 長 教育委員長
	2 志布志の木びろうについて	(1) 今後の植樹計画はないのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
	3 教育行政について	(1) 公民館の指定管理者制度導入計画で、公募方式から非公募方式になった理由は何か。 (2) 今後、条例公民館、図書館は指定管理者制度をいつ導入するつもりか。 (3) 志布志町の公民館主事3人が同時に退職したが、これをどのように認識しているか。	市 長 教育委員長 教育委員長
	4 大崎町との合併問題について	(1) 市長の見解を問う。	市 長
5丸山 一	1 道路行政について	(1) 海岸に国道220号のバイパス道路をつくれ。	市 長
	2 農地・水・環境について	(1) コスモス畑をアピールせよ。	市 長
	3 防火水槽について	(1) 設置基準はどうなっているか。	市 長
	4 防災対策について	(1) 一丁田・通山地区の総合的防災対策はその後どうなったか。	市 長
6立山 静幸	1 茶の振興策について	(1) 平成20年度一番茶の価格低迷に対して、どのような対応策を考えているのか。 (2) かぶせ茶等、付加価値対策の実施をしているのか。 (3) 借入金等の利息補給支援策を考えるべきと思うが。	市 長
	2 肉用牛の振興策について	(1) 5月競り市の価格低迷をどのようにとらえているか。 (2) 濃厚自給飼料作付指導に力を入れるべきと考えるが。 (3) 借入金等の利息補給支援策と経営安定強化策に努力すべきと考えるが。	市 長
7上野 直広	1 畜産振興について	(1) 畜産飼料の高騰が止まらない。市にとっては大問題である。このことをどうとらえているか。 (2) 自給率向上の具体策をどう考えているか。 (3) 市の農業政策を明確に示すべきではないか。	市 長
	2 教育振興について	(1) 2006年OECD学力調査で、日本の15歳の学力が落ちているが、原因は何か。 (2) この原因と教育基本法改正との関係は。 (3) この改正で目指すのは何か。	教育委員長
8長岡 耕二	1 農業振興について	(1) 厳しさを増す農家への対応の基本的考え方を問う。 ①飼料高騰による畜産農家への対応 ②価格下落による茶農家への対応 ③燃料高騰によるピーマン農家への対応 (2) 各支所の職員の減少の中、今のままの対応でよいか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
	2 学校給食について	(1) 新給食センターの運営での食育をどう考えるか。 (2) 地元農産物利用をどのように図るか。 (3) 食の安全性管理、食品管理対策は万全か。	教育委員長 市長
9小園 義行	1 後期高齢者医療制度について	(1) 3月議会での答弁に対するその後の対応について問う。	市長
	2 国保について	(1) 条例改正で国保税の引上げが提案されているが、住民の生活実態等を考えたときに、理解は得られないと思う。国保運営に対する考え方を問う。	市長
	3 生活保護について	(1) 生活保護適正実施推進事業の提案があるが、考え方を問う。 (2) 現状のスタッフでは対応が難しいのか。	市長
	4 児童福祉について	(1) 志布志町の田之浦保育所が休園しているが、経過と今後の対応について問う。 (2) 児童福祉にかかわる人の異動は、短期間で行われると児童や保護者との信頼関係を構築するのが困難になると考える。考え方を問う。	市長
10鶴迫 京子	1 ふるさと納税について	(1) 制度についての現状認識と市長の思いはどうか。 (2) 制度の開始に向けてのこれまでの本市の取組と、現状及び今後の方向性はどのようになっているのか。 (3) 制度の寄附金の使いみちをどのように考えているのか。特化するのか。 (4) 寄附金の使いみちを景観づくりに特化し、「志布志ふるさと景観条例」(仮称)の制定は考えられないか。 (5) 特化して「国際の森にオアシスを！」のキャッチフレーズで、最優先に国際の森に水を引き、本市の観光の目玉にすべきではないか。	市長
	2 観光、教育行政について	(1) 国際の森、大師公園(志布志町天神)の管理、整備について問う。 (2) 本市の歴史民俗資料の保存の現状はどうなっているのか。 (3) 本市の歴史民俗資料を一箇所に集め展示し、同時に鑑賞できるように給食センター(志布志町)の跡地利用は考えられていないか。 (4) 観光資源を開発し、現存するものも整備しながら、本市の広域的な観光ルートづくりは考えられないか。	市長 教育委員長 教育委員長 市長 教育委員長
11下平 晴行	1 家庭用火災警報器の設置の取組について	(1) 消防法により家庭用火災警報器の設置が義務付けられたが、取組はどうか。 (2) モデル地区を設置できないか。 (3) 弱者に対しての援助は考えられないか。	市長

一般質問通告書

平成20年6月定例会(No. 4)

質問者	件名	要旨	質問の相手方
	2 補助金等の取扱いについて	(1) 補助金等の見直しについて、19年度中に方針を決定し、廃止を含めた見直しをしていくとのことであったがどうか。 (2) 校区公民館補助金の調整について、地域ふれあい交流事業の補助金を上乗せしているが、補助金の在り方をどう考えているか。	市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年9月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 岩根 賢二	1 教育行政について	<p>(1) 平成19年2月に「学校の規模・配置の在り方検討委員会」を設置し、学校の適正規模や将来を見据えた学校区の見直し等が検討されているが、その方向性を示す時期に来ているのではないか。</p> <p>(2) 小・中学校の学力低下が懸念されるが、今後学力向上のためにどのような対策を考えているか。また、就学援助と学力の関連がうんぬんされているが、本市の現状と対策はどうか。</p> <p>(3) 「放課後子ども教室推進事業」は、子供の安心・安全のため、また地域との交流を深める意味でも必要と思うが、取り組む考えはないか。</p>	市 長 教育委員長
2 丸山 一	1 観光行政について	(1) 環境省が「平成の名水百選」に選定した普現堂湧水源のPRを、どのように図る考えか。	市 長
	2 LEDの普及について	(1) LED使用の信号、街路灯、電光掲示板、室内灯の設置推進に努めるべきではないか。	市 長
3 八久保 壹	1 志布志市の活性化について	<p>(1) 多くの市民は、合併しても何も変わらないという不満の声が多い。その認識について、どうとらえているのか。</p> <p>(2) 低迷する行政に対する市民の不満に対して、今後どのような対策で臨まれるのか。</p> <p>(3) 活性化は人なしでは成し得ない。志布志市に人をもっと呼び込む必要がある。それに向かった具体策はあるのか。</p> <p>(4) 志布志市は「やすらぎとにぎわいの輪が協奏するまち」を目指して「志のまち」を宣言した。人的交流を図るため、『おもてなしの心』を外へ向けた実践スローガンとする気はないか。</p>	市 長 教育委員長
	2 スポーツ振興について	<p>(1) 「志布志みなとサッカーフェスティバル」が今年で13年目を向かえた。このフェスタをどのようにとらえ、今後のスポーツ振興につなげていくのか。また、プロサッカー等のキャンプ地としての誘致計画はどのようなものか。あれば具体策を示せ。</p> <p>(2) スポーツ等、来ていただくお客さんに対する「おもてなしの心」が不足している。ソフト面も含め、市民ボランティアをもっと活用すべきではないか。</p> <p>(3) サッカーフェスタは、「プロサッカー等のキャンプ誘致」へ向けた志布志市の活性化への参考になる試金石でもある。市を挙げて市民にも呼び掛けるべきと思うが、市長の考えを問う。</p>	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4小野 広嗣	1 歴史のまちづくりについて	(1) 先の通常国会で、地域活性化に向けたまちづくり政策を推進するため、新たに「歴史まちづくり法」が成立した。本市の歴史のまちづくりの今後の方向性を示せ。	市 長
	2 個人情報の保護について	(1) 個人情報の保護に関する施策を推進する上での過剰反応に関する適切な解釈と運用の見直しへの取組について問う。	市 長
	3 地上デジタル放送について	(1) 市内の視聴者の状況把握や情報通信格差の是正、公共施設の地デジへの効率の良い移行など、本市の今後の地デジ対策を示せ。 (2) 小・中学校の地デジ対応TVの整備費や、チューナー、アンテナの工事費など、地デジ対応への取組を問う。	市 長 教育委員長
	4 アレルギー疾患対策について	(1) アレルギー疾患のある子供の状況把握や対応の仕方をまとめた「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に対する今後の取組を問う。	教育委員長 市 長
5本田 孝志	1 無人ヘリによる航空防除について	(1) 早期・普通期水稻の防除面積、防除効果について問う。	市 長
	2 志布志市の管理職について	(1) 職員の服務規程はどうなっているか。	市 長
6小園 義行	1 本庁舎移転について	(1) 合併して2年8か月を経過した。この間の市内の住民の声をどう受けとめているか。 (2) 過去の議会で、「経済の中心は志布志町」と答弁されている。港湾や観光等を考えるときに、志布志支所を本庁とする考えはないか。	市 長
	2 国保について	(1) 今年度国保税が引き上げられた。21年度に向けての見通し、対応を問う。 (2) 一部負担の減免要綱作成と周知について、どう具体化されているか。	市 長
	3 後期高齢者医療制度について	(1) 広域連合議会で審議された議案等に関する情報提供は、どの様に住民にされているか。	市 長
	4 消防行政について	(1) 消防広域化推進計画に対する県の対応はどうか。 (2) 広域化に対する市長の考え方を問う。	市 長
7宮城 義治	1 農業振興について	(1) 放棄地の現況と今後の対応策をどう考えているか。	市 長
	2 行政関係について	(1) 市の審議会委員の公募制を採用する考えはないか。	市 長
	3 畜産振興について	(1) 旧形式の牛舎改造費の一部助成はできないか。	市 長
	4 消防行政について	(1) 市消防団員の体制は万全か。 (2) 市職員の消防団への入団、並びに女性の消防団への入団は考えられないか。	市 長
	5 教育行政について	(1) 子ほめ条例の活用についてはどのようになっているか。	教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 鶴迫 京子	1 国保会計健全化について	(1) 国保会計の健全化に向けて、具体的な取組と今後の見通しを問う。 (2) 「市民総参加健康づくり推進(仮称)ひまわり元気委員会」の内容はどういうものか。	市 長
	2 男女共同参画社会推進について	(1) 志布志市男女がともに輝くまちづくりプランの基本目標Ⅲ、Ⅳ、Ⅴについて問う。	市 長
9 下平 晴行	1 温水プールの管理について	(1) いつでも誰でも利用できる管理体制ができているか。 (2) 温水プールを誰でも気軽に利用できるために水着等の規制緩和はできないか。	市 長 教育委員長
	2 滞納対策について	(1) 財政健全化対策及び納税等の公平性から、税等の滞納を一括収納する課の設置はできないか。	市 長
	3 農業政策について	(1) 市長は大分のナズナ農園に3泊4日の有機農業の研修をしているが、市の農業政策にどのように生かしていくのか。 (2) 有機農業の推進を図るために職員を研修させる考えはないか。 (3) 現在、有機農業の実践をしている農家を対象にした有機部会を設置する考えはないか。 (4) グルンバ・システムで、焼酎かすをえさに、ふん尿を発酵たい肥にする畜産経営の取組を支援する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 鬼塚 弘文	1 観光行政について	(1) 本市の顔である観光行政の体制は万全か問う。	市 長
	2 教育行政について	(1) 学校の規模・配置の在り方検討委員会の進ちょく状況を問う。 (2) 潤ヶ野地区営農研修センターの改修計画はどのようになっているか。	教育委員長 市 長 教育委員長
	3 消防行政について	(1) 広域合併について問う。	市 長
2 立平 利男	1 農業政策について	(1) 県が推進している「環境と調和した農業」の一環としての有機農業推進計画の取り組みと、耕種農家のたい肥舎設置に支援はできないか。 (2) 農業経営継承事業の取り組み状況はどうか。	市 長
	2 消防行政について	(1) 消防分団に運営費の助成はできないか。	市 長
	3 環境行政について	(1) 公共施設(学校を含む。)の合併浄化槽の設置状況と取り組みを問う。	市 長 教育委員長
3 宮田慶一郎	1 県道志布志福山線(関屋地区)の枯並木、雑草の撤去について	(1) 3月議会で一般質問をした事件について、その後の進ちょく状況はどうか。	市 長
	2 県道志布志福山線(大原地区)の改良工事について	(1) 県の「街路事業」の進ちょく状況はどうか。	市 長
	3 まちづくり公社に対する市の役割について	(1) 場外舟券売場誘致について「市民から批判がないから問題はない」と言っているが、市長自身はどう思っているのか。 (2) まちづくり公社に借入れ返済が終わるまで補助金を出すつもりか。 (3) 既存商店街の振興をどう思っているのか。	市 長
	4 休暇村サービスとの契約について	(1) 契約不履行のことも考えた上での契約がなされているか。	市 長
	5 NPO法人の「お知らせ」について	(1) NPO法人が作成した活動内容についてのチラシ配布はできないか。	市 長 教育委員長
	6 保育所の民間移管について	(1) 「受託を希望する法人等」とは、株式会社、NPO法人も入っているのか。 (2) 民間移管した場合に、新たに実施が見込まれる事業を公設ではなぜできないのか。 (3) 民間移管の真の目的は何か。	市 長
4 西江園 明	1 商工業の振興策について	(1) 店舗改修等に補助制度は作れないか。 (2) アピア内の空スペースの活用について	市 長
	2 本庁を志布志町へ	(1) 本庁を志布志町に移転することは考えられないか。	市 長
	3 大崎町との合併について	(1) 経過について (2) 意向を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5小野 広嗣	1 介護保険事業計画について	(1) 第3期介護保険事業計画の事業評価と、第4期介護保険事業計画への取り組み状況について問う。	市 長
	2 妊婦無料健診の拡充について	(1) 国の第2次経済対策には14回分の妊婦健診の無料化が盛り込まれている。本市の現行7回の無料健診を更に14回に拡充すべきではないか。	市 長
	3 教育行政について	(1) 教育振興基本計画の中で、道徳教育の充実に向けて、指導方法・指導体制等に関する研究や、教材の国庫補助制度等を検討することが明記された。本市の道徳教育の現状と今後の方向性について問う。 (2) インターネットや携帯電話、テレビ、出版物等のメディア上の有害情報が深刻な問題となっている中で、有害情報から子供を守るための対策はとられているのか。	教育委員長
6金子 光博	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木志布志線(柳橋～弓場ヶ尾間)の今年度の具体的な進捗状況と今後の見通しについて (2) 市道志布志平山線(平山地内)の第1級の危険箇所(がけ)の現状認識と今後の考え方について (3) 市道吉村押切線(中央吉村地内)の改良工事計画変更をされたが、地権者への説明は不十分と考えられるがどうか。 (4) 曾於南部土地改良事業を活用しての農道整備の実績はどうか。	市 長
7岩根 賢二	1 財源確保策、経費削減策について	(1) 市の財政が厳しい折、財源を確保するために公用車に企業等の広告をのせることは考えられないか。 また、広告入りの封筒を利用して、経費を削減する考えはないか。	市 長
	2 補助金の在り方について	(1) 補助金制度等に係る指針を策定したが、公表の仕方や意見募集の方法は妥当であったか。 (2) 補助金を受ける側の団体の長が「市長」である場合、法的に問題はないのか。また、そのことについて見直す考えはないか。	市 長
8下平 晴行	1 健康対策について	(1) 食品添加物がほとんどの食品に使われている、その実態「裏側」を市民に情報提供する考えはないか。 (2) 学校給食の調味料等は安全か。	市 長 教育委員長
	2 「志」のまちづくりについて	(1) 11月29日に志ふれあい交流会in志布志市(演劇「米百俵」&「志」の講演会)が開催された。特に、志ネットワーク代表 上甲晃氏の「志」に対する考え方を、職員に「志」のまちづくりの研修として、講演会を開催する考えはないか。	市 長
	3 移動通信用鉄塔施設について	(1) 携帯電話の移動通信サービス利用可能な地域以外の取り扱いについて	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成20年12月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9立山 静幸	1 枇榔島自然観察教育林の活用を図れ	<p>(1) 枇榔島には日南海岸国定公園（自然公園法）、史跡名勝天然記念物（文化財保護法）、魚つき保安林（森林法）の3つの網がかぶさっている。それぞれの担当課及び業務内容並びに最小限の許可、行為が認められているのは、それぞれ法第何条か。</p> <p>(2) 枇榔島の周囲には地番のない土地が21か所あるが、どこの省庁の土地か。また、この土地には自然公園法、文化財保護法、森林法の3つの法のうち、どれとどれがかぶさっているか。</p> <p>(3) 枇榔島森林レクリエーション地区管理経営方針書が、大隅森林管理署と志布志市で締結されている。現在、所管課は耕地林務水産課である。事業内容等から教育委員会へ所管換えすべきと考えるが。</p> <p>(4) 大隅森林管理署が平成18年9月14日付けで枇榔島森林レクリエーション地区管理経営方針書の設定見直しで、管理運営協議会の設置を義務付けているが、現在まで協議会の設置がなされていない。協議会の設置を急ぐべきと考えるが。</p>	市長 教育委員長
	2 市役所敷地内の舗装実施について	(1) 本庁舎敷地内のシルバー人材センター及び野井倉土地改良区付近の舗装実施を急げ。	市長
10小園 義行	1 経済対策について	<p>(1) 本市の経済の現状をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」（セーフティネット5号）の本市の相談、申請状況と対応について問う。</p> <p>(3) ㈱まちづくり公社への支援とあわせて、既存の商業者への本市独自の対策を考えるべきと思うがどうか。</p>	市長
	2 国保について	(1) 短期被保険者証を配布されている家庭で18歳以下の子供たちの数はどれぐらいいるのか。また、そうした状況の子供たちを無保険状態にすることについての考え方を問う。	市長
	3 児童福祉について	(1) 保育所の民間移管が提案されているが、保育に対する公的責任をどのように考えているか。	市長
	4 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金を以前の制度に見直しをして75歳以上すべての高齢者に支給する考えはないか。	市長
	5 学校教育について	(1) 給食の食材高騰をうけて、来年度の給食費について考え方を問う。	教育委員長
11上野 直広	1 財政運営について	<p>(1) 平成21年度の経済状況をどうみているか。</p> <p>(2) 中期財政計画どおりに財源が確保できるのか。</p> <p>(3) 財政計画の見直しが必要では。</p>	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 岩根 賢二	1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に対する対応について	(1) 一昨年、この法律が改正され、昨年4月に施行された。この法律改正を受けて、教育委員会の運営や各委員の活動で、どのような改善あるいは充実を講じてきたのか。 (2) この法律の第27条第1項の規定によると、毎年「点検と評価」を行い、その結果に関する報告書を議会に提出することになっているが、いつ提出するのか。また、同条第2項では、この点検と評価を行うに当たっては、学識経験を有する者の知見の活用を図るとあるが、具体的にどうする考えか。	教育委員長 市長
	2 移動教育委員会の開催について	(1) 教育委員会の定例会を志布志地区だけでなく、松山地区、有明地区でも開催したとのことだが、開催場所を市立の小中学校にして、児童・生徒や地域住民との交流を図る考えはないか。	教育委員長
	3 歴史の街づくり事業の推進策について	(1) 志布志城跡公有化事業が平成21年度一般会計予算の債務負担行為として提案されているが、このことで歴史の街づくり事業が一步前進するのではないかと考える。この事業は教育委員会だけでなく、全庁的な取り組みが求められるが、「歴史の街づくり事業推進室」を設置して推進していく考えはないか。 (2) 志布志麓庭園周辺にトイレや休憩所の設置は考えられないか。 (3) JR志布志駅の総合案内所と連携して観光客をもてなす気風を高めるために、フェリーターミナルの活用をもっと図るべきではないか。	市長 教育委員長
	4 自治会活性化対策について	(1) 庁舎内の自治会活性化委員会では、どのような議論がされているのか。 (2) 未加入者対策として、どのような方策を講じているのか。 (3) 職員以外の市民を入れての検討委員会の活動状況はどうか。 (4) 新しい自治会組織はどのような形で、いつ立ち上げる考えか。 (5) 地域の活性化に取り組んでいる職員を評価する考えはないか。	市長 教育委員長
2 西江園 明	1 市道の街灯設置について	(1) 幹線道や通学路の街灯設置計画の進ちょく状況を問う。	市長
	2 自治会の運営について	(1) 助成金の仕組み変更について (2) 自治会の在り方について	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野 広嗣	1 定住対策について	(1) 地域の活性化へ向けた、新たな地域間連携の仕組みである「定住自立圏構想」に関する本市の考え方を示せ。	市 長
	2 情報化の推進について	(1) 地域におけるICTの活用は、住民福祉の向上や地域コミュニティの再生に大きな役割を果たす。電子自治体の実現に向けた推進状況を示せ。	市 長
	3 男女共同参画について	(1) 「男女共同参画社会基本法」が成立して10年。合併後すでに3年が経過した。この間の本市における男女共同参画の動きをどのように総括し、今後の計画にどのように反映するのか。	市 長
	4 父子家庭への支援について	(1) 現下の厳しい経済状況を勘案し、父子家庭に対しても市として助成制度を設けるべきではないか。	市 長
	5 介護人材の確保について	(1) 介護に携わる人材がいなければ介護保険制度は根幹から崩れる。介護人材の確保及び定着の促進に向けた今後の取り組みについて問う。	市 長
4上村 環	1 市長の政治姿勢について	(1) 行革一辺倒で支所の活力はそがれ、衰退していくのではないか。	市 長
	2 松山地区の住宅政策について	(1) 松山地区における住宅不足の状況と打開策について	市 長
	3 県道改良について	(1) 県道塗木大隅線、泰野地区及び尾野見（宮下地区）の県道改良の今後の見通しについて	市 長
5八久保 壹	1 港湾振興と大隅地域とのかかわりについて	(1) 新港の開港へ向けた取り組みは万全か。また、港湾振興を進める上での認識について (2) 港湾活性化と観光戦略をどう進めていくのか。 (3) 志布志港の機能拡充と活性化には、大隅半島地域等の広域連携が求められる。その認識と取り組みについて (4) 港湾振興と観光振興の拠点づくりについて	市 長
	2 市民健康づくりとスポーツ振興について	(1) 「地域健康スペース」づくりに共生協働事業を導入することについて (2) 志布志市の特性を生かしたスポーツ合宿等の誘致で観光振興につなげることについて	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6木藤 茂弘	1 市税等の徴収対策について	(1) 収納、啓発の取り組みについて (2) 税務課の組織強化充実策として、収納対策室の設置は考えられないか。	市 長
	2 過疎地域自立促進計画について	(1) 計画に対して実施状況は、市長部局、教育委員会部局で達成率はどのようになっているか。 (2) 平成22年度からの新計画への取り組みについて(志布志中学校、松山中学校の耐震補強改修工事の実施計画と校舎改築工事との関係について)	市 長 教育委員長
	3 道路行政について	(1) 市単独土地改良事業の採択について (2) 市道上松段馬場線の改良、維持(通学路の立木伐採整備等の考え方について (3) 馬場団地住宅入り口の立木伐採について (4) 飯野松山都城線の流末処理の対応について(野口運送の所) (5) 県道志布志福山線(関屋地区)の植栽、維持管理の要望の仕方について	市 長
	4 畑かん営農について	(1) 具体的に畑かん営農の推進がなされているのか。その現状と取り組みについて	市 長
7東 宏二	1 学校給食について	(1) 市内の給食センターにおける残さの状況等について問う。 (2) 残さ対策として、給食時間の延長は考えられないか。	教育委員長
	2 自治会未加入について	(1) 市内に自治会未加入者が多いと思うが、その対策はどのようになっているのか。 (2) 市職員(臨時及びパート職員を含む。)の中に、自治会未加入者はいないか。また市職員に対して、自治会加入対策はどのようになっているのか。 (3) 市内の小・中学校に勤務している教職員の中で、市内に居住している人数はいくらか。また教職員に対して、市内に居住し自治会に加入してもらうための対策はどのようになっているのか。	市 長 教育委員長
8鬼塚 弘文	1 県道3号線の改良について	(1) 地元から要望書が提出されていたが、どのような対応をされたのか問う。	市 長
	2 新若浜のスポーツランドについて	(1) 施政方針によると、できるだけ早く市民が利用できるよう働き掛けるとあるが、いつの時期になるのか問う。	市 長
	3 過疎地域自立促進計画について	(1) 総合観光案内事業について、内容と効果は何を求めるのか。 (2) 定住促進対策事業(森山地区)について内容を示せ	市 長
	4 消防行政について	(1) 大隅曾於地区消防組合総合整備計画について、(仮称)志布志消防署の建設計画についてと大崎分駐隊について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年3月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 立山 静幸	1 農林業振興について	(1) 曾於地域全体が連携して、農畜産物の曾於ブランド産地確立を進めるべきと考えるが。 (2) 定住促進対策事業のうち、グリーンツーリズムの可能性調査及び民泊農家の発掘が予算化されているが、市の体験館でモデル的に実施する考えはないか。 (3) 県費単独補助治山事業の負担金を軽減する考えはないか。	市 長
	2 教育行政について	(1) 小学校英語の必修化が2年後となり、これに伴い移行措置が本年度から実施される。本市の具体策として、教える体制は十分か。また、保護者への理解、周知方法は。さらに先生、児童、保護者の不安等に対する対応を問う。	教育委員長
	3 健康づくり元年について	(1) 「元気はつらつ志民健康づくり事業」と「ひまわり元気委員会」との協働による運動と食育促進の取り組み及び年間スケジュールを問う。	市 長
10 鶴迫 京子	1 施政方針について	(1) 「子育て日本一のまち」を目指している市長のこれまでの3年間の自己評価と残り1年にかける思いを問う。 (2) 第5 伝統・文化を守り育み、次代へつなげる人づくりのまちについて問う。 ① 「志を高める」教育を推進するための最重要課題は何か。 ② 日本語教育の充実方法と期待される成果は。 ③ 豊かな体験を通じた道徳教育・豊かな体験とは。(具体的に) ④ 心に届く生徒指導とは。(具体的に) ⑤ 郷土に根ざした活動とは。(具体的に) ⑥ 教育行政にかけた3年間の自己評価と残り1年にかける思いを問う。	市 長 市 長 教育委員長 教育委員長 教育委員長
	2 福祉行政について	(1) 父子家庭への支援について (2) 本市の高齢者保健福祉計画の基本目標である、自殺者の減少についての具体的な施策は。 (3) がん検診について ① 種別(胃・肺・大腸・子宮・乳)ごとの対象者と受診者の割合(受診率)の実態はどうか。 ② 大崎町や曾於市と比べてどうなっているか。 ③ 受診率の向上対策は。 (4) 本市のがん患者の実態把握がなされているか。また「がん難民」と呼ばれる患者の声をどのように吸い上げ、反映し、支援していくのか。今後の取り組みを問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年3月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11下平 晴行	1 人事について	(1) 組織機構再編計画について (2) 自己申告は業務等に反映されているか。 (3) 在課年数の取り扱いはどうか。	市 長
	2 道路行政について	(1) 県道改良等の地域の要望を県に対して、どのような要望活動をしているか。	市 長
	3 環境行政について	(1) ポイ捨て防止条例の活用について (2) し尿等の垂れ流し対策について (3) 地球温暖化対策等のために庁舎等の照明等を午後7時で全消灯できないか。	市 長
	4 教育行政について	(1) 中1ギャップ、心身の発達、小中学校間の教師の指導観や学力観等、教育観の相違から、小中校一貫教育について取り組む考えはないか。	教育委員長
	5 水道事業について	(1) 旧志布志町では2か月に1回の水道料納付等の業務を行っていたが、新市になってから毎月の業務になっている。納付書等の送料や事務等の経費が増えていると思うが改善する考えはないか。	市 長
12小園 義行	1 経済対策について	(1) 緊急保証制度の認定が50件とある。その状況について問う。	市 長
	2 政治姿勢について	(1) 本庁舎の位置を志布志支所に移す考えはないか。 (2) 地方公共団体の事務所の位置を決定する基準から考えたときに、現状をどう判断するか。	市 長
	3 介護保険について	(1) 要介護度の調査と認定の仕組みが4月から変更になる。その内容と影響はどうか。 (2) 保険料の滞納者に対して、納税の猶予の申請は周知されているか。	市 長
	4 生活保護行政について	(1) 生活保護法の実施要領では、資産の保有を認める基準を示している。これに対して本市の考え方を問う。	市 長
	5 職員の待遇改善について	(1) 嘱託、臨時、パート職員の待遇改善について、通勤手当等の支給は考えられないか。	市 長
	6 税の直接納付について	(1) 税金の直接納付に対する高齢者等の対応は十分か。	市 長
13上野 直広	1 農業振興について	(1) 今の農業の現状と課題は何か。 (2) 雇用不安化している中で、就農希望者が増加している。このような動きが就農の減少や高齢化農業の体質改善に結び付くか。その条件とは何か。 (3) 農業のキャリアアップの道筋を示すのが重要だといわれているが、今の農業の状況を解決するには、農業の経営者育成を推し進める必要がある。現在の農業従事者を支援していくことも必要ではないか。 (4) この解決策は、現場に近い自治体のリーダーシップが望ましいのではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 本田 孝志	1 次期市長選への出馬の意向を問う。	(1) 合併後3年数箇月の市政運営を振り返っての感想を問う。 (2) 次期市長選へ出馬の意向を問う。	市 長
	2 市役所本庁の移転について	(1) 合併後、本庁の位置問題について市民と話題にしたことがあるか。 (2) 本庁は現所在地のままがよいと考えているのか。 (3) 本庁を志布志町市街地に移転する考えはないか。	市 長
	3 税金問題について	(1) 固定資産税の評価替えについて	市 長
	4 子牛、お茶の現状について	(1) 農家所得減の対策は。	市 長
2 坂元修一郎	1 農業情勢の把握と取り組みについて	(1) すべての農業部門において、ひっ迫した状況が続いている。本市農業をどのように把握されているか。 (2) 各地で生き残りをかけた農業施策の取り組みが行われているが、本市ではどう取り組まれているか。 (3) 農山漁村活性化や循環型社会の構築に向けた「バイオマス活用推進基本法」が9月から施行される見通したが、本市の農業にどう生かすか。	市 長
	2 茶業振興について	(1) 春先の茶への晩霜でスプリンクラーでの防霜効果が再認識され、水利用による防霜施設の希望者が急増すると思われるが、受益者の要望に対処できるか。 (2) 価格低迷の要因である過剰在庫や生産過剰を回避するための施策について (3) 消費拡大について (4) 県内第2位の産地として、ブランド力向上の対策はあるか。	市 長 市 長 教育委員長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野 広嗣	1 がん対策について	(1) 今年度、市町村のがん検診事業を支援する地方交付税が大幅に増額された。今後のがん対策に取り組む姿勢を示せ。 (2) 女性特有のがん検診推進事業がスタートするが、現在の準備態勢を示せ。	市 長
	2 ひとり暮らしの高齢者や障害者の安全・安心の確保について	(1) ひとり暮らしの高齢者や障害者など、災害に弱い方々を火災被害から守るために、火災警報器設置の助成を拡充すべきではないか。 (2) ひとり暮らしの高齢者や障害者を対象に、救急医療情報キットを冷蔵庫に保管して、救急隊員や医師が患者の情報を早く、正しく把握することのできるようにする事業がある。本市でも取り組む考えはないか。	市 長
	3 子育て支援について	(1) 平成21年度は志布志市次世代育成支援対策行動計画の見直し期にあたるが、これまでの進捗状況と成果及び後期行動計画への取り組み状況を示せ。	市 長 教育委員長
	4 スクール・ニューディール構想について	(1) スクール・ニューディール構想は、学校施設における耐震化とエコ化、情報化を集中的に推進しようとするものである。構想で示されている事業に本市でも取り組むべきではないか。	教育委員長
4金子 光博	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木志布志線(柳橋～弓場ヶ尾間)の進捗状況と完了年度の見通しは。	市 長
	2 農政について	(1) 現在の農業状況(茶・肥育牛)の認識はどうか。また、今後どのような方向に力点を置くのか。	市 長
5宮城 義治	1 職員の能力開発について	(1) 職員の能力開発をするための施策について(職員自らの能力を開発しようとする者に対する支援等について)	市 長
	2 畜産振興について	(1) 飼料わらの取り組みの現状と今後の取り組みについて、行政としてどのように計画されているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6立山 静幸	1 国語力アップについて	(1) 辞書引き学習方法を市内各小・中学校及び家庭に積極的に取り入れるべきと思うが。	教育委員長
	2 県道の改良工事について	(1) 県道523号志布志有明線の国道269号芝用集落から岩屋集落までの改良舗装工事が進まない状況である。今後の見通しを問う。 (2) 県道513号宮ヶ原大崎線の国道269号平野集落から山重集落間が途中で工事が中止になっている。1筆の用地交渉が進まないためである。今後、県はどのような対応を講じようとしているのか。 (3) 同じ県道513号の国道269号平野集落から、下平野、倉ヶ崎、曲各集落間の局部改良や蓋版の布設を早急に実施するよう県に要望する考えはないか。	市 長
	3 新型インフルエンザ対策について	(1) 新型インフルエンザの国内発生に伴い、どのような緊急対策を講じたか。 (2) 防護服セット等の購入や防護服の着用方法などの訓練を実施したのか。 (3) 関西方面への修学旅行や一般団体客で、さんふらわあをキャンセルした団体があったのか。また一般客の減少があったのか。	市 長
7岩根 賢二	1 敬老祝金支給について	(1) 節目支給となっている敬老祝金の支給対象者の年齢に配慮して、支給日を変更する考えはないか。	市 長
	2 ひとり金婚式について	(1) ひとり金婚式は、平成19年度以降実施されていない。再開を望む声もあると思うが、その余地はないのか。	市 長
8木藤 茂弘	1 地域高規格道路整備について	(1) 平成21年度から伊崎田・志布志間は工事着手となるが、市の工事負担金が予測されるのか。 (2) 地元業者参入の取り組みについて	市 長
	2 教育行政について	(1) 今回実施された基礎学力定着度調査の結果について、校長・教職員は担当教科(学校)の結果を把握しているのか。 (2) 基礎学力の定着を高める、学校の持つ教育力について (3) 家庭教育学級の内容充実について	教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年6月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9八久保 壹	1 自己評価と今後の対応について	(1) 初代市長としての自己評価について (2) やり残した課題について (今後の対応は)	市 長
	2 安全で安心な地域づくりを目指した防災対策について	(1) 志布志市の防災対策は万全か。 ① 防災基本計画について (関係当局との検討は) ② 災害は場所と時を選ばない。その対策は。 (2) 各河川の防災について ① 河川災害の事前点検と対策について ② 河口周辺の対策について (3) 自主防災組織と行政との連携について ① 自主防災組織に何を求めるのか。 ② 住民自治と行政との連携・使命について	市 長
10長岡 耕二	1 緊急商工業資金利子補給金交付事業について	(1) 対象となる事業者は何人で、事業費はいくらか。(5月末現在) (2) 商工会を通して利用した資金のみを対象とする理由は何か。 (3) 商工会員でありながら、商工会を通さず資金利用をしている事業所はどのくらいあるか。 (4) 今後の対応として、商工会を通さず資金利用した事業者に対して利子補給をする考えはないか。	市 長
	2 農業振興について	(1) 国の平成21年度補正予算で様々な経済危機対策が打ち出されているが、市民への周知・連絡はどのようにするか。 (2) 国や県から農家への様々な対策があるが、志布志市独自の緊急対策は考えられないか。 (3) 畜産生産基盤施設整備事業の内容見直しは考えられないか。	市 長
	3 林道境屋柳井谷線の在り方について	(1) 市道に格上げして管理する考えはないか。	市 長
	4 J Aそお鹿児島立花迫支所跡地について	(1) J Aそお鹿児島立花迫支所跡地の敷地内に、地域住民が生活関連道路として利用している道路が含まれているが、地域住民のために市道として買い上げる考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年6月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11小園 義行	1 国保について	(1) 国保条例第1条第2項について、市民環境課・税務課との連携は十分に対応されているか。	市 長
	2 火葬場について	(1) 友引の日の管外からの申し込みで、本市住民への影響はないか。	市 長
	3 職員の待遇改善について	(1) 嘱託・臨時・パート職員について、人勧に基づいて通勤手当等の支給をすべきと考えるがどうか。	市 長
	4 図書館について	(1) 職員の配置について基本的な考え方を問う。 (2) 有明町・松山町地域の移動図書館車のサービスの対応をどう考えるか。	教育委員長
12鶴迫 京子	1 環境行政について	(1) 10月から施行される「ポイ捨て防止条例」にない、猫のふん害などについての現状認識はどうか。 (2) 路上や空き地等で死んでいる猫や犬などへの対応方法と件数はどれくらいあるか。具体的な現状と今後の改善策について問う。 (3) 平成21年度から佐賀市が野良猫を減らしてふん害などの苦情に対応しようと地域住民の協力をえて管理する「地域猫制度」をはじめた。本市でも猫の適正飼育と動物愛護の観点から同様な制度は考えられないか。	市 長
	2 観光行政について	(1) 全国の事例にならって、いやしを与えてくれるペット(猫や犬など)を観光資源として、本市の目玉にすることは考えられないか。 (例)たま(猫の駅長)・・・和歌山 バス()・・・会津鉄道 猫神社(鹿児島・仙巖園) 猫寺(京都) 猫の島(宮城・田代島) 猫カフェ(東京、京都、福岡等)等	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年6月定例会 (No. 6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13下平 晴行	1 入札制度の在り方について	(1) 最低制限価格制度を設けないことで税金の効率的な執行はできるが、反面、業者が疲弊することになっているが導入する考えはないか。 (2) 開札日の落札者への通知の時間設定はできないか。 (3) 地区ごとの入札指定はどうか。 (4) 入札参加格付が水道施設と造園についてはAランクだけであるがBランクも設置すべきであるがどうか。 (5) 物品購入について、市内の業者の取り扱いが公平に活用されているか。また、入札参加資格申請手続きを簡素化できないか。	市 長
	2 遊具施設等の管理について	(1) 遊具施設等の管理が徹底していないため事故等につながっている事例があるが、本市では管理が徹底されているか。	市 長 教育委員長
	3 安心して住めるまちづくりについて	(1) 足利事件も志布志事件と同じえん罪で、被害者は17年間の勾留で人生は台無しである。行政は市民の生命財産を守る義務がある、その立場の市職員に対して人権講演会（体験談）を開催する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年9月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 西江園 明	1 自治会の運営について	(1) 助成金の在り方について検討したか。 (2) 奉仕活動総合補償保険制度とは。 (3) 集落支援員制度の活用は考えていないか。	市 長
	2 受益者負担について	(1) 過疎化・高齢化が進む集落の生活道路の維持補修について (2) 小規模な災害の自己負担に不公平感はないか。	市 長
	3 教育委員会の臨時職員の処遇について	(1) 交通費は支給しないのか。 (2) 図書館の人事異動は適正か。 (3) 公民館にある図書室の主事と公民館主事の勤務条件について (4) 休館日である月曜日が祝日であれば開館しているが、意味があるか。	市 長 教育委員長
	4 温水プールの施設整備について	(1) 指定管理者と市役所の関係について (2) 電光掲示板の増設は考えていないか。	市 長 教育委員長
	5 廃屋の撤去について	(1) 住居人が死亡したり、行方不明で廃屋になっている物件の撤去は考えられないか。	市 長
	6 入札の最低制限価格の引き上げについて	(1) もっと引き上げるべきではないか。	市 長
	7 六月坂にある旧法務局の建物の活用について	(1) 現在、文化財の保管に利用されているが、地域の自治公民館として利活用できないか。	市 長 教育委員長
2 立山 静幸	1 新型インフルエンザ大流行への備えについて	(1) 保育所、幼稚園、小・中学校の市内の感染状況と防止策の実施状況はどのようになっているか。また、体育祭や部活動等による学校での拡大防止策及び学校と家庭との連携・対応については、どのように取り組んでいるか。 (2) 重症化しやすい呼吸器疾患や心臓病、糖尿病、じん臓病の人、妊婦や幼児・高齢者への特別指導及び幼児等のインフルエンザ脳症に対する特別指導が必要と思うが、どのような特別指導をするのか。 (3) 9月下旬に流行のピークを迎え、年内に終息すると想定されているが、ピーク時の市内感染者数、入院患者数の試算はどのようになる見込みか。また、ピーク時の対応計画について問う。 (4) 市内の医療機関の大流行への備え、関係医療機関の連携・協力体制は十分か。 (5) ワクチンの接種は、どのような優先順位で実施するのか。 また、輸入ワクチンの安全性の問題をどのように認識しているか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 本田 孝志	1 在宅介護者に対する相応の支援金について	(1) 在宅介護者数は何名か。 (2) 現在、介護用品代6,250円、在宅ねたきり老人等介護手当8,000円となっているが、別途2万6,000円支給する考えはないか。	市 長
	2 市道吉村・押切線、飯山・通山1号線の改良工事について	(1) 野井倉土地改良区の水路と同時に工事はできないか。	市 長 教育委員長
	3 飯山地区農道の改良工事について	(1) 今後の計画はどのようになっているか。	市 長
4 小野 広嗣	1 安全・安心なまちづくりについて	(1) 新型インフルエンザの本格流行に備えての本市としての現状と今後の対応策について問う。 (2) 本市の災害時要援護者の避難支援対策への取り組み状況について問う。	市 長 教育委員長
	2 指定管理者制度について	(1) 本市では現在、平成22年4月1日から3年間の予定で7施設の指定管理者を募集している。指定管理者制度の導入以後の評価と課題について問う。	市 長
	3 地域活性化対策について	(1) 建設業団体や地方公共団体などの地域関係者が協議会を構成し、異業種との連携等による地域活性化に資する事業の立ち上げを支援する「建設業と地域の元気回復助成事業」に関する本市の認識について問う。	市 長
	4 教育行政について	(1) 持続発展教育 (ESD) の学校現場への普及促進を図るために、ユネスコ・スクールへの参加、活用は考えていないのか。	教育委員長
5 藤後 昇一	1 地域医療の現状と定住自立圏の形成に関する協定への取り組みについて	(1) 本定例会に都城市と鹿屋市を中心市とする二つの定住自立圏の形成に関する協定の議案が上程されている。この二つの協定案はともに、都城市郡医師会病院と鹿屋医療センターを中核とする広域救急医療連携を中心的な構想の一つとしている。この構想は、上記の二つの中核的医療機関が形成するそれぞれの第二次医療圏と本市の地域医療機関によって形成される第一次医療圏との連携を基本的フレームとして成立している。この構想の前提となる第一次医療圏である本市の地域医療の現状について、どのように認識しているか。 (2) 本市の地域医療の中核病院である曾於郡医師会立病院と曾於郡医師会立有明病院の経営・運営状況をどのように認識しているか。 (3) 本市の地域医療の現状認識の上に立って、今後の本市の地域医療の展望と定住自立圏の形成に関する協定への取り組みについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6丸山 一	1 農政について	(1) 循環型農業の確立を進めるべきではないか。	市 長
	2 防災について	(1) 災害時要援護者台帳の作成はどうか。 (2) 市の防災計画の作成はどうか。 (3) 住宅用火災警報器設置の促進について問う。	市 長
	3 害虫駆除について	(1) キオビエダシヤク、クロマダラソテツシジミの駆除対策について問う。	市 長
7毛野 了	1 本市の農業振興とその取り組みについて	(1) 農政対策事業のそれぞれの予算執行の実態と効果について問う。 (2) 担い手対策、認定農家対策等について問う。	市 長
	2 市道、県道の改良整備の進捗よくについて	(1) 市道町原・弓場ヶ尾線の整備計画について問う。 (2) 県道柿ノ木志布志線の完成見通し等について問う。	市 長
8岩根 賢二	1 教育行政について	(1) 教育委員会外部評価委員会の点検・評価を受けて、教育委員会として今後各事業にどのように取り組んでいく考えか。	教育委員長 市 長
	2 奨学金の在り方について	(1) 所得と学力の関連性が指摘されている。本市の奨学金貸与条例の奨学生の資格要件に世帯全員の合計所得が500万円以内とあるが、これを見直す考えはないか。 (2) 学費の関係で進学をあきらめる子供がでないように、返還を求めない奨学金制度を創設する考えはないか。	教育委員長 市 長
9小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 市長1期目の任期をどう総括しているか。 (2) 市長の退職手当について、廃止を含め見直す考えはないか。	市 長
	2 本庁舎の見直しについて	(1) 志布志支所を本庁として見直す考えはないか。	市 長
	3 国保について	(1) 滞納されている世帯への対応として、生活実態を把握することが大事と考える。職員の配置を増やす等して対応する考えはないか。	市 長
	4 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金を見直して、75歳以上すべての高齢者に支給する考えはないか。	市 長
	5 児童福祉について	(1) 保育に対する公的責任をどのように考えているか。	市 長
10福重 彰史	1 市政運営について	(1) 総選挙の結果をどのようにとらえ、今後の市政にどのように取り組むか。	市 長
	2 害虫対策について	(1) イヌマキを枯らすキオビエダシヤクの駆除について	市 長
	3 道路行政について	(1) 県道柿ノ木志布志線(柳橋～弓場ヶ尾間)の進捗よく状況と今後の見通しは。	市 長
	4 子育て支援について	(1) 医療費の中学校までの無料化は考えられないか。 (2) 中学校自転車通学における自転車及びヘルメット購入に対する助成は考えられないか。	市 長 教育委員長
	5 公共事業について	(1) 現下の経済状況での指名・入札はどうあるべきか。	市 長
	6 農業振興について	(1) 水田における湿田対策は万全か。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年9月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11下平 晴行	1 定住化促進対策について	(1) 人口減少により、地域経済活力の低下、コミュニティの衰退・崩壊などさまざまな問題が懸念されるが、空き家の補修及びリフォーム等に助成して、周辺地域の活性化は図れないか。	市長
	2 グリーンツーリズムについて	(1) 志布志市の特性を生かした「環境・農業体験」、「歴史・農業体験」等の取り組みはできないか。	市長
	3 宅地災害復旧支援について	(1) 治山事業の補助事業で対応することのできない小規模の山崩れ、地すべりなどの宅地災害復旧に支援はできないか。 (2) 農地災害等では80%からの補助があるが、宅地災害復旧について補助する考えはないか。	市長
	4 香月小学校付近の歩道整備について	(1) 国道220号の香月小学校から志布志高校付近の歩道が狭いため、子供たちの通学時は大変危険な状態であるが、国と協議して歩道を拡幅整備する考えはないか。 (2) 国道220号から市道水ヶ迫線の入り口付近は歩道もなく、私有地を通る大変危険な状態であるが、歩道を整備する考えはないか。	市長
12鶴迫 京子	1 父子家庭への支援について	(1) 3月議会で父子家庭への支援金について質問し、半年が経過した。状況調査の結果を見て支給を検討することであったが、今どうなっているのか。これまでの取り組みと進捗よく状況を示せ。	市長
	2 公共施設等の改造・改修について	(1) 次の公共施設等のトイレの現状についてどのように認識しているか。 (有明本庁・松山支所・志布志支所・志布志運動公園屋内温水プール・志布志駅) (2) 松山支所の老朽化した男女兼用の1階トイレを男女を区別し、全面的な改造は考えられないか。 (3) 志布志支所1階のトイレを洋式化する考えはないか。 (4) 志布志運動公園屋内温水プールのトイレを洋式化する考えはないか。 (5) 総合観光案内所も設置された志布志駅のトイレを交通業者のJRと協力して、男女兼用から男女を区別し、また、車いす使用者用のトイレも設置する考えはないか。また、トイレの清掃管理はどうなっているのか。 (6) 志布志支所の駐車場から庁舎2階へ上がる外階段に取り付けられている手すりを、断熱・耐寒素材に改修できないか。	市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年9月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13上野 直広	1 地産地消について	(1) 地産地消の意味を問う。 (2) 地産地消の現状はどうなっているか。 ①メリット・デメリットは。 ②諸外国の地産地消は。 ③地産地消はどういったものがあるか。 ④国・県の取り組みは。 (3) 地産地消の課題はどういったものが挙げられるか。 ①活動内容ごと、生産者、消費者、行政における課題。 (4) 地産地消の今後の方策はあるのか。 (5) 地産地消は、食料自給率向上に役立つのか。	市 長 教育委員長
	2 (取り下げ)		
	3 商業活性化対策について	(1) 空き店舗対策についてどう考えているか。	市 長
14宮城 義治	1 教育行政について	(1) 小・中学校の教育の諸条件など将来を考えた学校区の見直しや学校の統廃合にどのようにして取り組んでいくか。	市 長 教育委員長
15東 宏二	1 スポーツ振興について	(1) 各種団体が開催する支部の大会（グラウンドゴルフ、ゲートボール大会等）に補助金は出せないか。	市 長 教育委員長
	2 道路行政について	(1) 市道、林道、農道の維持管理（草払い等）はどのように実施しているのか。 (2) 市道のセンターラインが消えているが、維持管理をどのように考えているのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 迫田 正弘	1 志布志市のビジョンと政治姿勢について	(1) 定住対策としての市営住宅建設計画について ①定住対策としての市営住宅建設計画をしっかりと立てるべきではないか ②農業振興地域除外許認可業務の権限委譲を受けることについて ③農業振興地域の区域見直しについて	市 長 市 長 教育委員長
		(2) 紀州造林跡地購入と公共施設建設計画について ①志布志市本庁舎を志布志地区に建設することについて ②学校統廃合、ならびに新設校計画について ③南部消防署の移転計画について	
2 立山 静幸	1 各校区の主な施設の備品購入について	(1) 高齢者がふれあいサロン等で使用する公民館・青少年館等主な施設に高齢者用座椅子の購入について問う。	市 長 教育委員長
	2 平成21年度事業執行について	(1) 定住促進対策事業の進捗を問う。 ①田舎暮らしサポート推進協議会の設立状況等はどうなっているか。 ②志布志市への定住促進の具体的な取り組みはどうなっているか。 ③グリーンツーリズムの可能性調査はどうなっているか。 ④民泊農家の発掘状況はどうなっているか。	市 長
3 小野 広嗣	1 行財政改革について	(1) 来年度予算編成の時期を迎えて、市長は国の事業仕分け作業をどのように認識しているのか。 (2) 会計検査院が指摘したような税のムダ使いー「預け」、「埋蔵金」、受注業者の選定にあたっての問題点など、本市ではそのような事実はないのか。	市 長
	2 介護現場の現状と課題について	(1) 本市では介護事業者、介護従事者、要介護認定者、介護家族など、介護現場が抱える多くの課題についてどのように認識しているのか。	市 長
	3 新型インフルエンザ対策について	(1) 新型インフルエンザが猛威を振るいはじめている中、冬本番に向け、さらなる流行拡大を想定した万全の対策が必要ではないか。 (2) 感染者が集中している学校現場における、感染拡大防止対策の現状を示せ。	市 長 教育委員長
	4 市民サービスの向上について	(1) 市役所から市民に送付される文書には、かた苦しいものが多く、わかりづらいとの声をよく聞く。市民の立場に立った、わかりやすい文書の改善に努めるべきではないか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成21年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 八久保 壹	1 志布志市の活性化推進について所信を問う	(1) 市長選出馬にあたり、現市長としてのマニフェストと意気込みを問う。 (2) 志布志の繁栄は港湾活性化と企業誘致・農業振興ととらえるが、それについての考え方を問う。	市 長
	2 志布志港湾振興と南九州地域の繁栄について	(1) 中枢機能を備えた港湾施設の整備についてどのように考えているか。 (2) 貿易港としての態勢づくりについて(高規格道路の早期完成へ向けた取り組みについて)どのように考えているか。 (3) 南日本のハブ港としての備えについて取り組む考えはないか。	市 長
	3 企業誘致について	(1) ポートセールスにおける現状認識についてどうとらえたのか。 (2) 企業誘致について積極的に取り組む考えはないか。	市 長
	4 今後の農村振興と対策について	(1) 農業政策の見直しと、新たな構築へ向けたプロジェクトを立ち上げる考えはないか。 (2) 農業振興は農産物付加価値と外へ向けた販売戦略が不可欠である。その取り組みについてどのように考えているか。 (3) グリーンツーリズムの導入について積極的に取り組む考えはないか。	市 長
	5 住民サービスについて	(1) 入札制度の見直しで、地元企業への還元を図ることについて取り組む考えはないか。 (2) 「ふるさと協議会」を活用した住民サービスを導入して、自治会や集落への支援策について取り組む考えはないか。	市 長
5 下平 晴行	1 指定管理者制度の取り扱いについて	(1) やっちくふるさと村の今後の取り組みを問う。 (2) 蓬の郷の指定管理のあり方を問う。	市 長
	2 教育行政について	(1) 平成20年第1回定例会で弁当の日(子供の手作り)についての質問に、実施に向けて検討がなされるよう指導・助言をするとあるが、どのような取り組みをされたのか。	教育委員長
6 東 宏二	1 志布志港及び漁業振興について	(1) 中核国際港湾としての機能は十分か。 (2) 大型船等の航路設定はしないのか。 (3) 港湾振興策と漁業振興策を問う。	市 長
7 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 市内の経済状況をどのように認識しているか。その事を踏まえた上で来年度予算編成の考え方を問う。	市 長
	2 本庁舎について	(1) 志布志地区に移す考えはないか。	市 長
	3 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金を75歳以上全員に支給する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 坂元修一郎	1 農業振興について	(1) 本市の基幹産業は農業であり、港も商店街も背後地の農業で生かされている。2期目を迎えた本田市政の農業振興における取り組みは。 (2) 農業を取り巻く情勢から、新たな取り組みとして「農業サポーター制度」が全国で広がりを見せているが、市民と農業をつなぐ架け橋とならないか。 (3) ひっ迫した農業の現状からの脱却のため、維持する農業からもうかる農業への転換を図る必要がある。検討委員会等の設置や行政内での取り組みはされているか。 (4) 畑かん整備に伴い、新しい農業への取り組みは進められているか。	市 長
	2 伝統行事と祭りの振興について	(1) 経済の低迷や過疎化・高齢化等により伝統的な祭りごとが各地で失われつつある。本市の現状はどうなっているのか。また継承はされているか。 (2) 祭りによる経済発展や知名度の向上、地域の結束力の強化などの効果が期待されるが、本市の祭りを生かした地域振興と情報発信について問う。	市 長 教育委員長
2 小野 広嗣	1 ふるさと納税について	(1) 平成20年10月に「志布志市ふるさと志基金条例」が制定された。これまでの実績と評価について示せ。	市 長
	2 支所機能と住民サービスについて	(1) 志布志支所の利用状況や事務量を適正に把握したうえで、市民の利便性の確保に努めているのか。	市 長
	3 環境政策について	(1) 戸別収集になっている粗大ごみの収集については、市民の中には不満も多いが、現状をどのように認識しているのか。また、ごみの不法投棄の現状について示せ。	市 長
	4 救急医療情報キットの活用について	(1) 昨年6月の定例会で救急医療情報キットの活用について提案したが、その後どのような協議がなされたのか。	市 長
	5 教育行政について	(1) 小学校から中学校へ進学する際の環境変化に対応できず、生徒が不登校や問題行動を起こす「中一ギャップ」の現状について問う。	教育委員長
3 丸山 一	1 所信表明について	(1) 「国際バルク戦略港湾構想」について、市長の認識を問う。	市 長
	2 農業行政について	(1) 仮称「ブランド推進課」は何を想定しているのか。 (2) 乳酸菌を使った豚ふん尿による有機栽培作付けを畑かん営農に生かせないか。 (3) 食料供給基地として志布志市を含む大隅半島の農地を生かせないか。	市 長
	3 防災について	(1) 「住宅用火災警報器」の設置状況は。	市 長
	4 環境について	(1) LEDの進ちょく状況を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4岩根 賢二	1 所信表明について	(1) 過去4年間に掲げた施策で実行できなかったものについては今回触れられていないが、今後全く取り組む考えはないのか。 (2) 「環境のまち志布志」をアピールし、入り込み客の増加を図る意味で、「エコツアー」を企画する考えはないか。 (3) 今年度取り組むとしている事業仕分けを「必要に応じて」ではなく、必置して実施すべきではないか。 (4) 住民ニーズに迅速かつ的確に対処するために「よろず相談室」を設ける考えはないか。	市 長
5立山 静幸	1 所信表明の人と物がゆきかい豊かで生活重視のまちづくりについて	(1) 仮称ブランド推進課の設置条例案は何月の定例議会に提出し、何月から実施するのか。 (2) 和牛生産、肥育日本一の取り組みを目指す考え方を問う。 (3) 志布志の名物づくりの開発に努めるために、農水産物加工研究会を再度立ち上げる考えはないか。	市 長
6長岡 耕二	1 市長選挙について	(1) 今回の市長選挙を通じて、市民の話を聞きどう思ったか。 (2) 投票率をどう感じたか。	市 長
	2 農業振興について	(1) いろいろな日本一農業を掲げているが、どう進めていくか。 (2) 畜産経営緊急対策事業はどうなったか。	市 長
7東 宏二	1 港湾振興について	(1) 中核国際港湾の指定の機能は十分か。	市 長
	2 漁業振興について	(1) 漁業者に助成支援はできないか。	市 長
8金子 光博	1 空き家対策について	(1) 危険廃屋の解体撤去を進めるために補助制度は考えられないか。	市 長
	2 道路行政について	(1) 市道の案内標識は十分だと考えるか。 (2) 市道をおおっている雑木の状況をどのように考えているか。 (3) 県道柿ノ木志布志線(柳橋～弓場ヶ尾間)の進ちょく状況と今後の見通しについて	市 長
9平野 栄作	1 高齢化社会への対応について	(1) シルバー人材センター事業の位置付け及び効果と課題について認識を問う。	市 長
	2 体育施設の指定管理者制度について	(1) 指定管理者については、3年が経過し次年度から新たに管理者が指定されているが、これまでの期間内で管理内容等について問題点や課題といったものがあつたと思うが、これらがこの先に活かされているのかを問う。	市 長 教育委員長
10本田 孝志	1 志布志市議会議員の高額な報酬50%カットについて	(1) 日当制導入について条例改正する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11小園 義行	1 所信表明について	(1) 医療費助成の中学生まで拡充等今後の対応を問う。	市 長
	2 庁舎問題について	(1) 志布志・松山の総合支所方式を今後どのように考えているのか。	市 長
	3 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金を75歳以上すべてに支給する考えはないか。	市 長
	4 女性対策について	(1) 子宮頸がんの予防について、公費負担を国に求める考えはないか。	市 長 教育委員長
	5 公契約条例の制定について	(1) 条例の制定を考えないか。	市 長
12鶴迫 京子	1 窓口対応について	(1) 税の申告時期等市民が窓口集中することがあるが、職員の効率的配置はどうなっているか。	市 長
	2 がん予防について	(1) 20代～30代で急増する子宮頸がんの原因は発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染である。HPVに感染してから発症するまで数年から十数年かかる。発がん性HPVに感染する可能性が低い10代前半に、子宮頸がん予防ワクチンを接種することで、発症をより効果的に予防できる。 全国でも新潟県魚沼市や埼玉県志木市等、数か所の自治体が子宮頸がん予防ワクチンの接種に全額助成をすでに決めている。 本市でも全額助成することは考えられないか。	市 長
13下平 晴行	1 公契約条例の制定について	(1) 本市が契約を行う事業で公正な労働基準が守られていない現状の認識はどうか。 (2) 野田市の公契約条例への評価は国をリードするものであるが本市条例制定に向けた取り組みはできないか。	市 長
	2 行財政改革について	(1) 関西社会経済研究所が自治体生産性の全国780市のランク付けを発表した。本市のごみ収集・処理業務の他は生産性の改善を図る必要があるがどうか。 (2) 補助金の見直しについて (3) 事業仕分けの取り組みについて	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 鬼塚弘文	1 教育行政について	(1) 市立八野小学校の今後に関する陳情書が提出されているが、行政、教育委員会として今後どのような対応策を考えているか。 (2) 市立中学校の小規模校の正規教職員配置の実態はどのようなになっているか。	市 長 教育委員長
	2 道路行政について	(1) 県道3号日南志布志線の局部改良の進捗よく状況について問う。 (2) 集落道路(森山地区)の改良要望が提出されているが、どのように対応されるのか。	市 長
	3 国際バルク戦略港湾について	(1) 指定の可能性について問う。 (2) 地域経済への影響について問う。	市 長
2 西江園 明	1 運動公園の管理について	(1) 志布志港新若浜地区の背後地にある緑地の管理について県との協議の経過を問う。 (2) 運動公園にシャワー施設の整備はできないか。	市 長 教育委員長
	2 指定管理者制度について	(1) 制度導入のプロセスを問う。 (2) 公共施設管理公社等の協定の在り方について問う。 (3) 制度の今後の在り方についてどのように考えているか。	市 長 教育委員長
	3 行政姿勢について	(1) 市長選における支持者に対する論功行賞はないか。	市 長
3 小野広嗣	1 行政サービスについて	(1) 施政方針には、「人事評価制度の取り組みを推進し職員の活性化に努める」とあるが、市民に行政サービスを提供する職員の資質向上へ向けた今後の具体的な取り組みについて示せ。	市 長
	2 環境行政について	(1) 国は二酸化炭素削減の目標として「チャレンジ25」を掲げているが、本市のストップ・ザ・温暖化に対する決意と取り組みについて示せ。	市 長
	3 IT施策について	(1) ITの活用は市の業務に必須であるが、一方ではその経費削減が大きな課題である。効率的な経費削減へ向けた取り組みについて示せ。 (2) 本市のイントラネットパソコンの配備台数と教育用パソコンの配備台数及びその調達方法を示せ。 (3) マイクロソフト社のオフィス製品に係る1台当たりの月額に換算した場合の費用について示せ。 (4) イン트라ネットパソコン、教育用パソコンにオープンオフィスの導入の考えはないか。また、ファイル形式の国際標準規格への考え方について示せ。	市 長 教育委員長
	4 教育行政について	(1) 文部科学省の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を見ると、子どもの体力の低下傾向は深刻である。本市の子どもの体力向上を目指した小中学校の取り組みを示せ。	教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4長岡耕二	1 口蹄疫対策について	(1) 法定伝染病の予防対策は万全か。 (2) 予防対策・発生時の志布志市独自のマニュアル作成は考えられないか。	市 長
	2 農産物の流通について	(1) 曾於地域公設地方卸売市場に農産物の貯蔵施設を設置する考えはないか。	市 長
5立平利男	1 畑かん事業について	(1) お茶の防霜用として水が有効であるが、水不足の状況にある。今後の対策を問う。	市 長
	2 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 整備後の利活用の方策をどのように進めていくのか。 (2) 有明町開発農業協同組合の有線放送事業は行政連絡やJAの情報の提供など広く活用されてきたが、今後の在り方をどのように考えているか。	市 長
6小園義行	1 口蹄疫の対応について	(1) 本市経済への影響はどの程度か。 (2) 関係農家等への税の減免等は考えられないか。	市 長
	2 国保税について	(1) 減免に関する規則の見直しはどうか。	市 長
	3 いきいき・元気っ子・応援プランについて	(1) 現状と計画の進め方を問う。	教育委員長 市 長
	4 健康増進法について	(1) 現状認識と取り組みを問う。	教育委員長 市 長
	5 組織機構の再編について	(1) 本庁と支所の機能分担の見直しや適正な人員配置をどう考えているか。	市 長 教育委員長
7鶴迫京子	1 子ども手当と給食費について	(1) 本市の子ども手当受給見込み世帯数と支給額はいくらになるか。状況、内容を。 また、現在の申請率はどれくらいか。 (2) 子ども手当申請の準備作業での不備申請も含め、問題はなかったのか。これまでの取り組み状況と経過を。 (3) 文部科学省が「子ども手当の支給と給食費の引き落とし口座を同じにするよう保護者に協力を求めて」と呼び掛ける通知を各都道府県に出した。このことを受けて市にも通達があったと思うが、内部での協議がなされたのか、その取り扱いについて。 (4) 本市の全小中学校における給食費の未納状況と、滞納を減らすための対応策は。 また、市長の現状認識は。 (5) 給食費の滞納者に支払い要請を促し、子ども手当受給と同一口座にして給食費を払ってもらえる仕組みを本市独自で作れないか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8金子光博	1 施政方針について	(1) 各種「日本一」の本気度について問う。	市 長
9福重彰史	1 口蹄疫対策について	(1) 防疫対策の取り組みと農家支援について	市 長
	2 農業振興について	(1) 湿田解消に向けた対策を問う。	市 長
	3 ブランド推進課設置について	(1) 課設置の目的を問う。	市 長
	4 道路整備について	(1) 県道柿ノ木志布志線弓場ヶ尾地区の見通しを問う。	市 長
10下平晴行	1 財政健全化について	(1) 再建団体にならないために財政健全化に取り組んでいる先進地があるが、どうか。	市 長
	2 ふるさと納税制度の取り組みについて	(1) ふるさと納税のより一層の納税推進を図るため、市と民間が協力して取り組みをしている先進地があるが、どうか。	市 長
	3 各種使用料等の納付の取り扱いについて	(1) 各種使用料や奨学金等の滞納があるが、納付の在り方について問う。	市 長 教育委員長
	4 防犯灯の設置について	(1) 防犯灯の設置はどのような基準をもって取り組みがされているか。	市 長
	5 環境対策について	(1) 国指定の天然記念物のカワゴケソウ等がし尿や家庭雑排水等の水質汚染による環境変化に弱いため、生育が危ぐされることについて問う。	市 長 教育委員長
	6 道路の改良について	(1) 県道3号日南志布志線の改良の取り組みについて (2) 市道弓場ヶ尾・佐野原線の改良について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年9月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 坂元修一郎	1 口でい疫対策について	(1) 宮崎で発生した口でい疫は万事に多大な被害を及ぼし終息したが、本市は九州の畜産の飼料供給を担う拠点として、また畜産を主幹とする農業を持つ地域として残された課題が多い。これまでの経緯と再発抑止への取り組みについて問う。	市 長
	2 農林水産物認証制度について	(1) 食の安全・安心が求められる中で、全国的な取り組みとして農林水産物の各種認証制度の取得が広がりつつある。ブランドの差別化を図り、有利販売を行っていくには避けて通れないし、先進的産地では既に取り組みが始まっている。本市での現状とK-GAPへの取り組みについて問う。	市 長
2 本田孝志	1 航空防除について	(1) 防除の効果を問う。	市 長
	2 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 有明町開発農業協同組合と市との今後の関係をどのように考えているか。	市 長
	3 保育所の民間移管について	(1) みどり保育所、さゆり保育所の民間移管についてどのように考えているか。	市 長
	4 緊急救急医療情報キットの導入について	(1) 65歳以上のすべての方に対して支給する考えはないか。	市 長
3 西江園 明	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 事業のスタートから業務委託の契約解除までの経緯を問う。 (2) 契約解除後の進ちょく状況を問う。 (3) 志布志市に必要な事業か。	市 長
4 岩根賢二	1 消防・防災行政について	(1) 火災や風水害、地震等の災害時に消防団の果たす役割は大きい。本市の消防団員確保策を示せ。 (2) その一環として、消防団協力事業所表示制度の活用を図るべきではないか。 (3) 消防団員の中には会社員や自営業者等も多く、緊急の出動が必要なときに出動しにくくなっている現状がある。そのようなときに対応できる体制をとるために、本庁並びに各支所に特設消防団を設置する考えはないか。 (4) 山重小学校にある少年消防クラブの活動を市内全域で実施する考えはないか。	市 長 教育委員長
	2 観光行政について	(1) 豊かな地域社会づくりにつながる総合的な産業である「観光」行政を今後どのように展開していく考えか。 (2) 今定例会で志布志城史跡公園の用地買収が提案されているが、歴史の街づくり事業の進ちょく状況と今後の見通しを示せ。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5小野 広嗣	1 国際交流の推進について	(1) 中核国際港湾志布志港を持つ本市は、国際性豊かな都市を構築するために活発な交流が望める都市や地域を探し出し、積極的に国際交流を推進すべきではないか。	市長
	2 イベント事業の見直しについて	(1) 市が行うすべての祭りやイベント事業について、所管課を越えて事業内容の検討や統合・廃止などの見直しを全庁的に行うべきではないか。	市長
	3 医療費の抑制策について	(1) 国民健康保険をはじめ、医療保険の財政の健全化や自己負担額の軽減が期待されているジェネリック医薬品の利用促進を更に図るべきではないか。	市長
	4 メンタルヘルス対策について	(1) 国民病となりつつあるうつ病をはじめとするメンタルヘルス対策について、市としてはどのように認識し今後取り組んでいくのか。 (2) 小中学校の教育現場ではメンタルヘルス教育にどのように取り組んでいるのか。	市長 教育委員長
6立山 静幸	1 防災教育について	(1) 鹿児島県は、小学校高学年向けの砂防読本を作成し、県内の全小学校に配布している。この砂防読本を市内各小学校でどのように活用する考えか。 また、県は職員の出前講座を計画しているが、出前講座の計画があるのか。 (2) この砂防読本の内容から、県の実情を得て、各自治会の自主防災組織に印刷配布する考えはないか。	市長 教育委員長
	2 志布志茶の消費拡大対策について	(1) 給食センターでの消費拡大はできないか。 (2) 小中学校の保健室でのお茶の活用はできないか。 (3) 中学校の調理実習の中でお茶を使った料理は取り入れられないか。 (4) 社会福祉協議会に委託している食の自立支援事業の弁当への利用は考えられないか。	市長 教育委員長
7玉垣 大二郎	1 交通安全対策及び道路行政について	(1) 高齢者用ハンドル形電動車いすの安全対策について問う。 (2) 市道安楽線の改良について問う。 (3) 都城志布志道路の志布志IC～志布志港の進捗状況について問う。 (4) 県道尾野見・伊崎田線の改良について問う。	市長
	2 小中学校の教育環境について	(1) 学校トイレの洋式化について問う。 (2) 扇風機の導入について問う。	教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8平野栄作	1 環境行政について	(1) 本市は全国的にも高い資源化率を達成してきているところである。また、昨年度レジ袋有料化も実施されたところであるが、その後進展が見られない現状にあると思う。市としては現状をどのように認識し、改善を図っていくのかを問う。	市 長
	2 地下水における硝酸性窒素濃度増加と畜産廃棄物の適正処理について	(1) 近年、地下水に含まれる硝酸性窒素が問題視されてきているが、それに関連すると思われる畜産廃棄物の処理についての現状及び環境面を推進している本市としての今後の方向性について問う。	市 長
9金子光博	1 公有財産の管理について	(1) 法定外公共物（赤線・青線）の管理状況について問う。	市 長
10小園義行	1 機構改革について	(1) 住民サービスの低下を招かない立場での議論が必要と考える。職員の意見のくみ上げは十分にされているか。	市 長
	2 国保について	(1) 21年度決算の状況はどうか。 (2) 次年度に向けた運営の考え方を問う。	市 長
	3 高齢者福祉について	(1) 3月議会での敬老祝金に対する答弁について、その後の対応を問う。	市 長
	4 学校教育について	(1) 小規模校教育の振興について具体的な取り組みを問う。	教育委員長
11下平晴行	1 地盤沈下対策について	(1) 土砂等の流出により地盤沈下が発生して擁壁崩壊や庭木の倒木など、鳥井下自治会の住民は自己負担を強いられて大変な状況である。行政は市民の生命・財産を守る義務があるが、早急に対策は考えられないか。	市 長
	2 名寄帳の取り扱いについて	(1) 共有者分の名寄帳の申請の在り方を問う。	市 長
	3 普通財産の取り扱いについて	(1) 普通財産の払い下げに伴う不動産運用検討委員会等の在り方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 西江園 明	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) この事業の入札は適正か。 (2) 事業の進ちよく状況を問う。 (3) 施設運営事業者との協定について問う。 (4) 実施設計業務委託契約解除に係る訴訟の経過について問う。 (5) 難視聴地区の対策は。 (6) 有明町開発農協との協議の進ちよく状況を問う。	市 長
	2 行政組織の在り方について	(1) 組織の再編をどのように考えるか。 (2) 係の在り方について問う。	市 長 教育委員長
2 立山 静 幸	1 平成23年3月九州新幹線全線開通に伴う観光振興について	(1) 県が平成22年3月策定した大隅地域将来ビジョンの中で、観光振興を目的とした志布志市内の事業計画はどのようなものがあるか。 (2) 九州新幹線全線開通に伴う今後の観光振興として、志布志市単独事業として平成22年度・23年度においてどのような事業を想定しているか。	市 長 教育委員長
	2 肉用牛生産と肥育経営について	(1) 先進的な肥育農家が求める子牛づくりと肥育農家の飼養技術向上について、研修会の開催は考えられないか。	市 長
3 小野 広 嗣	1 高齢者対策について	(1) 移動手段がない高齢者を中心とする「買い物弱者」が増えている。生活支援が必要な方々の現状をどう把握し、対応しようとしているのか。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 本市の児童虐待の現状把握の状況と防止対策について問う。 (2) こんにちは赤ちゃん事業の推進状況について問う。	市 長
	3 広報広聴の取り組みについて	(1) 本市における広報広聴の本来の目的とあるべき姿について示せ。 (2) 今後の市報しぶしの在り方をはじめ、ホームページを活用して市をPRする戦略的な取り組みなど、広報広聴ツールの改善並びに拡充への取り組みについて問う。	市 長
	4 図書館行政について	(1) インターネットを使って電子図書を貸し出す「Web図書館」の導入について検討する考えはないか。	教育委員長
4 長岡 耕 二	1 組織機構見直し計画について	(1) 各支所の現状と市民の意見をどのようにとらえているか。 (2) 総合支所方式から本庁方式へ移行しなければならない理由。 (3) 各支所の住民サービスをどのように考えているか。	市 長
	2 畜産生産基盤施設整備事業について	(1) 事業内容の見直しは考えられないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5毛野 了	1 産業振興について	(1) 市有遊休地の活用及び企業誘致の取り組みの現状と、その見通しを伺う。	市 長
	2 県道と市道の整備要請と計画について	(1) 県道塗木大隅線の整備要請の考えはないか。 (2) 市道町原弓場ヶ尾線の進ちょく状況と今後の取り組みについて問う。	市 長
	3 体育振興について	(1) 志布志運動公園武道館の観覧席の整備計画について問う。	教育委員長
6平野 栄作	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 進ちょく (加入等) 状況について。 (2) 行政サービス向上にこの事業をどのように活用していくのか。	市 長
	2 高齢者福祉行政について	(1) 3月定例会で、シルバー人材センター事業についての質問を行ったところであるが、その後の経過について問う。	市 長
	3 環境行政について	(1) ポイ捨て防止条例施行後も、相変わらず不法投棄やポイ捨ては減少していない状況にある。現状の認識と、今後の対策をどのようにすすめていく考えか。	市 長
7丸山 一	1 海岸清掃について	(1) 海岸漂着物処理推進法に基づく対応について問う。	市 長
	2 保安林 (松林) について	(1) 市有林の維持管理について問う。	市 長
	3 普現堂池の管理・運営について	(1) 現在の指定管理から切り離れた管理・運営は考えられないか。	市 長
	4 道路整備について	(1) 海岸 (一丁田付近) での緊急時避難用の道路新設を排水対策と併せて急ぐべきではないか。 (2) 県営ラフォーレ松原団地周辺の道路整備を急ぐべきではないか。	市 長
8金子 光博	1 農業後継者対策について	(1) 本市の基幹産業である農業を持続的に発展させるために、農業後継者として就農する際の支援が必要ではないか。	市 長
	2 道路行政について	(1) 県道塗木大隅線内 (やっちくふれあいセンター入口から市ノ原バス停付近区間) の歩道改良の必要があるのではないか。	市 長 教育委員長
9小園 義行	1 組織機構再編計画について	(1) 組織機構見直し計画について、どういった議論を今回の提案になったのか。 (2) 旧町ごとの人口動態や住民要求に対する事務量の把握をしっかりとつかんでの提案か。	市 長 教育委員長
	2 環境対策について	(1) 粗大ごみの出し方について、現在の方法とあわせて年に2回ぐらい集荷場所を決めて出せるようにできないか。	市 長
	3 経済対策について	(1) 住宅リフォーム助成制度の創設で地域経済の活性化を図る考えはないか。	市 長
	4 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金の75歳以上全員支給に対する検討はどうされたのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成22年12月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9小園義行	5 環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP) について	(1) 本市経済への影響は国が示している試算でどの程度になると認識しているか。	市長
10鶴迫京子	1 少子・高齢化社会について	(1) 本市の出会いサポート事業の経過と現状を。 (2) 県の世話やきキューピッド事業との連携を図り合同での実施は考えられないか。 (3) 多発する高齢者の交通事故防止のため、運転免許証の自主返納を促進するよう警察と協力して自主返納者に対して支援制度を始める考えはないか。 (4) 入浴時の突然死を防ぐため、12月から2月を防止策キャンペーン期間として、市民に市報やチラシ等で周知し防災無線や車を使って注意を促すことはできないか。	市長
	2 観光行政について	(1) 観光活性化のまちづくりについて、最重要と考えている構想は、 それに対する市長の本気度は、	市長
11下平晴行	1 事務事業の執行の在り方について	(1) 組織機構見直し計画について ①グループ制の計画があったが、導入しない理由は何か。 ②縦割り行政による弊害の解消とあるが、どこが解消されるのか。 ③住民サービスを安定的に供給するための適正な人員配置に努めるとあるが、これまでの人員配置との違いは。 (2) 市民の要請、要望の対応について問う。	市長
	2 雇用促進対策について	(1) 市の厳しい経済及び雇用情勢の中、市の活性化（市民の雇用の拡大）を図るために、多業種を対象に新規雇用など、雇用促進を図る考えはないか。	市長
	3 観光施設の管理について	(1) ディーゼルカーの改装を行ったが、本体の基礎部分が改修されていないためにひび割れが生じている。早急に改修する必要があるがどうか。 (2) ディーゼルカー及び機関車の維持管理について、今後の取り組みをどのように考えているか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 坂元修一郎	1 農業振興について	(1) 降り懸かる自然災害と政府の農業への対応等、本市農業への先行き不透明感が増している。火山活動の活発化や家畜伝染病、TPP問題など今後の進むべき方向性について問う。 ①家畜伝染病とサーモグラフィーを利用した管理について ②火山活動と降灰対策事業について ③TPP問題とブランドづくりについて	市 長
	2 茶業振興について	(1) 本市の茶業は県内2番目の産地として大きく注目されているが、採算の合わなくなった茶園も多く存在する。改植事業と生き残る産地を形成するために有力品種へどう転換していくか。 ①防霜ファン銅線盗難対策について ②本市の茶園の状況について ③改植の必要性と関係事業について	市 長
2 岩根賢二	1 高齢者の福祉向上対策について	(1) 最近、ハンドル型電動車いすの利用者が増えてきている。ハンドル型電動車いすは購入・維持費が高額であり、利用者にとってはかなり高負担である。これらの費用に対して補助をして、高齢者の外出の機会を増やす一助にする考えはないか。 また、走行中の安全を確保するために、歩道の整備や改良に取り組む考えはないか。 (2) ひとり金婚式については、調査をして希望者が多ければ実施するとのことであったが、調査の結果、どのような方向付けになったか。	市 長
	2 精神保健対策について	(1) 県内でも曾於地区は自殺率が高い。市として取るべき対策をどのように考えているか。 また、うつ病など心の病で休職する公務員が増えているとの報道があるが、本市の状況はどうか。また、それに対する方策をどのように考えているか。	市 長
	3 伝統・文化の保存、継承対策について	(1) 市内各地には、伝統的な郷土芸能等が数多くあるが、これらの担い手が高齢化して、保存、継承が危ぶまれているところもある。市として、これらの保存、継承に積極的に取り組む考えはないか。	市 長 教育委員長
3 小野広嗣	1 無駄ゼロの行政運営について	(1) コスト削減や業務の効率化、サービスの向上は、各課日常的に実施されるべきものであり、現場発の取り組みが重要である。全庁的な無駄削減の具体的な取り組みについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野 広嗣	2 危機管理について	(1) 危機管理事態が多様化・複雑化し、市民の生命・身体・財産に及ぼす危機管理の枠組みは広範囲になってきている。市民の暮らしを守るため、総合的な危機管理施策の充実を図る必要があるのではないかと。 (2) 災害時には行政指導の防災体制だけでは被害を最小限に抑えることは困難である。自助、共助、公助が互いに連携し、補完し合うことが大切である。自助、共助、公助の精神の確立に向けた取り組みが必要ではないかと。	市長
	3 空き家・廃屋対策について	(1) 管理されていない空き家や廃屋の増加は、地域環境の悪化を招くため、空き家問題は喫緊の課題である。本市では、今後どのような対策を考えていくのか。	市長
	4 教育行政について	(1) 景気の低迷が家計の教育費にも大きな影響を及ぼしている。就学援助事業をはじめとした低所得者世帯の子供に対する学習支援の推進を更に図るべきではないかと。	教育委員長 市長
4立 平利 男	1 施政方針について	(1) 新幹線開業に伴い県との連携を図るとあるが、具体的な方策について問う。 (2) 商工業の活性化対策について問う。 (3) 大隅地域における新たな農業の展開についての県における新しい取り組みの検討状況と、市としての対応について問う。 また、新規品目の調査研究に努めるとあるが、どのように進めるのか。 (4) 生ごみの更なる「飼料化」を含めた高度化利活用を図るための研究を重ねるとあるが、具体的な方策について問う。 (5) 「市制5周年記念事業」の功労者表彰で保護司の表彰は検討できないかと。	市長
5西江園 明	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 難視聴世帯のその後の対策を問う。 (2) 加入状況について問う。(告知端末、インターネット接続、ケーブルテレビ種類ごとに) (3) 行政(市役所)がBTVに委託する経費はどのくらいかと。 (4) 事業導入前に行政評価(費用対効果)は行ったのか。また、行政(市役所)がBTVへ委託する事業についても行政評価(費用対効果)は行ったのか。 (5) 担当課の人事、組織の在り方について問う。(BTVの営業に対する苦情処理について) (6) 裁判の経緯と経費について問う。 (7) 開発農協との協議はどうなったかと。 (8) 業務委託の入札執行の経緯を問う。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 西江園 明	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(9) 告知放送端末器の個人負担88,000円は、いつの申し込みから適用するのか。	市 長
6 平野 栄作	1 環境政策について	(1) 環境問題がクローズアップされはじめてから相当の年月が経過した。その中、当市においては先駆的な取り組みを実施し、市単位では全国一の資源化率を達成しているところであるが、近年新たな展開といったものが感じられない。日本一を提唱する市長は、今後どのような具体的政策をどれぐらいの期間で展開していく考えなのか。	市 長
	2 学校施設の環境整備について	(1) 少子化が進行し児童生徒数が減少傾向にある中、保護者数についても同様に減少している。 従来学校施設の環境整備面は、学校長が中心となり、日常的な維持管理を行い、年数回大規模な維持管理をPTAが協力し愛校作業として実施している。 近年保護者数も減少傾向にある中、学校関係の各種行事への参加依頼も増えており、出会数が大幅に増加しているといった話を聞く。 このような状況をどのように認識しているか。	教育委員長
7 鬼塚 弘文	1 施政方針について	(1) 国際バルク戦略港湾の取り組みの見通しについて問う。	市 長
		(2) 県道改良について ①県道今別府串間線の早期完成について問う。 ②県道3号線の局部改良や離合設置の早期整備について問う。	
		(3) 港湾施設であるしおかぜ公園の今後の利活用について問う。	市 長
		(4) 産業振興について ①畑かんを使ってもうかる農業の取り組みについてどのように考えているか。 ②観光振興の具体策について問う。	
8 立山 静幸	1 商店街活性化対策について	(1) 背白ちりめん三味井の普及を全市民一体となって取り組む考えはないか。 (2) B級グルメの祭典に向けた取り組みを官民一体ですべきであると思うが。	市 長
	2 花いっぱい運動推進事業について	(1) 山重校区平野自治会公民館東側、国道269号沿いの植栽の一区画を花だんとして整備するよう県に要望できないか。	市 長 教育委員長
	3 防犯街灯の設置について	(1) 山重小学校東側市道に防犯灯3基を設置できないか。	市 長
	4 読書活動の推進について	(1) 移動図書館サービスの充実を図る考えはないか。	教育委員長 市 長
9 金子 光博	1 観光行政について	(1) 九州新幹線全線開業に伴って、本市に多くの観光客を取り込むための戦略は。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年3月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10福重彰史	1 施政方針について	(1) 農業対策について ①家畜・家さんの防疫対策は万全か。 ②水田農業の取り組みと基盤整備後の排水対策の取り組みを問う。	市 長
		(2) 健康づくり日本一のまちについて ①疾病予防・医療費適正化の観点から、集団健診等の検査方法の更なる充実策を問う。	市 長
		(3) 観光振興について ①歴史を活用した「まちあるき」、地域資源を活用した食の「たべあるき」を問う。 ②レンタカー無料化をどう生かすか。	市 長 教育委員長
		(4) 経済対策について ①住宅リフォーム助成の考えは怎么样了か。 ②定住促進を兼ねた住宅建設等の助成の考えはないか。	市 長
11小園義行	1 施政方針について	(1) 組織機構見直し計画について問う。 (2) 職員の意識改革と能力開発を図り、成果を重視した透明性のある行政運営の改善に努めるとあるが、考え方を問う。 (3) 市民の所得向上対策を述べているが、12月議会で答弁された住宅リフォーム助成制度について、どう検討されたのか。	市 長
	2 政治姿勢について	(1) 串間市で原発設置について住民の意思を問う住民投票が予定されている。市長の原発に対する認識を問う。	市 長
	3 学校教育について	(1) 学校規模適正化の基本方針について、今後の具体的な取り組みについて問う。	教育委員長
12下平晴行	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 事故繰り越しの流れについて問う。 (2) 事業の進捗率と事業完了はいつか。 (3) 事業開始を集落説明会では4月を目標と説明しているが、市民への対応は。 (4) 市街地等はデジタルテレビ、ケーブルテレビの両方視聴できるが、四浦地区等のようにケーブルテレビのみ視聴する地域は恒久的に視聴料が発生するがどうか。 (5) 行政告知放送負担金が転入者に発生することについて問う。	市 長
	2 九州新幹線全線開業について (施政方針)	(1) 県は、九州新幹線全線開業効果を大隅地域へ配慮したユニークな取り組みで「大隅地域レンタカー無料プラン事業」に6,600万円予算計上しているが、生かす考えはないか。	市 長
	3 小・中学校の在り方について (施政方針)	(1) 学校規模適正化の基本方針の策定についてはよく理解できる。しかし、学校が地域に及ぼす影響は多大なものがあるがどうか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年3月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
12下平晴行	4 行財政改革について (施政方針)	(1) 事務事業の市民参加型の検証について問う。 (2) 組織機構の再編で新たに「第2次定員適正化計画」に基づき、更なる再編の取り組みについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広嗣	1 防災対策について	(1) 補正予算で防災専門の嘱託職員を配置し、防災計画等の見直しが計画されているが、今後は更に危機管理対策室を設置し、総合的な危機管理体制の整備を図るべきではないか。 (2) 本市は被災者支援システムの利用許可証を受けているが、システムの構築及び運用へ向けた取り組み状況について示せ。 (3) 災害発生時、学校施設は地域住民のための応急的な避難所ともなる役割を担っている。小・中学校の防災機能向上へ向けた取り組みについて示せ。	市 長 教育委員長
	2 節電対策と熱中症対策について	(1) 今夏は節電が求められる一方で猛暑の予測が出ているが、市民の節電対策、熱中症対策にはどのように取り組むのか。併せて小・中学校現場の対策も示せ。	市 長 教育委員長
	3 セクハラ・パワハラ対策について	(1) 市役所では職員・嘱託職員・臨時職員へのセクシャルハラスメント、パワーハラスメントの防止対策及び排除はしっかり行われているのか。	市 長
	4 子育て支援について	(1) 子育て支援関連情報を一元化するネットワークを形成し、子育て支援サービスを利用しやすくする仕組みを構築するべきではないか。	市 長
2 平野 栄作	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 本事業の推進に当たって、市民に対する説明が不十分な面が多いと感じる。内部での検討の在り方及びそれらの情報発信の在り方についてどのように考えているか。 (2) 行政告知放送の運営体制並びに告知内容はどのようなものと考えているか。 (3) 基盤整備完了後どのような活用を図っていくのか。	市 長
	2 市職員の安全運転管理体制について	(1) 安全運転管理事業所としての取り組み状況は。 (2) 物損事故等の場合、被害者側の補償を最優先すべきと考えるが、市長の認識を問う。	市 長
3 藤後 昇一	1 防災対策について	3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0、最大震度7という未曾有の巨大地震と津波が東北・関東地方を襲い、5月29日現在で、被害は12都道県に及び、死者15,269人、行方不明者8,526人、計23,795人にも達する甚大なる規模の大災害となった。福島第1原発の原子力災害も加わり、今なお18都道県の2,400もの避難所で、約10万人の人々が過酷な避難生活を強いられている。 (1) この想定外の大自然の惨状を受けて、当然のことながら国、都道府県、市町村の全てが防災対策の抜本的な見直しを迫られている。本市にとってもこのことは喫緊の最重要課題であり早急に取り組むべきと考えるが、市長の考え方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3藤 後 昇 一	1 防災対策について	(2) またその前提として、本市の置かれた地理的・気象的環境をどのように認識し、それに対する防災対策の現状をどのように自己評価しているのか。 (3) 今後の防災対策の抜本的かつ実効ある構築には、それ等を検証することが不可欠であると考え。そのことを踏まえて、新たな防災対策をどのように進めていくのか、その方向性もしくは見通しを示せ。	市 長
	2 防災教育について	今回の東日本大震災では、学校現場での防災教育の取り組みの有り様が、そのまま児童・生徒の尊い犠牲や被害状況の結果に反映されているように考える。また、被災後の避難所での中学生や小学生のボランティア活動は、「レスキュー隊」と呼ばれるほどに活躍し、成果を上げている。まさに日頃の防災教育や避難訓練の賜物である。 (1) そこで、本市の防災教育や避難訓練の現状と評価を問う。 (2) また、そのことを踏まえての今後の防災教育と避難訓練の在り方や方向性を問う。	教育委員長
	3 災害弱者対策について	(1) 台風の巨大化やゲリラ豪雨の多発化が非常に危惧されている現状で、要援護者を含む災害弱者対策はますます急務となっている。本市の現状とその対策の在り方を問う。	市 長
4本 田 孝 志	1 防災行政について	(1) 現在、志布志町、有明町、松山町の各方面隊に消防無線機は何台ずつ配備されているのか。また、現在使用しているか。 (2) 消防無線機の運用について充実を図る考えはないか。	市 長
	2 防災会議について	(1) 防災会議のメンバーは誰か (2) 防災会議の役割と各機関・団体の連携はどのようになっているのか。	市 長
5金 子 光 博	1 農政について	施設園芸の燃料高騰対策について (1) A重油価格の推移と農家経営への影響はどうか。 (2) ヒートポンプの導入が有効と考えられるが、市としてどう認識しているか具体策を示せ。	市 長
6岩 根 賢 二	1 防災行政について	(1) 東日本大震災を踏まえ防災計画の見直しが予定されているが、特に次の各項目についての考え方を問う。 ①津波発生時の避難場所、避難方法、避難経路の確保等 ②自主防災組織の在り方 ③避難訓練の在り方 ④災害時の通信の在り方 ⑤諸業界（業種）や他自治体との災害協定の在り方	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7長岡耕二	1 地域振興策について	(1) サッカーフェスティバルを志布志市の行事として取り組み、地域経済やスポーツ振興の活性化を図る考えはないか。	市 長 教育委員長
	2 畑かん事業について	(1) 畑かん事業の給水栓設置事業で手直し工事が必要な所が多く発生しており、農家負担が大きい。市からの助成は考えられないか。	市 長
8丸山 一	1 防災行政について	(1) 東日本大震災の教訓を生かして ①市内自主防災組織の確立について問う。 ②防災マップの見直しと津波ハザードマップの周知徹底について問う。 ③緊急時の連絡は大丈夫か。道路整備について問う。 ④津波避難訓練の実施状況は。 ⑤市内に津波想定高を提示する考えはないか。 ⑥避難場所を確立して市民に提示すべきではないか。 ⑦河川堤防のかさ上げを県に進言すべきではないか。 ⑧湾岸道路建設の進捗状況を示せ。 ⑨通山小学校などを高台に移転したらどうか。	市 長 教育委員長
9西江園 明	1 人事異動について	(1) 人事異動に対して基本的な考え方を問う。 (2) 嘱託職員（公民館主事を含む）に対しての考え方を問う。	市 長 教育委員長
	2 ブランド推進について	(1) 市長の思うブランド推進とは何か。 (2) 企業との連携をどのように考えているのか。 (3) 環境日本一と、志布志港にある公衆トイレの現状をどう考えるか。	市 長
	3 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 難視聴地区へはNHKから補助があるとのことだが補助のない地区がある。同じ見解か。 (2) 行政告知端末器、ケーブルテレビの加入状況と工事の進捗状況を問う。 ①申込み遅れ世帯への対策はどうなっているのか。 ②道路占用等、設計業者と施工業者と役所の連携は取られているのか。 (3) 工事の出来高を問う。 (4) 裁判の進捗状況を問う。 (5) 裁判費用について問う。	市 長
10東 宏 二	1 穀物バルク港の選定を受けて	(1) 今後の道路アクセスの取り組みについてどのように考えているか。 ①都城志布志道路 ②東九州自動車道 ③国道220号（バイパス） (2) 航路指定について問う。	市 長
	2 グラウンドゴルフ場について	(1) ふれあい広場をグラウンドゴルフ専用場として位置付けできないか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年6月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11鶴迫京子	1 社会福祉について	(1) 島根県の海士町と広告会社が共同で新しい母子手帳を作成し好評とのことである。先例にならない本市独自の新しい母子手帳を作成する考えはないか。	市 長
	2 教育環境について	(1) 地球温暖化の影響で毎年猛暑が予想される。運動会を初夏に実施するところが増えている。そこで、本市も来年度から、特に小学校など実施できないか。	市 長 教育委員長
	3 男女共同参画について	(1) 第2次男女共同参画基本計画の⑩の重点事項のうち、⑤新たな分野への取り組みとして、防災（災害復興を含む）における男女共同参画を推進とある。この視点に立って関連施策を立案し実施していく必要がある。平成23年度志布志市男女共同参画事業計画の中に予定されているのか。また、東日本大震災を受け、防災計画も見直されると思うが、そこにどのように反映させるのか。	市 長
	4 公共用地の先行取得について	(1) 公共用地の先行取得についての市長の見解と、本市で取得する計画があるか。 (2) 紀州造林跡地を先行取得して公共用施設建設のため、また無秩序な開発防止のため将来を展望したまちづくり推進を図るべきと考えるがどうか。	市 長
12小園義行	1 政治姿勢と防災について	(1) 3月議会での串間市の原発に対する住民投票に関する答弁について、その後の福島原発の状況を受けてどう考えているか。 (2) 防災計画の見直しの考えはどうか。 (3) 学校教育の中で、原発に対する学習の在り方はどうか。	市 長 教育委員長
	2 国保について	(1) 22年度の決算の状況はどうか。 (2) 国保の広域化に向けての考え方はどうか。 (3) 医療費のお知らせで誤った請求があった場合の対応はどうか。	市 長
	3 児童福祉について	(1) 新システムへの移行が議論されているが考え方を問う。 (2) 延長保育等に対する考え方を問う。	市 長 教育委員長
	4 学校教育について	(1) 給食費の徴収方法については特別に問題はないか。	教育委員長
	5 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 施設の維持管理の在り方について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年6月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13下平晴行	1 災害対策について	(1) 今回の東日本大震災から学ぶべき教訓として、今一番考えていることは何か。 (2) 今回の未曾有の災害を踏まえ、住民の円滑な避難など安全確保についての対応をどのように考えているか。 (3) 今回の東日本大震災で庁舎ごと流され自治体の機能ができない現実があるが、本庁舎を新たに消防署建設予定地周辺に設置する考えはないか。 (4) 市営住宅の設置はどのように考えているか。	市 長
	2 原子力発電所の在り方について	(1) 原子力発電所の安全神話が根底から崩れた現状についてどのように考えているか。また、今後の電力需給についてどのような取り組みを考えているか。 (2) 想定外は何事にも付いてまわる。今回の原発事故を想定外として受け止めているか。	市 長
	3 福祉対策について	(1) 八代市で高齢者や障害者を支えるためシルバー人材センターを活用して「ワンコインながいきサポート事業」を実施して好評を得ているが、導入する考えはないか。	市 長
	4 教育行政について	(1) 旧八野小学校跡地等の利活用及び備品・付属設備等の活用はどのように考えているか。	市 長 教育委員長
	5 安心・安全のまちづくりについて	(1) 市街地周辺の繁華街の深夜において、駐車や花鉢等に対してのいたずらが後を絶たない現状である。来客や周辺住民が大変な迷惑をしているため防犯カメラの設置はできないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2坂元修一郎	1 地域産業振興について	(1) 東北での原発事故は安心・安全をもとに行ってきた日本の生産基盤を大きく崩そうとしている。農業を主幹とする本市が取り組むべき施策と方向性について問う。	市長 教育委員長 市長 市長
		①原発事故に伴う放射能汚染と流通による汚染が全国に広がり、風評被害による国内消費や海外輸出に大きな影響が出ているが、本市への影響と農業生産の取り組み、また学校給食の食材の安全性について問う。	
		②被災した東日本を補うべき責務が西日本にはあり、港開発や道路の整備に伴い、本市の担う役目はますます大きくなる。これからの日本の食糧基地として地域産業の連携と活性化をどう進めていくか。	
		③これまでの国策において雇用の場や若者の流出など地方が失ってきたものは多いが、本市には過疎化を打開すべき恵まれた環境が整いつつある。地域の有利性を生かした雇用の創出と定住促進のための方策はあるか。	
3西江園 明	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 裁判になった経緯をいつ、広報誌に掲載するのか。 (2) 端末機を企業などに設置はしないのか。 (3) 弁護士費用について ①報償費について ②議会への説明はいつしたのか。 (4) 現弁護士と契約に至った経緯を問う。 (5) 3月までの申請漏れの人に対するの申請書様式について	市長
4小野広嗣	1 議案上程の姿勢について	(1) 本田市政5年8か月の間に、上程した議案の撤回をはじめ、反対多数や全会一致による議案の否決などが多々あった。今回も保育園の民間移管に関する議案など、疑義を呈せざるを得ない提案がなされている。そこで議会への議案上程に関する市長の姿勢について問う。	市長
	2 公的不動産の有効活用について	(1) 今後の地方自治体は、財政の健全化に向け、公的不動産を経営的な観点から捉え、賃貸運用や売却などを含めた有効活用や最適化を図っていく必要がある。本市でも地方公共団体における公的不動産の適切なマネジメント(PRE戦略)を導入すべきではないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4小野広嗣	3 高齢者福祉について	<p>(1) 本市では、一人暮らし高齢者の実態や、認知症患者の実態についてどのような認識を持ち、施策を講じているのか。</p> <p>(2) 今後、認知症高齢者の増加に伴い、はいかい高齢者も増加することが予測される。はいかいによる事故を未然に防止するための対策について問う。</p> <p>(3) 厳しい雇用情勢の中、高齢者の就労はますます困難になってきている。市として新たな高齢者の雇用を創出する取り組みを検討すべきではないか。</p>	市 長
	4 防災対策について	<p>(1) 東日本大震災を受けて、文部科学省は全国の学校施設を地域の防災拠点として整備していく方針を打ち出した。本市の学校施設の防災機能強化に向けた今後の取り組みについて問う。</p>	教育委員長
5立山静幸	1 畜産振興について	<p>(1) 全国和牛能力共進会が、平成24年10月長崎県で開催される。</p> <p>市では平成22年度から和牛五輪に向けた取り組みを実施しているが、現在までの取り組みと、今後の取り組みはどうなっているか。</p> <p>①第7区の種牛群「鉄平号」の産子候補と肉牛群の産子候補の選考状況はどうなっているか。</p> <p>②平成22年度予算に計上され実施済みである全共出品強化対策事業における「鉄平号」の人工授精支援の実績を問う。</p> <p>③平成23年度予算に計上している全共出品強化対策事業の「鉄平号」及び県有牛「金幸福号」の全共出品候補牛について、畜産農家の購入意欲を問う。</p>	市 長
	2 農業振興について	<p>(1) かんしょ新品種への早急な普及拡大を図るため、でんぷん用「こなみずき」と焼酎用「サツママサリ」の種芋の確保はどうなっているか。</p>	市 長
6岩根賢二	1 墓地の管理運営について	<p>(1) 市営墓地の管理運営はどのように行われているか。</p> <p>民間の共同墓地では、合併後、特に水道料金が高負担になっているが、料金体系を見直す考えはないか。</p>	市 長
	2 道路行政について	<p>(1) 市道604号(吉村・牧ノ内1号線)と市道654号(野吉東・吉村線)及び県道(志布志有明線)が交わる所(慰霊塔下付近)は変則的な交差点になっており、歩行者、車両とも通行しにくい状態である。これを改良する考えはないか。</p> <p>(2) 市道8号(昭和・弓場ヶ尾線)の上昭和地区は、歩道改良が中断しているようだが、今後の見通しはどうか。</p> <p>(3) 市道18号(大黒・吹上線)の文化会館付近の道路改良をして、駐車場を一体化する考えはないか。</p>	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年9月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7小園義行	1 職員適正化計画について	(1) 目的に財政上の問題が述べられているが、その事に対する考え方と、自治体の在り方の思いを問う。 (2) 嘱託職員の待遇改善はどう検討されたのか。 (3) 嘱託職員の障害者雇用は検討されているのか。	市 長 教育委員長
	2 児童福祉について	(1) 保育所の民間移管について問う。 (2) 新システムの導入が計画されている。公的責任を含め考え方を問う。	市 長 教育委員長
	3 国保税について	(1) 納税の猶予や減免について問う。	市 長
	4 健康増進法について	(1) それぞれの施設についての対応はどうか。 (2) 市民や職員への啓発についてどう対応されているか。	市 長 教育委員長
8福重彰史	1 道路行政について	(1) 都城志布志道路及び東九州自動車道の進捗状況と今後の見通しを示せ。 (2) 県道柿ノ木・志布志線、弓場ヶ尾地区の整備計画の見通しを示せ。	市 長
	2 防災と節電について	(1) 避難所(施設)の安全確保は大丈夫か。 (2) 公的施設の節電対策を示せ。	市 長
	3 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 行政告知放送の内容について、どのように考えているか。また時報についての考え方を問う。 (2) BTVの全ての加入契約者に対して設置がなされているか。	市 長
9下平晴行	1 地下水保全条例の制定について	(1) 市民生活にとってかけがえのない資源である地下水を将来にわたって享受できるよう、水質・水量の両面から地下水の保全を図ることにより、飲料水その他市民生活に必要な水を確保するために地下水保全条例の制定はできないか。	市 長
	2 開発公社が販売した分譲地の陥没対策について	(1) 分譲地が陥没したために、住宅が傾いたり、外壁等にひびが入ったりして住民に大変な不安と迷惑を掛けている。現在ボーリングをして調査中であるが今後どのような対策をしていくのか。 (2) 他の分譲地ではこのような事案はないか。	市 長
	3 支所の業務の在り方について	(1) 市民の要求を早急に解決するため、建設課と産業振興室を産業振興課に統合すべきであるがどうか。	市 長
	4 携帯電話の難聴地区について	(1) 四浦校区の携帯電話の難聴地区について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1立平利男	1 国民健康保険税について	(1) 国民健康保険税の課税が3方式から4方式になった経緯と背景、及び今後の考え方を問う。	市 長
	2 農政について	(1) 農地・水・環境保全向上対策支援事業が本年度で終了するが、今後の見通しと市としての取り組みを問う。 (2) 葉たばこ廃作農家への支援体制への取り組みを問う。	市 長
	3 福祉行政について	(1) 野神地区社会福祉協議会で、ふれあいのつどいと一緒にとり金婚式を行ったが、どのように感じているか。	市 長
	4 教育行政について	(1) 宇都中学校体育館に舞台が設置されていないが、学校設置者としてどのように考えるか。	市 長
2平野栄作	1 防災行政について	(1) 3月11日発生した、東日本大震災を教訓とした防災対策の見直し等が急がれているが、地域内における自主防災組織の活性化は高齢化・少子化の中、進展している状況とは思われないが、本市の取り組みと考えを問う。 ①災害に対する自主防災組織の構築及び連携を高めるために消防団との連携を図っていくことも必要と考えるが、市長の認識を問う。 ②災害時を想定した場合に、現在各消防団に配備してある機器類で対応可能と考えているか。 ③団員の確保が厳しくなっていく中、新たな対策を講じる必要があると考えるが、機能別消防団員の設置は考えられないか。 ④2年ごとに開催されている消防操法大会は、常備消防の機能強化により、その内容が薄れてきていると思われる。団員の連携と機器類の取り扱いの熟度を増す点での成果は大きいと思うが、当地域においても自然災害等が発生する可能性が高まってきている中、予防活動・地域防災力の向上活動を重点とした取り組みも実施すべきではないか。	市 長
3小野広嗣	1 福祉行政について	(1) 視覚障がい者のための情報バリアフリーを推進する音声コードの普及について、当局の現段階での認識を示せ。 (2) 昨年の9月定例会でメンタルヘルス対策について質問している。それ以降、市民の心の健康を守るために、自殺・うつ病対策にどのように取り組んだのか。 (3) 介護人材確保の観点から提案した、地域と行政の新しい支え合いの制度となる、介護ボランティアポイント制度の導入に向けた検討結果はどうなっているのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野広嗣	2 教育行政について	(1) 子どもの読書支援のためにブックスタート事業をさらに拡大して、小学校に入学する1年生に良書をプレゼントする考えはないか。 (2) 平成24年度からの新学習指導要領全面実施に伴い、中学校では武道とダンスが必修となるが、現段階における取り組み状況と安全対策について示せ。	市 長 教育委員長 教育委員長
4金子光博	1 住宅政策について	(1) 農家住宅建設に伴う農振除外、転用、畑かんの許認可の考え方について問う。 (2) 若者定住対策としての宅地の確保について問う。	市 長 農業委員会会長 市 長
	2 保育行政について	(1) 市の基本的方針について問う。 ①公営と民間の保育の現状をどう認識しているか。 ②今後の園児の確保対策をどう考えているか。	市 長
5下平晴行	1 種子・屋久航路の新設について	(1) 入り込み客によるまちの活性化とさんふらわあの存続を図るために、種子島・屋久島航路の新設はできないか。	市 長
	2 人事について	(1) 合併してから職員が自殺等で亡くなったり、病気で休職しているが、人事管理に問題はなかったか。 (2) 人事の在り方に問題はないか。 (3) 在課年数の現状について問う。	市 長
	3 分譲地及び活性化住宅の取り組みについて	(1) 現在、佐野原の市有地を企業誘致用としているが、分譲地としての取り組みはできないか。また、リース方式で活性化住宅の取り組みはできないか。	市 長
	4 保護観察対象者等の就労支援について	(1) 保護観察中の人達の雇用に協力してくれる「協力雇用主制度」の普及につながる施策として、業者の等級格付けの評価項目に導入できないか。	市 長
6本田孝志	1 ボルベリアダグリの指定管理者の中途契約解除について	(1) 契約期間中における中途での契約解除の申し出について、見解を問う。 (2) このような事態になったことについての市長、管理職、議会の責任をどう考えているか。 (3) 納付金の納入状況はどうなっているか。 (4) 今後のスケジュールを示せ。 (5) 指定管理者制度について問う。	市 長
	2 街灯設置について	(1) 市内全体の設置状況について問う。 (2) 志布志町境から伊崎田を通る県道志布志福山線の街灯について問う。	市 長
	3 みらいファームについて	(1) その後の進捗状況を問う。	市 長
7岩根賢二	1 法定外公共物(赤線道路)の管理対策について	(1) 法定外公共物(赤線道路)の管理についての基本的な考え方はどうか。条例に基づき、管理を徹底すべきではないか。	市 長
	2 宅地災害の復旧対策について	(1) 宅地災害で困っている市民の生命・財産を保護するために、宅地災害復旧支援事業の支援内容を拡充する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成23年12月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8小園義行	1 行革について	(1) 職員適正化計画で、5年後の松山・志布志総合支所はどうなるのか。 (2) 事務量把握の進み具合はどうか。	市長
	2 経済対策について	(1) 住宅リフォーム助成制度の創設に向けての取り組みを問う。	市長
	3 児童福祉について	(1) 障害児保育についての対応を問う。 (2) 保育新システムに対する考え方を問う。	市長 教育委員長
	4 情報基盤について	(1) 故障対応の在り方や施設の保守対策について問う。	市長
9鶴迫京子	1 都市公園(墓園)について	(1) 伊勢堀墓園、中道墓園、夏井墓園及び久保墓園の墓地管理の現状と今後の整備計画について問う。	市長
	2 子育て支援について	(1) 子供が発症すると重症化するロタウイルス感染に効果があるといわれる生ワクチン予防接種にかかる費用(約3万円)は、家族にとって重い負担である。子育て日本一を掲げている本市は、国に先駆け、独自で予算化すべきであると思うが、どう考えるか。	市長
	3 公共用地の先行取得について	(1) 先の6月議会で志布志消防署建設地隣の空き地の先行取得について一般質問をしたが、その後どのように検討されたのか。また、現在の進捗状況について問う。	市長
10東 宏二	1 生涯スポーツ場について	(1) 先の6月議会でグラウンドゴルフ専用場について一般質問をしたが、その後どのように検討されたのか。また、今後の考え方を示せ。	市長 教育委員長
	2 街灯について	(1) 補助事業により通学路を中心に設置した街灯が、木の枝等で機能を発揮してないが、対応をどのように考えているか。	市長
	3 枇榔島の栈橋について	(1) 台風で枇榔島の栈橋が流されているが、修復する考えはないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 坂元修一郎	1 茶業振興について	(1) 防霜対策について ①防霜時期を迎えたが、最近、また防霜ファンの銅線盗難が市内をはじめ近隣産地で多発し収束を見ない。盗難防止への対策はどのように取られているか。 ②早生品種の割合が多くなり、防霜時期の前進化と防霜期間が長期化する中で、ファームポンドの水切れが心配されている。畑かん水利状況と防霜管理組合の設立によるルール作りはどのように取り決めがされているか。 ③河川法によりダムからファームポンドへの取水量が制限されているが、最も重要な防霜時期である3月の取水量は4月の半分と決められている。このことは散水時間の制限や多目的な水利用、また規模拡大への足かせとなっている。農家を巻き込んだ国への要望活動が必要ではないか。 ④本市茶業は水利用の先進地であり、貴重な水の節水や多目的有効活用のために、間断散水に加え、0℃制御により大幅な節水と過湿、害虫防除等の軽減への研究も進んでいる。今後の普及と方向性を問う。	市 長
		(2) お茶の消費拡大とPR活動について ①国民の医療費が年々増加するなか、健康管理と医療費の削減にお茶の効果が期待されている。市民の健康管理に対するお茶の利用効果と消費拡大についてどのように考えているか。 ②本年開催される曾於地域茶業振興大会と25年度の全国お茶サミットは本市茶業にとって大きな飛躍となるものであるが、各イベントに向けた取り組み内容を示せ。 ③本市茶業は、面積・生産量ともに県で2番目の産地でありながら、消費者への知名度はいたって低い。大々的なPR活動と振興室の設置や増員も必要ではないかと思うが、どのように考えているか。	市 長 教育委員長
2 鬼塚弘文	1 市立小中学校の統廃合について	(1) 休校中の四浦小学校の今後の見通しを示せ。 (2) 旧八野小学校の跡地利用の進捗状況と当校区の活性化を市はどのように考えているかを問う。 (3) 統合を計画している出水中、田之浦中の説明についての進捗と、今後の跡地活用と地域の活性化についての考えを問う。	市 長 教育委員長
	2 県道3号線の改良について	(1) 局部改良の予定と聞くが内容を示せ。 (2) 今後の見通しを示せ。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 鬼塚弘文	3 部分林・学有林の処分について	(1) 基本的な考え方を問う。 (2) 会員の高齢化・激減等により管理が困難となっている部分林・学有林の処分の考え方を問う。	市 長 教育委員長
	4 スポーツ振興について	(1) サッカーフェスティバル開催による経済面やスポーツ振興等への効果をどのように捉えているか。また、会場の芝問題等を踏まえた今後の開催についてはどのように考えているか。 (2) 利用者が増えている城山総合公園内のテニスコートの改善・充実を図る考えはないか。 (3) 志布志大相撲(千代鳳)後援会が設立されたが、市としての対応を考えているか。	市 長 教育委員長
3 玉垣大二郎	1 観光行政について	(1) 施政方針・当初予算で、商工・観光事業における計画が多く取り入れられているが、ここに至った経緯と、今後の観光事業に対する考えを問う。 (2) インターネット販売運営事業、「四季の彩り」フェア開催事業の内容を示せ。 (3) 総合観光案内所として、特産品販売を含み協会事務所と一体となった運営はできないかを問う。	市 長
	2 減災対策について	(1) 地震・津波を想定した詳細な避難計画、防災マップの作成と、これによる避難訓練を実施する考えはないか。 (2) 今回の避難訓練で使用した避難場所は適当であったのか。また、高齢者の移動手段、児童の避難経路の確保はなされているか。 (3) 標高表示板の今後の設置計画を問う。 (4) 複合災害を減らすために、本市でも「建築物耐震改修促進計画」が策定された。この2年間の現状と今後の考え方について問う。 (5) 本市における防災教育の現状を問う。	市 長 市 長 教育委員長
	3 有害鳥獣対策について	(1) 有害鳥獣駆除におけるカラスの駆除数は年間どれくらいあるのか。 (2) 志布志市有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領第3条第2項「予察捕獲」での駆除はできないか。	市 長
4 岩根賢二	1 観光振興策について(施政方針)	(1) おもてなし日本一のまちづくりを推進するために、市内各所で「お茶一杯」のサービスを始める考えはないか。	市 長
	2 自殺予防対策について(施政方針)	(1) 昨年3月の一般質問の後、どのような対策をとってきたか。また、今後自殺対策に関する条例を制定する考えはないか。	市 長
	3 介護予防策について(施政方針)	(1) 「ボランティア・ポイント制度」が検討されているが、換金ではなく、自分が介護される側になった時にポイントを使える仕組みにする考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4岩根賢二	4 国民文化祭について	(1) 国民文化祭が平成27年度に鹿児島県で開催されることになったが、本市としてどのように取り組んでいく考えか。	市 長 教育委員長
5小野広嗣	1 行政サービスの拡充について	(1) 本市では今後、行政サービスをどのように向上させて市民の満足度を高めていくのか、窓口業務を中心に示せ。 (2) 行政サービスに対する市民のニーズをどう把握し、提供すべきサービスメニューの優先度をどう位置付けているのか。	市 長
	2 成年後見制度について	(1) 成年後見制度がスタートして12年が経過する。今後、高齢者や障がい者を支える成年後見制度を着実に浸透させるためにどのような取り組みを展開していくのか。	市 長
	3 生活保護について	(1) 本市の生活保護の現状と今後の課題及び自立支援・就労支援に向けた取り組み状況を示せ。	市 長
	4 教育行政について	(1) 本市の児童生徒における携帯電話の利用実態と学校におけるインターネット、携帯電話の適正な使用方法の指導状況を示せ。	教育委員長
6丸山 一	1 石橋保存について	(1) 市内にある石橋の保存を検討する考えはないか。	市 長
	2 休耕田の活用について	(1) 一丁田地区の荒れた農地を子どもたちの憩える親水公園にできないか。	市 長
	3 防犯街灯について	(1) 押切から一丁田の線路跡地の防犯街灯の設置状況について問う。また、通学路であり、増設する考えはないか。	市 長
	4 反響板の設置状況について	(1) 市内公共施設における反響板の設置状況、利用状況について問う。	市 長 教育委員長
7平野栄作	1 防災行政について	(1) 東日本大震災発生から1年が経過しようとしている。先般開催された防災シンポジウムにも参加したが、危機感を持っている志布志湾沿岸部の住民から、石油備蓄基地の影響等を危惧する声も多数出された。 本市では津波対策検討委員会が提言書を提出するという報道があり、それを受けて防災対策を構築していくと思うが、平成24年度中には具体的な方向性を示すことができるのかを問う。 (2) いつ発生するか分からない自然災害に対して、教育委員会として、児童生徒に対する危機管理教育をどのように推進していく考えなのか具体的に示せ。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年3月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7平野栄作	2 福祉行政について	(1) 高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画が示されたが、厳しい社会情勢の下で今後における福祉の在り方が更に問われてくると認識している。重点施策の就労等への支援策として、「シルバー人材センターの機能充実」とあるが、ここ数年会員数及び就業者数ともに減少傾向にある。重点施策と位置付けているが、実績がともなっていないと思うが、市長の见解を問う。	市 長
	3 行政告知放送について	(1) 有明地区においては、従前の開発農協が行っていた放送内容と現在の放送とのギャップに戸惑う声が多数聞かれているが、市民からの声は届いていないのか。また、どのように改善していくのかを問う。	市 長
8西江園 明	1 市民目線と日本一について	(1) 市長は、志布志市は①ごみのリサイクル②健康づくり③情報基盤については、日本一であると述べているが、何をもちて日本一と言うのか。 (2) インフルエンザの予防接種助成対象とならない人や、行政告知端末機を商店や病院等へ設置する場合の費用負担等を踏まえた、本田市政における市民目線と市長が言われる日本一について問う。	市 長
	2 情報基盤整備事業について	(1) 裁判の状況を問う。	市 長
	3 指定管理者制度について	(1) 合併後に導入した指定管理者制度の成果をどのように捉えているか。 (2) 制度の見直しは考えていないか。	市 長 教育委員長
	4 道路行政について	(1) 都城志布志道路と市道町原・弓場ヶ尾線（臨港道路）を共同利用する計画の内容とその計画に至った経緯を問う。	市 長
9下平晴行	1 施政方針全般について	(1) 平成24年度の施策をしっかりと実現するためにどのような取り組みを考えているか。	市 長
	2 環境対策について	(1) 「第2回志布志市水保全シンポジウム」の在り方について問う。 (2) 河川浄化対策協議会の在り方について問う。 (3) 国有林の四浦地区と八野地区の130年以上の広葉樹を伐採して、新規に林道を2路線開設していることについて問う。	市 長
	3 商店街活性化対策について	(1) 秩父市の、みやのかわ商店街が「ボランティアバンクおたすけ隊」でまちの活性化を図っているが、取り組む考えはないか。	市 長
	4 歴史のまちづくり事業について	(1) 「歴史まちづくり法」についての考え方を問う。	市 長 教育委員長
10小園義行	1 政治姿勢について	(1) 合併後6年経過した現在の本市の状況をどのように受け止めているか、本庁の位置の問題や組織の在り方等、今後残された任期での考え方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年3月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10小園義行	2 介護保険について	(1) 介護保険の現状と今回の保険料の見直しについて問う。	市長
	3 畑かん行政について	(1) 畑かんの計画区域以外の農家支援について問う。	市長
	4 住宅政策について	(1) 公営住宅長寿化計画に基づく改善・整備について問う。	市長
	5 児童福祉について	(1) 障害児保育について、保育事業所等連絡協議会と協議をするとのことであったが、その後の経過を問う。また、新システムについての考え方を問う。	市長 教育委員長
11立山静幸	1 茶業振興について	(1) アメリカ、その他外国への志布志茶の輸出に対しての取り組みを茶業振興及び製茶工場並びに関係団体等と協力し、販路拡大を積極的に進めるべきではないか。 (2) 荒茶の品質向上のため県経済連は、荒茶の評価を数値化し、関係JA、荒茶工場に配信している。JA系列と系列外工場で荒茶の品質に格差は生じないか。また、価格に影響はないかを問う。	市長
	2 農林漁業の振興について	(1) 6次産業化推進を後押しする「農林漁業成長産業化ファンド」の創設に伴い、6次産業化事業者の掘り起こしに対して、志布志市としてどのような推進を計画しているかを問う。	市長
12鶴迫京子	1 施政方針について	(1) 様々な「日本一」を掲げる市長の政治姿勢について ①日本一を目指す理由等は。(なぜ、日本一なのか。) ②「健康づくり日本一」、「あいさつ日本一」、「子育て支援日本一」、「おもてなし日本一」、「ゴミ拾い日本一」等についての考え方を問う。 ③観光振興についての考え方を問う。 (2) 市民の安心・安全について ①駐在所等の統廃合に伴う市の防犯対策についての考え方を問う。	市長
13福重彰史	1 子ども養育費の負担軽減について	(1) 中学校自転車通学における自転車購入に対する負担軽減の考えを問う。	市長 教育委員長
	2 農業振興について	(1) 葉たばこ廃作に伴う転換作物の品目はどのように考えているか。 (2) 松山町たばこ共同乾燥施設の今後の利活用についてはどのように考えているか。 (3) 中山間地域総合整備事業について ①平成25年度導入の見通しを示せ。 ②同事業における松山地区での暗きょ排水の計画について問う。 ③松山地区の整備完了地域におけるパイプラインの考え方を問う。 (4) 防疫消毒ゲート設置事業等の導入と防疫対策について問う。 (5) 畑かんの導入の考え方を問う。	市長

一般質問通告書

平成24年3月定例会(No. 6)

質問者	件名	要旨	質問の相手方
13福重彰史	3 道路行政について	(1) 県道柿ノ木志布志線、弓場ヶ尾地区の早期整備の見通しを問う。 (2) 市役所松山支所前の歩道を拡幅整備する考えはないか。	市長
	4 施政方針について	(1) 「あいさつ日本一の市役所」を目指すことの考えを問う。 (2) 「ゴミ拾い日本一の市長(GNS)」の考えを問う。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広嗣	1 福祉行政について	(1) 孤立死防止等をふまえた地域住民、関係機関、行政の包括的な見守り体制のあり方の現状と課題をどのように捉えているか。 (2) 生活福祉基金貸付事業は、2009年度から生活困窮者への貸付けや連帯保証人要件の緩和などの改善が図られている。社協が実施主体であるが、市としても失業や減収などで困窮する市民の生活再建のために市民への周知を進め、活用の推進を図るべきではないか。	市 長
	2 防災・減災対策について	(1) 災害時に要援護者が一人も漏れなく避難できる体制づくりが急務である。本市の災害時要援護者支援体制の進捗状況と課題及び対応策について示せ。 (2) 東日本大震災後、女性の視点から見た防災対策の必要性が指摘されている。本市でも、女性の視点を積極的に防災施策に取り入れるべきではないか。 (3) 地震等災害発生時において地域の避難所となる学校施設の安全性の確保、防災機能の強化を図る上で、学校施設の耐震化とともに、天井や壁などの非構造部材の耐震化も早急に実施していく必要がある。本市の学校施設における非構造部材の耐震点検・対策の実施状況を示せ。	市 長 教育委員長
	3 通学路の安全対策について	(1) 最近、全国で登下校時の児童が死傷する痛ましい事故が立て続けに発生している。本市の通学路の安全点検や安全確保の現況について示せ。	市 長 教育委員長
2 岩 根 賢二	1 空き家対策について	(1) 本市では、「危険廃屋解体撤去事業」が施行され、かなりの実績が上がっている。しかし、これはあくまでも持ち主の申請に基づき実施する事業である。そこで、行政側から助言・指導できるような制度を創設する考えはないか。 (2) 空き家の利活用の現状はどうか。また、積極的な利活用が図られる制度の創設は考えられないか。	市 長
3 西江園 明	1 観光入り込み客について	(1) 志布志市への入り込み客100万人の根拠を示せ。	市 長
	2 鉄道記念公園の整備について	(1) 現在は展示の状態であるため、損傷が著しい。記念公園にふさわしい整備をすべきではないか。	市 長
	3 志布志支所前の上町商店街の整備について	(1) バスが駐車できるようなポケットパークを造り、観光客の誘致を図る考えはないか。	市 長
	4 住宅購入の助成について	(1) 市内に新築、中古住宅を建設もしくは購入した人に助成をし、定住化を図り、市内商工業の活性化を図るための制度の創設は考えられないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 西江園 明	5 介護サービスと地域包括支援センターについて	(1) 地域包括支援センターの組織の現状を示せ。 (2) 福祉用具貸与・購入、住宅改修等の基準を問う。 (3) 組織として機能しているのか。 (4) 外部への委託は考えられないか。	市 長
4 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 日本一のまちづくりへ向けてのすすめ方をどう考えているか。 (2) 「脱原発をめざす首長会議」に参加された思いと今後の取り組みを問う。 (3) 他団体からの職員受け入れについて考え方を問う。	市 長
	2 保健対策について	(1) 予防接種の集団接種の見直しは考えられないか。	市 長
	3 税金対策について	(1) 昨年9月議会後の対応はどうか。	市 長
	4 児童福祉について	(1) みどり保育所の3月議会以後の取り組みについて問う。 (2) 山重幼稚園の今後について考え方を問う。	市 長 教育委員長
	5 学校教育について	(1) 志布志町地域の中学校統合が提案されているが、住民の理解等十分に対応されての事か。	市 長 教育委員長
5 平野 栄作	1 環境政策について	(1) 高齢化の進展に伴い、ごみ出し困難者増加が懸念されるがその対策を示せ。 (2) 市独自の環境アドバイザー育成を行う考えはないか。 (3) 国際貢献実施により、従来からの取り組みが停滞していると感じるが、両立した事業推進が行われているかを問う。	市 長
	2 人事について	(1) 今回、社会福祉協議会の職員を研修として受け入れを実施しているが、この目的について示せ。 (2) 他の外郭団体育成との整合性を問う。	市 長
6 鶴迫 京子	1 公民館敷地等の環境整備について	(1) 安楽・香月・志布志地区公民館の駐車場のあり方について、苦情なり要望などはないか。現状をどのように認識されているか。 (2) 香月地区公民館の駐車場について 狭い出入口や生け垣の植栽などによる危険性を排除し、利便性の向上を図り、また、雨天時は特に、高齢者の利用に配慮した安全確保のために、標識や区画線に従い、効率よく駐車できるように、駐車場を舗装整備する考えはないか。 (3) 市内の公民館や駐車場の場所が誰でも分かるように、表示や看板が設置されているか。 (4) 昨年の12月議会で一般質問した伊勢堀墓地の整備について、調査し検討するとの答弁だったが、半年経過した。どのように検討されたか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 鶴 迫 京 子	2 観光行政について	(1) 合併前の志布志町では20名くらいの観光大使が設置されていたが、現在の本市の状況を問う。 (2) 郷土会の会員など、本市出身者を「ふるさと大使」に任命し、また、本市出身ゆかりの人で幅広く活躍し、知名度のある人を「観光大使」に任命して、あらゆる所で、ふるさと「志布志」の良さをPRしてもらい、観光客の誘致につなげ活性化を図っていく考えはないか。	市 長
7 東 宏 二	1 グラウンドゴルフ専用場について	(1) グラウンドゴルフ人口が増えている本市には、専用グラウンドゴルフ場がない。市有地に専用場はできないか。	市 長 教育委員長
	2 枇榔島について	(1) 枇榔島の栈橋がいまだに修復されていないが、今後の見通しを示せ。	市 長
8 下 平 晴 行	1 通学路の安全対策について	(1) 小学生の通学路における事故が多発しているが、当市の通学路に係る実態調査はしたか。そのことによる対策の協議はどうか。	市 長 教育委員長
	2 市民の意識調査の取り組みについて	(1) 市民の意識調査を実施して市政に活かす考えはないか。	市 長
	3 携帯電話の難聴地区対策について	(1) 四浦地区の携帯電話の難聴解消について、国・県・市の補助と併せて通信業者負担がある。この地区は世帯数が少なく、通信業者は採算が取れないため、難しいことはよく理解できる。市としての対応は考えられないか。	市 長
	4 街灯・防犯灯の管理について	(1) 幹線道路等に市が設置した街灯は市が管理しているが、同道路等に集落が設置した防犯灯の管理は従来どおり集落が管理することについて問う。	市 長
	5 福祉政策について	(1) 介護支援ボランティア・ポイント事業を導入する考えはないか。 (2) 県は12年度から同制度の県独自の助成事業を立ち上げ、市に導入を働きかけているが検討したか。 (3) 市独自の同制度等の助成事業を展開する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年9月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 立山 静 幸	1 県道の改良工事について	(1) 平成21年6月議会定例会で、一般質問した県道523号志布志有明線の改良工事要望について、その後の経過を問う。	市 長
	2 小水力発電について	(1) 現在及び将来のエネルギーとして、用水路等を利用したクリーンエネルギーの小水力発電が注目されているが、本市の取り組みを問う。	市 長
	3 いじめの実態と未然防止対策について	(1) 文部科学省は、8月1日付で「子ども安全対策支援室」を設置し、9月20日まで、4月以降に起きたいじめの把握件数を報告させるようにしているが、本市の小中学校における現在までのいじめの実態と対応を問う。 (2) いじめの未然防止対策について、どのような取り組みを実施しているか。	教育委員長 教育委員長
	4 全国学力テストについて	(1) 今年初めて、理科のテストが実施された。本市の小中学校の平均正答率と分析した結果、課題はなかったか。また、実験等の教材は充実しているのか。	教育委員長
2 平野 栄 作	1 橋梁長寿命化と景観対策について	(1) 橋梁長寿命化修繕計画が策定され、概要並びに点検結果がホームページにも掲載されており、本市には通行に危険のあるものは無いとなっている。計画では、定期的な点検が重視され、日常の管理として具体的な記載が無いが、当市における橋梁の日常管理をどのように行っているかを示せ。 (2) 橋梁の景観対策として、どのような取り組みを実施しているかを問う。 (3) 橋梁を含む前後に歩道が設置してあるが、定期的な管理が実施されていない為、通行に支障が生じている現状があるがこの状況をどのように捉えているかを問う。	市 長 市 長
	2 公共施設等への太陽光発電装置設置について	(1) 当市は環境面において先進的な取り組みを実施しているが、公共施設等へ太陽光発電装置を設置し、更なる環境推進のまちをアピールする考えはないか。	市 長
3 小野 広 嗣	1 スポーツツーリズムの推進について	(1) 近年、まちおこしのコンテンツの一つとして、スポーツと観光の果たす役割が期待されている。本市でも鋭意努力しているが、今後はさらに、スポーツと観光が融合したスポーツツーリズムの一層の推進を図るべきではないか。	市 長
	2 環境行政について	(1) 太陽光やバイオマスなど、再生可能エネルギーの推進や省エネの取り組みは、安全・安心なエネルギーの安定的な供給体制が構築されるまでは、地方自治体でも今後重要な課題となる。本市ではこの課題の解決に向けて、どのように考え取り組んでいくのか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野 広嗣	2 環境行政について	(2) 省エネ効果の非常に高いLED照明の推進は、行政施設においても、ようやくその緒に就いたところであるが、今後は市民への普及促進も図るべきではないか。	市 長
	3 いじめ問題について	(1) いじめ問題に関して、本市では、大津市の事件をどのように認識しているのか。また、いじめで苦しむ子どもたちをなくすために、どのように取り組んでいるのか。	市 長 教育委員長
	4 インフルエンザ対策について	(1) 子どもたちが集団生活をしている学校は、集団感染が起りやすい場所でもある。今後、これまでの教訓を生かし、インフルエンザ対策についてどのように取り組むのか。	教育委員長
4西江園 明	1 花いっぱい運動推進事業について	(1) 6月に各公民館に配布された花の苗は不良品が多かった。これをどのように捉えているか。 (2) 市内の生産者から購入する考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 しおかぜ公園の管理について	(1) 適正に管理しているとは思えない。教育委員会はどこまで関与しているのか。 (2) 直営で管理する考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 志布志運動公園体育館の管理について	(1) 実情をどのくらい把握しているのか。 (2) 以前は給水器があったが、現在ないのはなぜか。 (3) 管理公社との契約の内容を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	4 市有財産の管理について	(1) 行政財産について ① 市道敷地を個人に駐車場として貸し付けた。行政財産を貸し付けできるのか。 ② 市長の言う平等、市民目線を問う。 (2) 普通財産について ① 突然、市有地にロープを張り、立ち入り禁止の措置をしたが、なぜか。	市 長 市 長
5岩根 賢二	1 災害対策について	(1) 昨年の東日本大震災以降、国民の災害に対する考え方に変化が生じているのではないかと思う。 災害が起きてから必死に復興をめざすのではなく、災害を起こさないよう事前に対策を講じる「事前防災」の考え方が強くなっているのではないか。 「事前防災」についての考え方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 本 田 孝 志	1 安心安全なまちづくりについて	(1) 津波に対する安全な避難場所の確保がされているのか。	市 長
	2 通学路の安全対策について	(1) 学校で調査した危険箇所の把握状況について問う。	教育委員長
	3 商店街活性化について	(1) 中心市街地活性化策にどう取り組む考えか。	市 長
	4 エネルギーの地産地消への取り組みについて	(1) 太陽光発電敷地として、市有地の利用は考えられないか。	市 長
7 金 子 光 博	1 あいさつ日本一について	(1) 「あいさつ日本一の市役所」を目指しての取り組みと効果はどうか。	市 長
	2 維持、存続が危ぶまれている地域への政策的対応について	(1) 「限界集落」についてどのように認識しているか。 (2) 若年人口の増加を図るためにどのような対策をとっていくのか、特に、住宅政策についての考え方を問う。	市 長 市 長
8 長 岡 耕 二	1 農村集落の対応について	(1) 志布志市内で市水道が通水していない地域の現状を示せ。	市 長
		(2) 柳井谷、田床自治会より、市水道を引いて欲しいとの要望があるがどう考えるか。	市 長
		(3) 自治会において、戸数の減少や高齢のため、自治会活動の難しい地域に対して、対策は考えられないか。	市 長
		(4) 集落内道路の維持管理の現状と対応を示せ。	市 長
9 小 園 義 行	1 職員雇用について	(1) 嘱託職員等の雇用期間の考え方を問う。	市 長
	2 文化振興について	(1) 種田山頭火句碑の設置と管理の在り方を問う。	市 長
		(2) 藤後左右についての認識を問う。	教育委員長 市 長 教育委員長
	3 児童福祉について	(1) 夏休み等の学童保育時間の見直しは考えられないか。	市 長
	4 給食費について	(1) 徴収の在り方を問う。	教育委員長
5 林業振興対策について	(1) 花木生産者への支援として結束機の補助は考えられないか。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

平成24年9月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10鶴迫京子	1 防災・減災について	<p>(1) 内閣府は南海トラフ巨大地震による被害想定死者が32万3千人に及び、約7割が津波被害で、宮崎県4万2千人、鹿児島県1,200人に上ると発表した。</p> <p>① 感想と見解は。</p> <p>② 本市の地域防災計画に及ぼす影響をどう考えるか。</p> <p>③ 見直すべき点はないか、課題をどう捉えているか。</p> <p>④ 課題に対する予防対策をどう考えているか。</p> <p>⑤ 9月2日の曾於地区総合防災訓練は、実施の目的が達成されたと考えるか。また、課題をどう捉え、今後どう生かすか。</p> <p>⑥ 昨年の6月と12月議会で、紀州造林跡地（志布志市消防署隣）先行取得について、庁舎、学校、保育園、幼稚園、福祉施設、警察署など公共施設の高台移転も含め一般質問した。改めて議論し考えるとの答弁であったが、どのように検討されたか。</p>	市長 教育委員長
	2 子育て支援について	<p>(1) 子育て支援策として、会津若松市で就学遺児激励金、すこやか図書カード贈呈の取り組みをしている。本市でも取り組む考えはないか。</p> <p>(2) 県の母子寡婦資金貸付制度は、修学資金や就学支度資金など13種類の貸付内容である。しかし、高校、大学などの進学のための受験費用や旅費、宿泊代、学習塾代、各種受講料などには対応していない。親の所得状況で進学をあきらめるといふ教育格差にもつながる。低所得者も含め本市独自の貸付制度を創設し、子育てに、日本一の支援はできないか。</p>	
11下平晴行	1 稲付川下流の排水対策について	<p>(1) 稲付川下流の下野井倉集落住民は、平成5年の土砂災害以来、台風や大雨などの大変な状況下で生活を強いられてきた。県の砂防事業はできないようであるが、いつ申請したか経緯について問う。また、住民が安全・安心な生活をするために、市の単独事業で年次的に計画して、早急に災害対策を図る考えはないか。</p>	市長
	2 高速無線LANシステムについて	<p>(1) 尾鷲市の土砂災害情報相互通報システム（次世代無線LANシステム）は、公共通信インフラに依存しない専用の災害通信ネットワークを用いて、音声や映像を相互に通信できるシステムを導入して市民の安全・安心なまちづくりを構築している。この事業は国の100%補助で導入できるシステムである。導入する考えはないか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

平成24年9月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11下平晴行	3 都城・志布志道路について	(1) 地域高規格道路「都城・志布志道路」の志布志道路工区3. 2キロについて、市道の町原弓場ヶ尾線を4車線化し、中央部を一部高架にして車両専用の高規格道とする方針が示されたが、多くの住民が反対している。住民や商業者のことはもちろん、周辺地域の将来の活性化を図るために、基本設計の見直しを県に要請する考えはないか。	市 長
	4 いじめ問題について	(1) 大津市の中2男子自殺を始め、いじめ問題が次々と起きて全国的に大きな話題になっている。本市の実態はどうか。また、教育委員会のいじめに対する認識の甘さが批判されている。教育委員会の在り方について問う。	市 長 教育委員長
	5 嘱託職員等の雇用期限について	(1) 嘱託職員等の雇用期限5年を上限としていることについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1丸山 一	1 消防行政について	(1) 大崎救急分駐所に消防自動車の配置はできないか。	市 長
	2 保安林保護について	(1) マツケムシ対策を急ぐ必要があるのではないか。	市 長
	3 自治会管理道路について	(1) 東西押切自治会が共同管理している道路について、市へ管理移行はできないか。 (2) 市内の他の地域はどうなっているか。	市 長 市 長
2鬼塚弘文	1 県道3号線の局部改良工事について	(1) 待望の局部改良に着手されたが内容を示せ。 (2) 今後の改良予定はどうなっているのか。	市 長 市 長
	2 森山地区の市道改良について	(1) 地元から要望書が提出されていた集落内関連道の改良はどうなっているのか示せ。	市 長
	3 田之浦地区市道中山線の路面改修について	(1) 部分補修で対応してきているが、全面的な路面改修が必要である。次年度以降の対応策を示せ。	市 長
	4 旧八野小学校の跡地利用と当地区の再生について	(1) 現状をどう捉えているか。 (2) 田之浦、出水中の閉校後の跡地利用の参考例として考えているか。	市 長 市 長
	5 スポーツ振興について	(1) グラウンドゴルフ会場の専用コート建設の要望が関係者から数回問われたが、着手する考えはないか。 (2) サッカー場の人工芝導入は考えられないか。 (3) 尚志館高校の春の全国選抜高校甲子園野球大会出場 の気運が高まってきたが、現実となった場合の行政の 支援策を示せ。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
3小野広嗣	1 自治体クラウドについて	(1) 総務省では23年度より自治体クラウドの導入に際して、特別交付税による支援措置を行っている。情報システムを共同化・集約化することにより、コスト削減や業務の軽減ができる自治体クラウドの導入を図るべきではないか。	市 長
	2 特定健康診査について	(1) 平成20年4月から特定健康診査・特定保健指導が始まり、本市でも特定健康診査等実施計画を策定している。計画は平成24年度までの5年間で1期とし、5年ごとに見直すことになっている。計画の推進状況を示せ。 (2) 高齢者の老人性難聴と認知症には大きな関わりがあるとされている。高齢者の難聴を早期発見するためにも、特定健康診査で難聴検査の導入を図るべきではないか。	市 長 市 長
	3 がんの教育・普及啓発について	(1) 本年6月、国は「がん対策推進基本計画」を新たに策定した。その中のがん教育・普及啓発の項では、子供に対するがん教育の在り方を検討し、健康教育の中でがん教育を推進するとある。このことに関する教育委員会の認識とこれまでの取り組み状況を示せ。	教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4立山 静 幸	1 農林漁業振興について	(1) 佐賀県武雄市は、フェイスブック (FB) 内に特産品等販売の専門ページを開設し、自治体による初のフェイスブックを利用した通販を展開している。今後の目標として、3年間に200自治体の参加を目指している。本市も平成25年度当初予算に参加を目指して調査研究費を計上する考えはないか。	市 長
	2 有害鳥獣捕獲について	(1) イノシシ捕獲を円滑に進めるため報償金の見直しをする考えはないか。	市 長
5坂元修一郎	1 海外貿易に対する農業政策について	(1) TPP参加に対する意見と止まることのない自由化に対し、本市における農業振興の方向性と農業政策はどうあるべきか。	市 長
	2 農業後継者育成と農産物の有利販売について	(1) 本市の就農状況と農業生産はどのように推移しているか。	市 長
		(2) 「人・農地プラン」の本市での動きと問題点について問う。	市 長
	3 地域農産物の情報発信と有利販売について	(1) 整備されたICTは、本市農業の販売面ではどのような利用がされているか。	市 長
(2) 全国ソーシャルネットを利用した有利販売が行われている。本市の現状と行政での取り組みは考えられないか。		市 長	
4 3.11後における国内での食糧基地の確立について		(1) ブランド推進室の取り組みは、本市農産物のブランド作りと販売にどのように活かされているか。	市 長
		(2) 消費地への職員派遣による販売推進やあっせん活動の拠点づくりも今後の取り組みとして必要ではないか。	市 長
		(3) 農業技術指導体制の広域化により、弱体化が進んでいるが、指導体制の構築を進めるべきではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年12月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6平野 栄作	1 防災行政における消防災害支援隊の位置づけと拡充について	<p>(1) 災害の発生は予測がつかないが、それに備えた対策を構築していく必要がある。画一的な対策も必要であるが、より広域的な統一性のある対策が望まれると考える。</p> <p>また、地域毎に設置してある消防団機能を見直すことによって地域の防災面への強化にもつながると考えることから、以下の点について問う。</p> <p>① 近年、消防団員の定数割れが全国的に課題となってきた。</p> <p>また、各消防団員においても団員数と比較して火災時等における出動団員数に格差が生じている現状がある。</p> <p>この現状をどのように捉えているか。</p> <p>② 防災という面から、今後発生が予測される東海・東南海・南海地震対策として、津波避難訓練の実施や各地区単位での防災マップ作成等を実施しているが、市民には温度差があるように感じる。</p> <p>地区毎の防災意識高揚を積極的に推進する必要があるが急務だと思うが、消防災害支援隊組織の位置づけをどのように考えているか。</p> <p>③ 通常発生しうる火災や災害及び今後発生が懸念される大規模な災害に備え、地域防災力の向上等を考慮すると消防団を補う消防災害支援隊の位置づけが重要になるものとするが、市全域に広める考えはないか。</p> <p>併せて出動手当の支給は考えられないか。</p>	市 長
	2 指定管理者制度について	<p>(1) 指定管理者制度導入の背景には、民間活力による利用者の利便性の向上及び管理運営費の縮減により市町村の負担の軽減が大きな目的として挙げられている。</p> <p>本市においてはその効果をどのように捉えているかを問う。</p> <p>(2) 指定管理者側からの視点に立つと、条例や規則等による制約があり、実力を発揮できないという問題点も指摘されている。</p> <p>指定管理者制度が平成19年度に導入されてから、指定管理者側とどのような協議がなされ、それに伴う条例・規則等の見直し等改善をどう実施したのかを問う。</p> <p>(3) 公募と非公募による選定方法が導入されており、選定理由もある程度理解できるものではあるが、今後も引き続き同様の選定方法を実施していくとすれば、問題点も浮上ってくるものとする。</p> <p>その点に対する見解を示せ。</p> <p>(4) 体育施設等における陸上競技場や野球場等の整備には、専用の機械器具類が必要になってくる。</p> <p>これらを導入及び更新維持するには多額の費用負担が伴ってくると思うが、この点について市の見解を示せ。</p>	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年12月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7西江園明	1 合併特例債の活用について	(1) 国県補助事業の状況はどうなっているか。 (2) 国県の補助が厳しい時こそ合併特例債を活用すべきと考えるが、現在までの起債状況及び今後の見通しを問う。 (3) 市道香月線の延伸計画について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 テニスコートの増設計画について	(1) なぜ松山地区に増設するのか。 (2) テニス人口について把握しているのか。 (3) 利用料（近隣も含む）について問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 公人としての市長の姿勢について	(1) 市長という立場上、会合等で挨拶をされているが、志布志市民の代表としてなのか、個人の意見なのかと疑問を持つことがある。ある会議冒頭の挨拶で「日本はアメリカの属国と思う」と発言されたが、真意を問う。	市 長
8岩根賢二	1 就学援助制度運用の在り方について	(1) 制度の周知は十分に行われているか。 (2) 新学年度における手続きの開始時期を早める考えはないか。	教育委員長 教育委員長
	2 補助事業の実施の在り方について	(1) 県や市の補助を受けて実施する事業で工事等を伴う事業については、市内もしくは県内の業者を優先すべきと考えるが、当局の考え方を問う。 (2) このような事業の場合、市が行う契約手続きに準ずるべきかと考えるが、それが実践されているか。	市 長 市 長
9小園義行	1 政治姿勢について	(1) 沖縄県への新型輸送機オスプレイの配備についてどう考えているか。 (2) 九州市長会での決議について問う。	市 長 市 長
	2 職員適正化計画について	(1) 事務量調査の結果を今後どう生かす考えか。 (2) 嘱託職員の雇用の考え方を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 経済対策について	(1) 住宅リフォーム助成事業の利用状況はどうか。また、来年度に向けての考え方を問う。	市 長
	4 学校教育について	(1) クラブ活動費、PTA会費、生徒会費を就学援助の対象として実施する考えはないか。 (2) 高校統廃合による影響をどう受けとめているか。併せて対策を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成24年12月定例会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10下平晴行	1 活性化対策について	(1) 大都市で、老人ホームなど高齢者向けの施設が足りない問題を受けて、政府は高齢者の地方移住を促す総合対策を検討している。市の活性化を図るため取り組む考えはないか。	市 長
	2 公金徴収一元化について	(1) 船橋市は、債権管理課で全債権を一元管理し、滞納債権を徴収して実績を上げている。本市も全債権を一元管理する課を設置して、財政健全化対策及び納税等の公平性を図る考えはないか。	市 長
	3 道路改良について	(1) 今後の県道3号線の改良工事の取り組みについて問う。	市 長
		(2) 市道弓場ヶ尾・佐野原線と県道3号線との交差点は見通しが悪いため、拡幅の道路改良はできないか。 (3) 前項の交差点付近に、市街地方面への大型車等の乗入れ禁止標識は設置できないか。 (4) 市道横尾下・横峯線の拡幅改良はできないか。	市 長
4 駐車場対策について	(1) 志布志支所は市民の出入りが多いため、駐車場にふびんを感じていることについて問う。	市 長	
	(2) 駐車場対策と併せて文化会館、図書館の利活用を図るため、エレベーター等の設置は考えられないか。	市 長	
11鶴迫京子	1 環境整備について	(1) 伊勢堀墓地の周辺の環境整備について、昨年の12月議会と24年6月議会で一般質問したが、その後の進捗状況を問う。	市 長
		(2) 高齢者など買い物弱者対策について、どのように認識し、対応していくのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広嗣	1 施政方針（定住推進）について	(1) 施政方針には、定住促進と地域の活性化を図るため、対象地区に市外から新たに住宅を新築又は購入し移住定住した場合に、補助金を交付する制度の創設と市内の空き家を活用した空き家バンク制度の運用に取り組むとあるが、今後、事業を推進するにあたっての見通しと課題について問う。	市 長
	2 消費者教育の推進について	(1) 昨年8月、悪徳商法などの被害防止と消費者の自立支援を目的とした消費者教育推進法が成立した。生涯教育の観点から、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に消費者教育を推進するよう国や地方自治体に義務付けているが、本市の消費者教育推進の取り組み状況を示せ。	市 長 教育委員長
	3 アレルギー疾患対策について	(1) 昨年暮れ、東京都調布市の市立富士見台小学校で、チーズなどにアレルギーのある5年生の女子児童が、給食を食べた後に死亡した事故が起きた。本市では、このような事故が起きないために、どのような取り組みが行われているのか。	市 長 教育委員長
	4 安心・安全な学校教育環境について	(1) 昨年、大きく問題になったいじめ問題に続いて、今度は教師の体罰が大きな社会問題となっている。文部科学省の調べでは、全国の公立小中学校や特別支援学校で2011年度に体罰を理由に処分された教職員は400人を超えている。体罰については本市でも現在、アンケート調査中であるが、いじめ問題と併せ、これらをどのように総括し、子どもたちの安心安全な学校教育環境の確立に取り組むのか。	教育委員長
2 平野 栄作	1 青少年育成市民会議支援事業について	(1) 施政方針で青少年の健全育成について「青少年育成市民会議」を充実させ、市民全体でこころ豊かでたくましい青少年の環境づくりに努めるとあるが、以下の点について問う。 ① この事業の成果をどのように捉えているか。 ② 特色ある活動を展開したくても予算的に厳しいと思うが、見解を示せ。 ③ 事業内容等を再考する時期ではないか。	市 長 教育委員長
	2 環境行政について	(1) 他自治体では、電気自動車購入に対する補助を実施しているが、環境日本一を掲げる本市において、実施の考えはないか。	市 長
	3 畑かん事業について	(1) 平成22年6月議会で、同僚議員が水不足の問題についての質問を行ったが、その後の進捗よく状況を示せ。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3立山静幸	1 水田ほ場整備について	(1) 中山間地域総合整備事業で、志布志地区が採択予定である。松山・有明地区は順次計画を進めるとあるが、中山間地域総合整備事業の採択はできないのか。出来ないとする団体営事業採択スケジュールを問う。	市 長
	2 観光推進について	(1) 九州観光推進機構は2月15日九州7県と福岡市を「九州アジア観光アイランド総合特区」の指定を受けた。この特区を利用して、志布志港寄港促進事業の充実を図る考えはないか。 (2) 農家民宿や「食」を中心とした観光・教育を地域で支援する事業の取り組みはできないかを問う。	市 長 市 長
4長岡耕二	1 農業振興について	(1) 政府はTPP（環太平洋連携協定）交渉参加で進んでいるが、以下の点について問う。 ① 本市の産業への影響をどう捉えているか。 ② 農家への対応についての考えを問う。	市 長
	2 水道行政について	(1) 平成24年9月議会での質問に対する答弁で、市水道の通水してない地域への対応として、財源措置を考えて取り組みたいとのことであったが、どう取り組みされたのか。 (2) 認可区域外である給水区域外の認可の経過を問う。 (3) 水の腐食で健康上の問題があると認識され調査が必要とのことであったが、その後調査はされたのか。	市 長 市 長
5福重彰史	1 農畜産業の振興について	(1) 市内で実施される春・秋の畜産品評会の現状をどのように捉えているか。また、今後の対策は。	市 長
	2 学校施設について	(1) 小中学校の校舎及び屋内運動場の耐震化へ向けた整備状況を示せ。 (2) 尾野見・伊崎田小学校のグラウンド改修等について考え方を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 定住促進対策について	(1) 移住定住促進事業の内容と考え方を問う。	市 長 教育委員長
	4 医療行政について	(1) 曾於郡医師会立病院の現在の状況をどう捉えているか。また、今後、救急医療の拠点病院として、どのように考えているか。	市 長
6鶴迫京子	1 環境行政について	(1) 都市公園「伊勢堀墓地」では、お盆、正月と彼岸（春・秋）の日には車や人の出入りが多く混雑して、離合が困難になり大変危険である。その期間だけ一方通行にする考えはないか。 また、近隣の空き地を借り上げて駐車場を確保する考えはないか。	市 長
	2 健康日本一について	(1) 志布志市の健康体操「フロムしぶし元気アップ体操」の普及を図り、健康増進運動に取り組んでいるが、子どもを含み全市民に今以上に推進し、「健康づくり日本一」につなげるべきであると思うがどうか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 鶴迫京子	3 観光振興について	(1) 本市をイメージできるシンボルとしてのPRキャラクターを一般公募して、観光振興につなげよと、平成24年3月議会と6月議会で一般質問したが、その後どうなったか。	市 長
		(2) 施政方針で、観光物産の振興について、平成23年度に策定した「志布志市観光振興計画」に基づき、各種プロジェクトを計画的かつ効率的に推進するとある。また、「志布志」の地名発祥の地という観光資源を最大限に活用し「志布志」の名を市内外に広める取り組みを検討するとあるが、具体的な内容を示せ。	市 長 教育委員長
		(3) 施政方針で、「おもてなし日本一」のまちを全国に発信するために、おもてなしの心醸成事業を「一般社団法人志布志市観光特産品協会」に委託するとあるが、今までの成果とこれからの事業の展開をどう考えているか。	市 長
7 下平晴行	1 6次産業化について	(1) 施政方針に6次産業化の取り組みがないが、1次産業の振興をどのように考えているか。	市 長
	2 水保全について	(1) 水保全シンポジウムにおいて、畜産し尿等の垂れ流しを防ぐ手段として、バイオマスや完熟堆肥として活用することの提言がされたが、市の今後の取り組みについて問う。	市 長
		(2) 前川で鮎の大量死についての調査結果と対策について問う。	市 長
		(3) 河川浄化対策協議会及び志布志市河川浄化対策連絡協議会（仮称）の設置について問う。	市 長
		(4) 地下水保全条例の制定について問う。	市 長
	3 工業団地化の取り組みについて	(1) 工業団地約8ヘクタールの開発と同時に隣接する土地も団地化として取り組むことで、より一層の投資効果があると思うがどうか。	市 長
	4 上町商店街の駐車場について	(1) 上町商店街の活性化を図るために駐車場を設置できないか。	市 長
5 歴史のまちづくり法について	(1) 歴史的風致維持向上計画書について問う。	市 長 教育委員長	
6 学校の体罰状況について	(1) 全国的に体罰の実態が明るみにでてきているが、市内の学校の体罰状況はどうか。	教育委員長	

一 般 質 問 通 告 書

平成25年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広嗣	1 政治姿勢について	(1) 本田市政が誕生して、すでに2期目の最終年度を迎えている。これまでの市政運営の総括（公約等の達成状況）と次期市長選挙（3期目）に対する出馬の意向を問う。	市 長
	2 買い物弱者対策について	(1) 平成22年12月定例会において、買い物弱者対策について質問した際、「今後、情報収集して現状を把握し、公共交通対策も含め、複数の関係機関による協議を進めたい」との答弁であった。買い物弱者対策については、創意と工夫で問題解決に取り組んでいる自治体も多くある中、本市ではその後どのような検討、取り組みがされたのか。	市 長
	3 男性介護者支援について	(1) 介護実態についての国民生活基礎調査によると、男性介護者が3割を超えている。今後、高齢化の進行とともに、ますます増えるものと思われるが、本市の男性介護者の現状と支援体制についてはどうなっているのか。	市 長
	4 環境行政について	(1) 昨年、「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」が成立し、本市でも4月から、資源ごみ「小型家電」の分別収集がスタートしているが、さらなる循環型社会の構築に向けての取り組みとして、この新制度を本市ではどのように活用していくか。	市 長
	5 子育て支援について	(1) 昨年、子ども・子育て関連3法が成立した。この法律は、保育所、幼稚園、認定こども園の拡充など、子育て環境の充実を図ることを目的としている。運用に当たっては、自治体、特に市町村が重要な役目を担うことになっている。本市の今後の取り組みについて示せ。	市 長 教育委員長
2 西江園 明	1 地域情報通信基盤整備推進事業について	(1) 裁判の進捗状況を問う。 (2) 裁判に要した費用はいくらか。 (昨年度の実績と今年度の見込み)	市 長 市 長
	2 市の公園の現状について	(1) 市内にある遊具施設のある公園の現状を問う。 (2) アピア付近にある公園（大浜緑地公園、鉄道記念公園）をもっと利用し易くする考えはないか。 (3) 志布志地区の台地には公園がほとんどない。災害時の避難場所のためにも、公園として広場を確保する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	3 任意団体のあり方について	(1) 志布志市地域女性連絡協議会の役員選出について問う。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3平野 栄作	1 福祉行政について	(1) 市が策定する地域福祉計画並びに社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画について ① 進捗状況を示せ。 ② 従来実施している事業の費用対効果等について、分析や改善も検討された上で、次期計画に反映させていくと認識して良いのか。	市 長
	2 学校施設的环境整備について	(1) 学校施設における環境整備（愛校作業）は、情操教育の一環として有意義なものであるが、少子化傾向の現状を踏まえると教職員及び保護者の負担増につながっているように感じる。 現状の認識と、改善策について問う。	市 長 教育委員長
	3 移住定住促進事業について	(1) 本年度、新規事業である移住定住促進事業において、現在までの問い合わせの状況を示せ。 (2) 事業の周知及び広報のあり方は適切か。 (3) 補助対象地区での空き家並びに土地に関する情報提供を併せて実施する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
4東 宏二	1 港湾整備について	(1) 平成23年5月に国際バルク港湾に指定された。その後の状況と、今後の振興策について、また、TPP交渉参加が港に与える影響について問う。 (2) 港湾振興には道路網の整備が必要であると考えますが、都城志布志高規格道路及び東九州自動車道の今後の見通しを示せ。	市 長 市 長
	2 枇榔島の活用について	(1) 枇榔島は、観光や教育行政に活用されていると思うが、栈橋の復旧も含め、今後の見通しは。	市 長 教育委員長
	3 環境行政について	(1) ポイ捨て防止条例制定後の現状と、今後の取り組みについて問う。 (2) 高齢化が進展する中、ごみ出し方法について考え方を問う。	市 長 市 長
5小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 5月31日付けの南日本新聞社の憲法アンケートの回答について問う。 (2) 退職金の廃止について、次の任期中に結論を出すとのことであったが、どのように検討したのか。	市 長 市 長
	2 住民サービスについて	(1) 本庁舎の移転について、現状の認識を問う。 (2) 業務量調査の結果をどのように分析したのか。 (3) 住民と関係の業務量は把握できているのか。	市 長 市 長 市 長
	3 財政について	(1) 合併に伴う交付税特例措置が終わりをむかえる。影響をどう試算しているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5小園 義行	4 福祉行政について	(1) 生活保護基準引き下げに伴う影響をどう受け止めているか。 (2) 年少扶養控除廃止に伴う市の増収分について問う。 (3) 現在、中学校卒業までの医療費無料の助成を高校卒業まで拡大する考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 市 長 教育委員長
6鶴迫京子	1 消防行政について	(1) 平成20年9月議会において、女性消防団への入団について、「市の消防団幹部会等の意見を聞き、また、先進地の事例も参考にしながら検討していきたい」との答弁であったが、その後の進捗状況は。 (2) 本市でも松山市などの先進地にならない、早急に女性消防団の設置に取り組むべきであると考えているかどうか。	市 長 市 長
	2 旧3町の連携について	(1) 平成24年12月議会において、買い物などの交通弱者対策について、「早い段階で、安心できるような体制を構築していきたい」との答弁であったが、旧3町間の乗り入れ可能な、デマンド方式の乗り合いタクシーの運行形態を検討されたのか。その後の進捗状況は。 (2) 本庁と志布志支所・松山支所の、三庁舎間を結ぶ循環バスの運行は考えられないか。 (3) 高齢者の免許返納者への特典についての取組状況を問う。 (4) 荒野を美田に変えた郷土の恩人である開田の父と呼ばれる野井倉甚兵衛氏や馬場藤吉氏の歴史を学び、功績をたたえるために、水の広場「有明町開田の里公園」内に農業歴史資料館や開拓精神の碑があり、他に体験館・伝習館もあるが、特に、志布志・松山の市民への周知と啓発が足りないと思うが、どう考えるか。 また、このことは、環境・道徳などの教育面、芸術やまつり・イベントなどの観光面など多種多様に、今以上に市内外に向けて、幅広い利活用を促進するべきであると考えているが、見解を。	市 長 市 長 市 長 市 長 教育委員長
7下平晴行	1 自主財源確保及び次世代エネルギーパーク等の取り組みについて	(1) 公用地の遊休地にメガソーラーを設置して自主財源の確保を図る考えはないか。 (2) 蓬の郷公園の広場にメガソーラーを整備して、志布志市の豊かな水と太陽の恵みを体験できるエネパークゾーンを設け、再生エネを通じて志布志の自然・環境を広く知ってもらおう機会を広げる考えはないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年6月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7下平晴行	2 企業誘致推進支援について	(1) 薩摩川内市が経済の浮揚及び雇用の増大を図るため、「地域成長戦略促進補助金」を創設して企業誘致を積極的に進めているが、本市は企業誘致推進支援策をどのように考えているか。	市長
	3 堆肥場設置の助成について	(1) 有機農業の取り組みを拡大させるため、畜産農家の糞尿処理と併せて完熟堆肥化を図る堆肥場設置の支援はできないか。	市長
	4 地域情報通信基盤整備推進事業の利活用について	(1) 地域情報通信基盤整備推進事業を福祉、農業、教育等に利活用はできないか。また、本事業を推進する利活用プロジェクトの取り組みについて問う。 (2) 議会中継を支所の庁舎内放送はできないか。また、委員会中継についての考え方はどうか。	市長 教育委員長 市長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年9月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 坂元修一郎	1 農業振興について	(1) 地球温暖化の影響とみられる環境変化による異常気象に加え、桜島降灰等、農家の苦悩は絶えないが、整備された畑かんは、干ばつや降灰洗浄等に大きな効力を発揮している。本市農業の現状と畑かん有効活用について問う。	市 長
		(2) 国からの交付金が減る中、地域には自立する経済力が求められている。地産のお茶を飲み健康増進につながれば、医療費の削減ができ、大きな経済循環につながる。10月に開催される全国茶サミット等によるお茶の消費拡大と健康増進に向けた取り組みについて問う。	市 長
		(3) 日本各地で微生物を利用した環境保持や農業への微生物農薬等の取り組みが始まっている。環境を守りながら安全、高品質が求められる中で、微生物の利活用について問う。	市 長
2 長岡耕二	1 企業誘致の取り組みについて	(1) 企業誘致の取り組みについて、基本的な考え方を問う。 ① 本市から企業への働きかけはなされているか。 ② 企業から本市への問い合わせはどのくらいあるか。 ③ 今後、企業誘致の進め方を問う。	市 長
	2 水道事業について	(1) 市水道が通水していない地域について質問したが、「研究させてほしい」との答弁だった。その後の経過を問う。 (2) 地域の現状をどう捉えているか。 (3) 負担金軽減などの問題をどのように考えているか。	市 長 市 長 市 長
3 金子光博	1 定住促進について	(1) 定住促進住宅用地の分譲の現状について問う。 (2) 今後の事業に対する取り組みと考え方について問う。	市 長 市 長
4 岩根賢二	1 一般質問に対する答弁に基づくその後の取り組みについて	(1) 平成23年9月定例会の民間の共同墓地や公民館の水道料金の在り方についての質問に対して、「時間をいただき、内部で協議をさせていただきたい」との答弁であったが、その後どのような協議がなされたのか。 (2) 平成24年6月定例会の空き家対策条例の制定の質問に対して、「24年度内にはまとめた」との答弁であったが、その後どうなっているか。	市 長 市 長
	2 疫病予防対策について	(1) PSA検査（前立腺がん検査）を無料化して、早期発見、早期治療につなげる考えはないか。 (2) 特定健診による検査結果を疫病予防対策にも活かしていくべきではないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5小野 広嗣	1 企業誘致について	(1) 企業誘致は、雇用拡大や税収増加、地域産業の活性化等の経済効果をもたらす。本市では、企業誘致の適地の確保は進みだしたが、今後、誘致を進めるに当たって、具体的にはどのように取り組んでいくのか。	市 長
	2 ICT自治体の取り組みについて	(1) ウィンドウズXPのサポート期限が来年4月9日に切れる。これ以降は、セキュリティ更新プログラムの提供が終了し、情報漏れなどの危険性が高まることになる。本市のウィンドウズXP対策はどうなっているのか。	市 長
		(2) 災害時の行政事務の根幹をなす行政システムの事業継続のために、どのような対策がなされているのか。 (3) マイナンバー法が本年5月に公布され、年金、労働、福祉、医療等の社会保障分野と税分野、また災害対策分野等、広範囲の利用が想定されている。このマイナンバー制度により本市の行政システムにどのような影響があるのか。	市 長 市 長
3 教育行政について	(1) 文部科学省は来年度から、小中高校生らの学力向上に向け、土曜授業を行う公立校への補助制度を設ける方針を決めた。この方針に対する、教育委員会の今後の取り組みと考え方を問う。	教育委員長	
6丸山 一	1 市有財産の跡地利用について	(1) 南部消防署跡地利用について問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 現在、通山小学校の通学路をゾーン30により対応しているが、市内の他の学校周辺において、取り組む考えはないか。	市 長 教育委員長
	3 防災行政について	(1) 平成23年6月議会一般質問のその後の対応について ① 急傾斜避難階段の整備について問う。 ② 津波対策用標高表示板の増設は考えられないか。 ③ 通山小学校などの高台移転について問う。	市 長
7平野 栄作	1 人・農地プランについて	(1) 少子高齢化に伴う定住促進策及び地域農地の集積・効率的な活用の側面から、事業の推進を早急に実施していくべきと考える。 今後の普及啓発策をどのように考え、実施していくのか。	市 長
	2 SNSの活用と課題について	(1) 近年ツイッター等による非常識な写真等の投稿や、LINEによるいじめ等SNSを利用した様々な問題が報じられ、社会経済に大きな影響を及ぼしている。 本来ならば画期的なツールであるが、モラルが欠如した一部の個人利用者によるものがその原因である。 このような事象の拡散防止に対する取り組みが急務となるが、具体策を検討しているか。	教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7平野栄作	3 グリーンツーリズムについて	(1) 志布志市“志”ツーリズム協議会は23年度11月設立し、各種研修等を通じて、受け入れ体制を構築し実績も積み上げてきている。 会員の中には農家民泊を開業する方々も増えており、今後交流人口を支える大きな受け皿となりえると考える。 ① モニターとして市内の児童受け入れを行っているが、この評価をどのように捉えているか。 ② 市として横断的な支援はできないか。 (市・総合観光案内所のホームページでの掲載等)	市 長 教育委員長
8小園義行	1 政治姿勢について	(1) 6月議会で本庁舎問題について合併から8年、そしてもうすぐ10年を迎えるので、協議検討したいと答弁されたが、今後の具体的な対応を問う。	市 長
	2 嘱託職員の待遇改善について	(1) 一時金支給制度や正職員と同じように夏季休暇の実施、最低賃金の見直し等対応を問う。	市 長
	3 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金制度を見直し、75才以上のすべての人に支給する考えはないか。	市 長
	4 児童福祉について	(1) 子ども医療費助成事業を高校卒業まで拡げる考えはないか。	市 長 教育委員長
	5 福祉行政について	(1) 9月は障害者雇用支援月間である。障害者への理解、啓発に対する取り組みの現状はどうか。 (2) 障害児保育の実情はどうか。 (3) 障害者雇用の実情はどうか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	6 学校教育について	(1) 就学援助の対象範囲が拡大された事に伴い、準要保護児童・生徒にも拡げる考えはないか。	市 長 教育委員長
9鶴迫京子	1 国民文化祭について	(1) 全国規模の文化祭が、平成27年度は鹿児島県で行われるが、内容・本市の取り組み状況・今後の流れはどうか。 (2) 文化祭のもたらす志布志市への相乗効果をも期待するところであるが、志布志の芸術・文化のアピールを最大限にするために、行政のやるべき多くの課題が見えてくると考える。県外や市民への周知の在り方も含めて、どのように取り組む考えか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 防災・減災について	(1) 本市の地域防災計画の見直し作業の進捗状況はどうか。その中で最重要課題をどのように捉えているか。そして、その対応策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年9月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 鶴 迫 京 子	3 政治姿勢について	(1) ひとり金婚式・敬老祝金・本庁舎の位置・給食費未納問題・祭り・夏井海水浴場付近の景観や環境問題など、寄せられる市民の多くの声に、市長は、真摯に向き合ってきたと考えるか。また、次期の市長選の政策(マニフェスト)に盛り込む考えはないか。	市 長 教育委員長
10 福 重 彰 史	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木～志布志線、弓場ヶ尾地区の改良計画は、どのようになっているか。 (2) 県道塗木～大隅線、松山支所前の改良について、見通しを問う。	市 長 市 長
	2 鳥獣害対策について	(1) 被害状況はどのようになっているか。 また、対策について問う。 (2) 鳥獣被害対策実施隊の設置の考えを問う。	市 長 市 長
	3 教育行政について	(1) 中学校自転車通学における自転車購入の負担軽減へ向けた助成策の考えはないか。 (2) 尾野見小学校グラウンド整備に対する対応策を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	4 老人福祉施設の維持管理について	(1) 老人憩いの家の充実を図るため、施設改善の対策はどのようになっているか。	市 長
	5 地区公民館の管理について	(1) 泰野地区公民館の学童保育の部屋が老朽化し、危険な状態である。早急な対策をする考えはないか。	市 長 教育委員長
11 下 平 晴 行	1 行政システムについて	(1) 「行政は最大のサービス産業」と言われているが、実際市民に対するサービスが行われていると思っているか。	市 長
	2 環境対策について	(1) 養豚場のし尿等の垂れ流しで、地域住民への悪臭や環境負荷を与えている。また、青少年育成活動やキャンプ等、子供たちが水と親しむことができない環境になっている。対策について問う。 (2) 簡易の尿溜槽を設置して満杯になっているため、悪臭や垂れ流しの要因になっている。管理の在り方について問う。	市 長 市 長
	3 福祉対策について	(1) 23年6月定例会のワンコインサポート事業の取り組みについての質問に対して、現状の福祉課事業で対応できると答弁しているが、実態をどう捉えるか。	市 長
	4 観光資源の活用について	(1) 宝満寺跡及び宝満寺観音堂を市は現在、どのように認識しているか。 (2) 観光振興として宝満寺史跡公園をどのように活用していくかビジョンを示せ。また、観光客を呼び込むイベント等の考えはあるか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 西江園 明	1 政治姿勢について	(1) 市長選挙に本田市長を含め数名が立候補を表明しているが、これまでの市政運営を含め、この状況をどう考えるか。	市 長
	2 本庁舎移転について	(1) 志布志市の本庁を志布志町に移転する考えはないか。	市 長
	3 指定管理者との協定(契約)の在り方について	(1) 指定管理者制度となって、どのような効果があったか。 (2) 指定管理料の額の決め方について問う。 (3) 指定管理の相手がNPOとなったことにより、行政の関与は、昨年度までと、どのように変わったのか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	4 市道改良の進捗状況について	(1) 六月坂・安良線道路改良工事の裁判の状況について問う。 (2) 判決後の工事の見込みについて問う。 (3) 水ヶ迫線道路改良工事の進捗状況について問う。 (4) 水ヶ迫線道路改良工事に伴う避難路の設置について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
2 毛野 了	1 農業振興の施策について	(1) 耕作放棄地解消の取り組みの現状と対応策を問う。	市 長
	2 畜産対策について	(1) 家畜伝染病の対応と対策について問う。	市 長
	3 道路行政について	(1) 県道塗木大隅線、柿ノ木志布志線の現状と今後の見込みについて問う。	市 長
		(2) 市道町原・弓場ヶ尾線の現状と今後の見込みについて問う。	市 長
	4 社会体育施設整備について	(1) 武道館の現状と整備について問う。	教育委員長
5 産業振興と企業誘致について	(1) 市所有の遊休地を活用した企業誘致を図る考えはないか。	市 長	
3 小野 広嗣	1 詐欺被害防止対策について	(1) 振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺被害の認知件数は増加傾向にあり、その手口はますます巧妙になってきている。今後の更なる対策強化のためにも、警察・行政・地域団体等、社会が一体となった詐欺撲滅の機運を醸成することが必要不可欠ではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成25年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野広嗣	2 保健行政について	(1) 今年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりとして、レセプト（診療報酬明細）・健康診断情報等を活用し、意識づけ、保健事業、受診勧奨などの保健事業を効果的に実施していくために作成する「データヘルス計画」の策定が盛り込まれた。本市も積極的に導入に向けて検討すべきではないか。 (2) ジェネリック医薬品の周知については、本市でも取り組んでいるが、ジェネリック医薬品の利用促進を図った結果、薬剤費の削減に大きな効果を得た先進自治体もある。本市のジェネリック医薬品の利用促進に向けた取り組みについて問う。	市 長 市 長
	3 教育行政について	(1) 中学校の統合により平成26年4月から、志布志中学校・田之浦中学校・出水中学校がひとつになるが、統合校となる志布志中学校の現状に、児童・保護者の中にも不安が広がっている。学校・家庭・地域の連携をはじめとした青少年育成の在り方について問う。	教育委員長
4鶴迫京子	1 消防行政について	(1) 6月議会にて、女性消防団の設立について質問したが、その後の進捗状況を問う。 (2) 災害時や避難訓練における避難場所等について、苦情や意見はなかったか。また、今後の防災に対する考え方について問う。	市 長 市 長
		5小園義行	1 政治姿勢について
	2 嘱託職員の待遇改善について	(1) 一時金支給制度や正職員と同じように夏季休暇の実施等、考えを問う。	市 長
	3 経済対策について	(1) 住宅リフォーム助成事業を継続して取り組む考えはないか。あわせて店舗型リフォーム助成事業は考えられないか。	市 長
	4 児童福祉について	(1) 子ども医療費助成事業を高校卒業まで拡げる考えはないか。	市 長 教育委員長
	5 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金制度を見直し、75才以上のすべての人に支給する考えはないか。	市 長
	6 学校教育について	(1) 就学援助の対象範囲が拡大されたことに伴い、準要保護児童・生徒にも拡げる考えはないか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広 嗣	1 所信表明について	(1) 市長の目指す、日本一輝きつづける「ふるさとづくり」の集大成とは、具体的にどのような姿を指すのか。	市 長
		(2) 大型店の進出や後継者不足により、空き店舗の状態が続いている既存商店街の活性化対策について問う。	市 長
		(3) 住み慣れた地域で介護や医療、生活支援などを受けることができる「地域包括ケアシステム」の構築へ向けた取り組みについて問う。	市 長
		(4) 「限られた人材で、より質の高い行政サービスの提供に向け、接遇意識の向上や、職員の意識改革、能力開発を推進する」とあるが、そのための職員のやる気を引き出す仕組みづくりについてはどのように考えているのか。	市 長
		(5) 志の心を育むための人材育成システムの創出や本市独自の教育システムの構築について具体的に示せ。また、その実現のためには、教育委員会の果たす役割が大きいと思うが、新教育長の抱負を問う。	市 長 教育委員長
2 野 村 広 志	1 通学路総点検について	(1) 本市における通学路の安全点検・危険箇所の把握状況について問う。 (2) 通学路交通安全プログラムを策定する考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 医療行政について	(1) 所信表明でも示された、曾於医師会立病院の在り方等を含む、地域医療体制及び緊急医療体制の考え方について問う。	市 長
3 青 山 浩 二	(取り下げ)		
	(取り下げ)		

一 般 質 問 通 告 書

平成26年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4平野 栄作	1 防災行政について	<p>(1) 東日本大震災発生から、3年が経過しようとしているが被災地の復旧復興は遅々として進んでいないのが実情のようである。</p> <p>また、時間が経過するにつれ震災の記憶が薄れていく事が、今後の対策に大きな影響をおよぼすのではないかと危惧されるところである。</p> <p>近い将来発生が予測されている南海トラフ等の地震への備えとして自助・共助の意識高揚が不可欠であると思うが、以下の点について問う。</p> <p>① これまで実施した、地震津波避難訓練の成果及び反省点をどのように今後の訓練等に活かしていくのか。</p> <p>② 今後の各地区自主防災組織活動支援策をどう進めていくのか。</p> <p>③ 総務省が消防団の装備基準見直しを行ったが、本市ではどのような観点から整備を進めていく考えか。</p>	市 長
	2 移住定住促進対策について	<p>(1) 県内では同様の事業を実施している市町村が多数ある中、宅地分譲まで手掛けているところは少ない状況にある。</p> <p>市が窓口となって土地の仲介までを行わないと、事業そのものが成り立たない状況にある。</p> <p>土地開発公社を活用して、空き地や雑種地等を宅地に造成するなどの取組を行い、事業推進につなげる事は考えられないか。</p>	市 長
	3 道路行政について	<p>(1) 通山校区では、ゾーン30が導入され、児童生徒の安全性が一段と確保されてきているものと認識している。他の校区でも通学路の安全性が問題となる中、該当となるべき道路が存在しているが、これらへの対応をどう考えているか。</p>	市 長 教育委員長
5岩根 賢二	1 政治姿勢について	<p>(1) 今回の市長選挙の経過と結果をどのようにとらえ、今後の市政運営に反映させる考えか。</p>	市 長
	2 所信表明について	<p>(1) 「学力日本一を目指した取り組み」の具体的な内容と教育委員会の考え方について問う。</p> <p>(2) 環境志布志モデルを「国際協力機構 (JICA) の事業を活用しながら、国内外への情報発信に取り組む」とあるが、分別困難者対策や不法投棄対策など、身近なごみ問題に取り組む必要があると思うがどうか。</p> <p>(3) 「あいさつ日本一の市役所」については、以前から取り組みがなされているが、その到達度と今後の取り組みをどのように考えているか。</p>	市 長 教育委員長 市 長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6小園義行	1 政治姿勢について	(1) 選挙公約で市庁舎の移転問題について「現在の位置にこだわるものではありません」と述べている。考えを問う。	市 長
	2 児童福祉について	(1) 子ども医療費助成事業を高校卒業まで、広げる考えはないか。 (2) 障害をかかえている児童の放課後児童健全育成事業の在り方を問う。	市 長 市 長 教育委員長
	3 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金支給事業について節目支給を見直し、75才以上全員に支給する考えはないか。	市 長
	4 学校教育について	(1) 就学援助の対象範囲が拡大されたことに伴い、準要保護児童・生徒にも広げる考えはないか。	市 長 市 長 教育委員長
7鶴迫京子	1 福祉行政について	(1) 本庁・志布志支所・松山支所・文化会館等の公共施設の洋式トイレを、高齢者や身障者・病弱者の方を思いやり、利便性のあるやさしい温水洗浄便座に切り替える考えはないか。	市 長
	2 保健行政について	(1) 歯周病は歯を失うだけでなく、生活習慣病を悪化させる全身の疾患と関係するこわい病気であるため、40歳・50歳・60歳・70歳の節目年齢の人を無料にするなど多くの市で、歯周疾患検診が行われている。 本市でも実施する考えはないか。 (2) 母子健康手帳に無料受診券を添付し、妊婦歯周疾患検診を女性の健康支援として実施する考えはないか。	市 長 市 長
	3 男女共同参画について	(1) 男性職員の課長が3月で多数、退職されると聞く。女性職員は労働力の減少を補うだけでなく能力を発揮することで、新たなイノベーションを生み出し、男性も働きやすい組織に変える。女性の管理職登用の機会について、市長は所信表明で触れられていないが、いまだ女性課長のいない本市の現状と今後をどのように考えるか。 (2) 女性消防隊 (仮称) について、具体的な活用策と今後の推進策を問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1小辻一海	1 環境行政について	(1) 不法投棄・ポイ捨てが相変わらず減少していないが、現状の認識と今後の取り組みについて問う。 (2) 高齢者等のごみ出しに負担感が増しているとの声を聞くがその対策を問う。 (3) 資源ごみ集合収集を有明地区で実施する考えはないか。	市長 市長 市長
	2 学校施設について	(1) 閉校になった田之浦・出水中学校の今後の活用策について。 ① 跡地利用と地域の活性化についてどのように考えているか。 ② 学校の備品・付属設備等の活用はどのように考えているか。 (2) 休校中の四浦小学校の今後の考え方を問う。	市長 教育委員長 市長 教育委員長
2野村広志	1 雇用創出と若者定住化政策について	(1) 雇用の創出につながる臨海工業団地の企業誘致について問う。 (2) 地域おこし協力隊の活用による定住化政策について問う。	市長 市長
	2 施政方針について	(1) 志ブランド確立への取り組みについて問う。 (2) 茶業振興について。 ① 茶レンジ風邪なし運動等の成果と今後の方針・課題について問う。 ② 茶機能実証事業など茶消費拡大対策の成果と今後の取り組みについて問う。	市長 市長 教育委員長
	3 消防行政について	(1) 各消防方面隊組織の再編への取り組みについて問う。 (2) 地域消防・自衛消防の状況把握について問う。 (3) 消防団員の福利厚生について問う。	市長 市長 市長
3長岡耕二	1 中学校の跡地利用について	(1) 出水・田之浦中学校の跡地利用について。 ① 市長の基本的な考えを示せ。 ② 地域の意見をどのようにくみあげていくか。 ③ 今後どのような形で進める予定か。	市長
	2 水道事業について	(1) 田床・柳井谷自治会の進捗状況を示せ。 (2) 事業実施に伴う財源はどのように考えているか。	市長 市長
4青山浩二	1 スポーツ振興策について	(1) 今回の県下一周駅伝大会についての感想と今後の対応策について問う。 (2) 2020年・鹿児島国体に向けたサッカー会場の今後の対応策について問う。	市長 教育委員長 市長 教育委員長
	2 所信表明について	(1) 3月議会の所信表明において「小中一貫教育の導入」とあるが、具体策を問う。	市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5八代 誠	1 市有林を含む林業振興について	(1) 戦後植林され、伐採期を迎えた公有財産である市有林の管理及び整備について問う。 (2) 森林資源の無駄のない再活用について問う。	市 長 市 長
	2 学校給食の現状について	(1) 本市の学校給食の現状（全般）について。 ① アレルギー対策について問う。 ② 給食費未納対策について問う。	教育委員長
6小野 広嗣	1 人口減少対策について	(1) 民間有識者らによる日本創成会議は先月、2040年に若年女性の割合が半減し、消滅する可能性が高い自治体が896自治体にのぼるとの試算を発表し、波紋を呼んでいるが、市長は日本創成会議の提言をどのように受け止めたのか。 (2) 人口減少に歯止めをかけるためには、若者が結婚し、子どもを産み育てやすい環境をつくるための政策を集中することが必要であり、雇用・生活の安定や、結婚・妊娠・出産支援、働き方の改革等、総合的な施策の展開が急務である。本市では、今後どのような対策を考えているか。	市 長 市 長
	2 防災・減災対策について	(1) 昨年12月に、「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が成立した。そこには地方公共団体などに対し、計画策定や施策についてその責務が明記されている。災害から生命を守る計画策定に向け、本市の計画策定はどう考えているのか。また今後、どのような取り組みを行うのか。	市 長
	3 イベントにおける安全対策について	(1) 昨年8月に京都府福知山市において、花火大会の会場で露店の爆発事故が起き、楽しいはずの花火大会が悲惨な事態となった。イベント開催時の来場者への安全確保は必ず行わなければならないが、本市ではどのような考え方に立ち、対策を行っているのか。	市 長
	4 図書館行政について	(1) 施政方針では図書館運営について、「図書館へ行こう！」をキャッチフレーズに本好きな子どもを育てる環境づくりや図書館をより身近に感じられる読書活動の推進に努めるとあるが、今後さらに、図書館利用の推進を図るためにどのような効果的な取り組みを考えているのか。	教育委員長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 玉垣大二郎	1 地域振興について	(1) 都城志布志高規格道路の志布志道路部分の建設計画において代替道路建設が示されたが、その計画状況とこの地域の今後の開発について問う。 (2) 町原地区に新たな市道の建設や生活道路を整備する考えはないか。 (3) 町原地区に存在する耕作放棄地を有効利用する考えはないか問う。	市長 市長 市長
	2 防災行政について	(1) 高齢者や買い物客の避難のため、稚子松跨道橋への階段を建設できないか問う。 (2) 防災行政無線の難聴地域の解消を図るべきではないか。	市長 市長
8 西江園 明	(取り下げ)		
	(取り下げ)		
	(取り下げ)		
	(取り下げ)		
9 平野 栄作	1 環境行政について	(1) 外来植物のメリケントキンソウが、関東以西に広く分布域を拡大してきており、県内においても全域的に生育が確認されている。 このままでは、憩いの場である緑地公園での散策やサッカー等の屋外スポーツ、または学校での体育等の授業にも影響が大きくなるものと危惧されるところであるが、以下の点について問う。 ① こどもエコクラブチームMK Tの活動が新聞、市報に掲載されているが、この活動をどう受け止めているか。 ② 市内における発生状況を把握しているか。 ③ 植物の生態等の周知を図る必要があるのではないか。 ④ 部分的には駆除が行われているが、広域的に連携した取り組みが必要と考える。効率的・効果的な対策をどう推進していく考えか。	市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9平野栄作	2 道路行政について	(1) 各自治会では年1回、周辺道路の伐採・清掃作業を実施している。 高齢化の進展に伴い、作業が困難となる自治会も出てきている中、作業を継続している自治会において、近年作業中の怪我等事故の発生を耳にするが、市としての安全対策面への配慮や事故保障について問う。 また、今後更に高齢化が進展していくが、自治会における道路清掃作業の方向性を示せ。	市 長
10丸山 一	1 環境対策について	(1) 公の施設におけるアスベスト対策について現状を問う。 (2) 事業者への指導はどうなっているか。	市 長 教育委員長 市 長
	2 入札執行について	(1) 不調となった入札執行についてどのように考えるか。	市 長
	3 道路行政について	(1) 市道安楽中園線の道路改良について問う。	市 長
11東 宏二	1 グラウンドゴルフ専用場について	(1) スポーツ振興計画（案）では、平成28年度の目標となっているが、前倒しする考えはないか。 (2) 場所の選定は終わっているのか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 枇榔島について	(1) 平成23年の台風で棧橋が破損しているが整備する考えはないか。	市 長
	3 ふるさと納税について	(1) 県内26市町村で特産品等を送付しているが、本市は特産品等を送付する考えはないか。	市 長
12小園義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎あり方検討委員会の設置等についての取り組みについて問う。	市 長
	2 教育行政について	(1) 地方教育行政法改正案についてどのように受けとめているか。 (2) 学力向上日本一を目指した教育推進のため、「確かな学力の定着に向けた検討委員会」（仮称）を設置とあるが考え方を問う。 (3) 就学援助費が拡充されたが準要保護世帯にもひろげる考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 本庁・支所、給食センター、保育所や一部事務組合で働く職員の業務のあり方をどのように考えているか。 (2) 勤務年数の実態を問う。 (3) 期末手当の支給についてどのように検討したのか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	4 児童福祉について	(1) みどり保育所の民間移管の進め方は、保護者との合意を前提に進めるべきと考える。その後の対応について問う。	市 長
	5 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金を75歳以上すべての高齢者に支給する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 西江園 明	1 物品購入や工事関係について	(1) 物品購入や工事の発注は市内業者を優先すべきではないか。	市 長
	2 職員の研修について	(1) 職員の資質向上のために研修の充実を図る考えはないか。 (2) 青少年研修事業において職員の随行をやめたのはなぜか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 嘱託職員の待遇改善について	(1) 国も消費拡大を提唱している。嘱託職員にも賞与を支給すべきではないか。	市 長
	4 ふるさと納税について	(1) 6月定例後の推進策の方向性について問う。 (2) この制度の充実した推進を図るため、市内外への周知のあり方について問う。	市 長 市 長
2 野村 広志	1 農業振興について	(1) 農政改革による農地中間管理事業など、本市への影響について問う。 (2) 農政改革による農業所得の影響について問う。 (3) 新規就農の現状について問う。 (4) 日本型直接支払制度（多面的機能支払交付金）について問う。 (5) 畜産振興対策について問う。	市 長 農業委員長 市 長 市 長 市 長
	2 保健・福祉行政について	(1) 法律改正に伴う介護保険制度について問う。 (2) 介護施設・特養老人ホームの現状について問う。 (3) 認知症施策の見守りシステム構築について問う。	市 長 市 長 市 長
3 小野 広嗣	1 防災対策について	(1) 今夏はゲリラ豪雨、経験のない大雨、大型台風とまさに災害列島そのものの様相を呈した。特に広島市の土砂災害の被害は甚大である。このような異常気象の時代に、災害から住民の生命と財産を守るための我がまちの防災対策について問う。	市 長
	2 福祉・保健行政について	(1) 生活困窮者に対して、明年4月から「生活困窮者自立支援法」が施行される。本年はその準備期間となるが、本市では法律の趣旨をどのように受け止めて取り組んでいくのか。 (2) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が昨年6月に成立した。施行は平成28年となっているが、残すところ1年半であり、市として法律施行までに、この法律の趣旨を実効あるものにするための取り組みをスタートさせておくべきではないか。 (3) 本年6月に「アルコール健康障害対策基本法」が施行された。不適切な飲酒は、健康被害とともに、家族や社会に深刻な問題をもたらすとして、被害防止を計画的に進めるための国、自治体、事業者、国民などの責務が定められている。この法律を実効あるものにするための具体化はこれからだと思うが、本市の現状について示せ。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野 広嗣	3 教育行政について	(1) 総務省の青少年のインターネット利用と依存傾向に関する調査の結果を見ると、インターネット依存は、睡眠時間や勉強の時間を犠牲にしている状況が見られ、それにより健康面だけでなく、学習面にも影響が出ている。本市の現状及び、今後の予防と対策について問う。	教育委員長
4八代 誠	1 うそ電話詐欺撲滅について	(1) 本市の取り組み状況と今後の対応策について問う。	市 長
	2 ごみの減量化とリサイクルの推進について	(1) 近隣自治体との共同処理を念頭とした、広域的焼却施設を設置する考えはないか。	市 長
		(2) 本市の一般廃棄物処理実態調査に伴う調査結果について問う。	市 長
		(3) 分別困難者及びごみ出し困難者に対する支援について問う。	市 長
5平野 栄作	1 畜産振興策について	(1) 高齢化と後継者不足により、繁殖農家戸数・繁殖雌牛頭数の減少傾向が続いている。 また、繁殖農家戸数の50%以上が70歳以上の階層にあることから、今後減少傾向に、より一層拍車がかかると推測されるが、この現状をどのように認識し対策を講じていく考えかを問う。	市 長
	2 移住定住促進について	(1) 事業を推進する上で、基礎調査（空き地・空き家情報等）の実施が必要となると考える。 湧水町では空き家管理にシルバー人材センターを活用しているが、移住定住促進策の基礎調査をセンターに委託する考えはないか。	市 長
	3 道路行政について	(1) 自治会による市道等の伐採作業が、高齢化等により実施できなくなるケースが増加していく事が考えられる。 将来的に相当の距離になると思われるが、経費面等の対応策をどのように考えているか。	市 長
6丸山 一	1 農業行政について	(1) 市内の土地改良区が管理運営する施設の保全等について、土地改良区、水利組合への市の対応策を問う。	市 長
	2 ブランド推進について	(1) 日本ミツバチを本市のブランドとして取り組む考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7持留忠義	1 茶業振興について	(1) 茶業においては3年続きの価格低迷であり、全体的に経営が厳しい状況である。価格補填等の対策はできないか。また、6月に述べられた施政方針の中で、生産農家の経営安定と農業所得向上を目指す、とあるがその具体策を問う。	市 長
	2 畜産振興について	(1) 畜産振興について、牛の頭数が減少しているが、今後の増頭対策をどのように考えているか。	市 長
	3 道路行政について	(1) 県道東原大崎線の道路改良計画を問う。 (2) 県道志布志有明線の道路改良進捗を問う。	市 長 市 長
	4 消防行政について	(1) 定数に達していない分団があるが、その対策を問う。	市 長
8福重彰史	1 道路改良について	(1) 県道塗木大隅線、松山支所前の改良について、その考え方と、交差する市道松山小学校方面への改良の見通しを問う。 (2) 県道柿ノ木志布志線弓場ヶ尾地区の改良の見通しを示せ。	市 長 市 長
	2 公契約について	(1) 公共工事や委託業務を合わせ、年間およそ何件くらい発注があるか。また、その総額はどれくらいか。 (2) 厳しい人材確保の背景を受け、国は設計労務単価の引き上げを行っているが、公共工事による実態をどう把握しているか。 (3) 公契約条例を制定する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	3 個人情報保護について	(1) 第三者に交付した住民票の写しなどを本人に知らせる「本人通知制度」の導入の考えはないか。	市 長
	4 医療行政について	(1) 曾於医師会立病院の充実・強化に向けた取り組み状況を問う。	市 長
9小辻一海	1 防災対策について	(1) 広島土砂災害など最近の豪雨災害から見た本市の防災対策の取り組みについて問う。 (2) 本市の防災教育と避難訓練の取り組みについて問う。 (3) 田之浦・四浦分団消防詰所の移転について問う。	市 長 市 長 教育委員長 市 長
	2 支所機能の再編について	(1) 本庁と志布志支所の機能分担で支所の権限を強化する考えはないか。	市 長
	3 教育行政について	(1) 児童生徒の携帯電話、スマートフォン等の安全運用対策について問う。 (2) 子どもを守るためのネット依存対策について問う。	教育委員長 市 長 教育委員長
	4 国民文化祭について	(1) 本市は、来年開催される第30回国民文化祭で志エッセイフェスティバルを計画されているが取り組み状況について問う。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10岩根賢二	1 防災対策について	(1) 「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の中で、志布志市は、深刻な津波被害が懸念される「津波避難対策特別強化地域」に指定された。このことを受けて、特に地震・津波対策として以下の事項に取り組む考えはないか。 ① 避難路の確保と周知策の徹底。 ② 歩道橋を利用した避難タワーの設置。 ③ 一般住宅の耐震診断や耐震補強工事に対する補助制度の創設。	市 長 教育委員長
	2 介護予防対策について	(1) 脳の活性化に有効といわれている「健康マージャン」を介護予防の一環として、サロン活動や生涯学習等で導入する考えはないか。	市 長 教育委員長
11青山浩二	1 学校施設について	(1) 小中学校の普通教室へのエアコン設置について問う。 (2) 内閣府が推進しているPFI事業（民間資金等活用事業）を取り入れる考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
12小園義行	1 政治姿勢について（本庁舎問題）	(1) 本庁舎在り方検討委員会の取り組み状況はどうか。 (2) 緊急時における通信手段の確保はどうか。	市 長 市 長
	2 納税対策について	(1) これまで税の延滞金に対する免除について質問し、前に進めると答弁しているが、具体的な取り組みについて問う。	市 長
	3 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 総務省の通知をどのように受け止めているか。 (2) 期末手当の支給について、どのように検討されているのか。	市 長 市 長
	4 福祉・保健行政について	(1) 障害をもつ子供の放課後児童健全育成事業についてどのように取り組まれているか。 (2) 医療法に基づいて、本市における現状認識と今後の取り組みを問う。	市 長 教育委員長 市 長
	5 学校教育について	(1) 普通教室へのエアコンの設置を計画的に進める考えはないか。 (2) 子育て支援の立場から、給食費を無料にする考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
13鶴迫京子	1 医療行政について	(1) 病院やクリニック等で形成されている第1次医療機関である本市の地域医療の現状と、2次医療の中核拠点病院である曾於医師会立病院・有明病院等の曾於地域医療の現状について、認識を問う。	市 長
		(2) 現状を踏まえて医療体制の充実に向け、これまで自治体としてどのように取り組んできたのか。また、これからどのように取り組むのか、今後の展望を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1野村広志	1 教育行政について	(1) 地方教育行政の法律の一部改正に伴い、総合教育会議を設置し、首長は「大綱」を定めなければならないが、その考えを問う。 (2) 学校規模適正化の基本方針に沿い定められた「学校再編基本計画及び第1次実施計画」の検証と今後の方針について示せ。 (3) 確かな学力の定着に向けて、全国学力学習状況調査の通過率、平成28年度に県平均と同程度を目指すとするが、本年度の結果を踏まえ、指導方法について示せ。 (4) 新学習指導要領により、授業時数や指導内容が増加している。学力向上を掲げる中、教職員の配置状況や環境改善についての考えを問う。 (5) 教育投資は未来の子どもたちへの先行投資である。新たな政策における、財源確保についての考えを問う。 (6) 社会問題化している携帯・スマートフォンの使用方法について考えを問う。	市長 教育委員長 市長 教育委員長 市長 教育委員長 市長 教育委員長 市長 教育委員長
2小辻一海	1 閉校後の中学校跡地利用について	(1) 田之浦中、出水中跡地利用の取り組み進捗状況について問う。 (2) 跡地利用を生かした地域活性化の取り組みについて問う。	市長 市長
	2 学校の統廃合について	(1) 有明地区中学校の今後の見通しを問う。	市長 教育委員長
	3 特用林産物振興対策について	(1) 「こころざし花木ブランド」の確立に向けた取り組みについて考え方を問う。	市長
3西江園 明	1 猫の不妊・去勢手術に対する補助金の創設について	(1) 志布志市内で、犬・猫の殺処分はどのくらいあるのか。また、市役所へ年間どのくらいの相談や苦情があるのか。 犬・猫を飼っている人はどのくらいいるのか。 (2) 全国でも多くの自治体が、猫の不妊・去勢手術に補助金（助成金）制度を設置している。当市でも創設すべきではないか。 (3) 市民のモラルについて、どのような取り組みを行っているのか。	市長 市長 市長
	2 温水プールの備品整備について	(1) 世界新記録を出した市民プールとして一躍脚光をあびた市民プールだが、備品については、老朽化や不足が見受けられる状況にある。整備する見込みはあるのか。	市長 教育委員長
	3 臨時・嘱託職員の人事異動について	(1) 特に教育委員会は、一人で業務を任される職場が多い。今後も定期的な人事異動を行うのか。	市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4小野 広嗣	1 空き家対策について	(1) 近年、全国的に空き家が増加傾向にあり、防災防犯上の観点からも問題になっている中、11月19日に「空家等対策の推進に関する特別措置法案」が成立した。法案の成立を受け、本市では空き家対策について今後どのように取り組んでいくのか。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 核家族化や地域コミュニティーの希薄化が進む中、子育て家庭の育児不安が大きくなっている。誰もが安心して妊娠、出産、子育てができるように、時代の変化に即した事業展開が必要である。本市の子育て支援に関する情報発信の在り方について問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 鹿児島県教育委員会は10月9日、県内のすべての公立小中学校で、土曜授業を月に1回行うよう求める方針を明らかにしたが、市長及び教育委員会は、この方針をどのように受け止めているのか。 (2) 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保に向けた教員の多忙化を解消するための取り組みは、推進されているのか。	市 長 教育委員長 教育委員長
5八代 誠	1 医療行政について	(1) 一次医療・二次医療・三次医療の現状と今後の考え方について問う。 (2) 救急医療について問う。	市 長 市 長
	2 都市計画について	(1) 本市都市計画の現状（全般）について ①本市都市計画の基本理念について問う。 ②今後の取り組みについて問う。	市 長
6岩根 賢二	1 地域振興策について	(1) 地域振興策の一環として、県内では、公立高校の存続や生徒確保のための政策を打ち出している自治体がある。 高校の存在は地域活性化にも大きな影響があると思うが、本市でも、そのような観点から支援策を創出する考えはないか。	市 長 教育委員長
7鶴迫 京子	1 地域振興について	(1) 少子化が進み高校再編の中、地域の学校存続のために曾於市や伊佐市、いちき串木野市など、生徒確保のために総合的な支援策を実施している。105年の伝統を誇る県立志布志高校でも来年度、定員割れでクラス減になり十分な教育が行われなくなる懸念があると聞く。地域の生徒を地域で育てることで地域の活性化につながると考える。地域振興策として本市でも、バス代補助など先進事例にならない積極的な支援策は考えられないか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年12月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7鶴迫京子	2 子育て支援について	(1) 子ども・子育て支援法に基づき子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間で1期とする事業計画を作成し、27年度から実施することになっている。現在の進捗状況を示せ。	市長
		(2) 福岡市では、関連事業のほか、少年期から非行や引きこもり対策に持続的に取り組むため、対象者の上限を現在の18歳から30歳まで拡大して、若者の自立支援や、発達障害児の増加を踏まえて家族の支援を含めた対応策等も盛り込んでいる。本市の計画では考慮されているか。	市長
		(3) 鹿屋市の児童養護施設「大隅学舎」では、こどもの短期入所生活支援事業（ショートステイ）を実施している。鹿屋市は事業を導入し業務委託している。保護者の用事の理由は一切問わず、児童の養育が一時的に困難となった場合、24時間体制で短期間（原則7日間）宿泊を伴う預かり事業である。日本一の子育て支援を掲げている本市でも導入すべきであると思うがどうか。	市長 教育委員長
8小園義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎在り方検討委員会の取り組み状況を問う。	市長
	2 高齢者福祉について	(1) 第六期介護保険計画の取り組みについて問う。 (2) 敬老祝金を予算の範囲内で75歳以上すべての高齢者に支給するように、見直す考えはないか。	市長 市長
	3 嘱託職員の待遇改善について	(1) 期末手当に相当するものを支給する考えはないか。 (2) 一般職の通勤手当の見直しがあるが、嘱託職員等への対応は考えられているのか。	市長 市長
	4 教育行政について	(1) 学校給食の無料化について、子育て支援の立場から検討する考えはないか。 (2) 四浦小学校の閉校について、住民への説明・合意をどのように対応したのか。 (3) 四浦地域の現状認識と今後の校区、自治会の在り方等検討されての対応か。 (4) 地方教育行政法の改正について、新教育長、大綱、総合教育会議について、どのように考えている。	市長 教育委員長 市長 教育委員長 市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1野村広志	1 地方創生について	(1) 国に示す地方創生について、市長の見解を問う。 (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像と、目指すべき方向性について問う。 (3) 定住自立圏構想（鹿屋・都城）の現状と総合戦略との関係性について問う。 (4) 「シシガーデン」の地方創生における関わり方と、今後の展望について問う。	市長 市長 市長 市長
	2 農業振興について	(1) 現在の茶業を取り巻く環境の中、シアトルへのトップセールスを行ったが、今後の見通しについて問う。 (2) 志布志港を活用しての、農産物輸出の現状と課題、また、今後の方針について問う。	市長 市長
2小野広嗣	1 地方創生に向けた取り組みについて	(1) 昨年12月、日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（長期ビジョン）」及びこれを実現するため、今後5か年の目標や施策、基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合戦略）」がとりまとめられ、閣議決定された。こうした国の長期ビジョン、今後の総合戦略について市長の見解を問う。 (2) 2014年度補正予算は、景気回復の流れを家計、中小企業、地方に届けるための経済対策を柱とする。補正予算の目玉として、地域の消費喚起や地方創生のために自治体が各地の事情に応じて使える交付金が創設されたが、本市ではどのように活用するのか。 (3) 「総合戦略」ではその基本目標として、①地方での安定した雇用の創出、②人の流れの転換、③若者の結婚・出産・子育てに対する希望の実現、④時代に合った地域づくりの四つを柱に掲げているが、これらをつまえた我がまちの「地方版総合戦略」策定の方向性について問う。	市長 市長 市長
	2 マイナンバー制度について	(1) 明年1月からスタートする、マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の導入に向け、市としては今後どのように取り組むのか。	市長
	3 教育行政について	(1) 教育委員会制度を見直す「地方教育行政法」が改正され本年4月に施行される。この改正は戦後の教育行政の大きな転換になるとも言われているが、教育委員会制度改革に対する認識と今後の対応について問う。 (2) 施政方針では、豊かな心の育成を図る一環として、不登校や問題行動等の早期発見・早期対応に努め、仮称「いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ問題にも取り組むとあるが、教育相談体制における現状と課題について問う。	市長 教育委員長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 青山浩二	1 市職員採用試験について	(1) 市職員採用試験の現状について問う。 (2) 試験区分、受験資格の考え方を問う。	市 長 市 長
	2 いじめの未然防止や早期発見について	(1) いじめ防止対策推進法の規定に基づき、本市でも「志布志市いじめ問題対策連絡協議会」等が設置されるが、会の果たすべき役割について問う。	市 長 教育委員長
4 小辻一海	1 施政方針について	(1) 本田市政の過去の施策の評価・検証結果をもとに、志布志市振興計画の「7つのまちづくり方針」の施策実現に向けた取り組みについて考えを問う。	市 長
	2 行財政改革について	(1) 財政状況と財政計画について。 (2) 事務事業の見直しについて。 (3) 補助事業の見直しについて。	市 長 市 長 市 長
5 平野栄作	1 教育行政について	(1) 小中学校における区域を越えた入学の現状及び考え方について。 (2) 地域間交流の推進にあたって、阻害要因も発生すると考えられるが見解を示せ。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 福祉行政について	(1) 民生委員の選出の在り方と今後の方向性を問う。 (2) 食の自立支援事業・配食支援事業の現状と今後の方向性を示せ。	市 長 市 長
	3 地方創生への取り組みについて	(1) 事業を推進していく中で、市民への情報提供や事業内容の普及啓発が喫緊の課題であると考えますが、どのような取り組みで進めていくのか。 (2) 既存の団体（校区公民館・ふるさとづくり委員会等）はこれまで地域活性化に向けての取り組みを続けてきているが、地方創生に向けて各種団体も今後更に行政と一緒に事業を展開することで相乗効果が図られると思う。活動に対する支援策等の考えはあるのかを問う。 (3) 交流活動を活性化するためには、校区単位だけではなく地区単位での事業等も検討していくべきではないか。	市 長 市 長 教育委員長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6八代 誠	1 施政方針について	(1) 環境行政の推進について。 ① 「水循環基本法」に基づく、本市における地下水採取に対する規制の見直しについて問う。 ② 本市の湧水に含まれる「硝酸性窒素」の主な要因として考えられるものは何か。また、それを減少させるための取り組みについて問う。	市 長
		(2) 茶業振興について。 ① 販路拡大のためのトップセールス（渡米）の効果と今後の見込みについて問う。 ② 国内外需要者の品質に関するニーズ差に関しての今後の取り組みについて問う。	市 長
		(3) 畑地かんがいの振興について。 ① 各地域（曾於東部、曾於南部、第三曾於南部）の接続率及び水量の確保について問う。 ② 散水装置、省力機械などの導入にともなう、本市の支援事業について問う。 ③ 農道及び排水施設の未整備箇所の現状と今後の取り組みについて問う。	市 長
		(4) 林業の振興について。 ① 志布志港から海外輸出される年間材木量の推移と海外輸出されないA材の国内需要の割合とそれぞれの現時点での単価及び今後の見直しについて問う。 ② 皆伐された後の再生林を推進するための本市が取り組んでいる事業と今後の取り組みについて問う。	市 長
		(5) 教育行政について。 ① 「確かな学力の定着に向けた検討委員会」の現状及び今後の進め方について問う。 ② 今年10月から開始される「土曜授業」の実施方法について問う。	市 長 教育委員長 教育委員長
7市ヶ谷 孝	1 道路行政について	(1) 県道523号（志布志有明線）の野神小学校前の区間における、登下校時の安全に配慮した道路環境整備に対する今後の取り組みについて問う。	市 長
8鶴迫京子	1 平成26年12月定例会・一般質問の進捗状況について	(1) 志布志高校の生徒確保のための支援策について。 (2) 子ども短期入所生活支援事業（ショートステイ）の導入について。	市 長 教育委員長 市 長
	2 商工・観光振興について	(1) 志布志地区商店街活性化の取り組みについて問う。	市 長
	3 施政方針について（水産業振興）	(1) 生産的な漁業活動に向けた今後の取り組みについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年3月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9小園義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎問題について1月に研修し、在り方検討委員会の立ち上げ等議論するとの答弁であったが、対応を問う。	市 長
	2 施政方針について	(1) 志布志市地方創生推進本部について述べているが、今後の具体的な取り組みについて問う。 (人口の現状や将来の見通し)	市 長
	3 介護保険について	(1) 第6期の計画について問う。 (2) 法定外繰入れをして住民の負担を軽減する考えはな いか。	市 長 市 長
	4 健康増進法について	(1) 受動喫煙防止の取り組みについて問う。	市 長
	5 学校教育について	(1) 不登校の児童の現状と認識を問う。 (2) 解消のために具体的な取り組みをどう対応されてい るか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 観光振興について	(1) 観光振興に対する、取り組みの現状と課題について問う。 (2) 地域おこし協力隊の、観光振興における位置付けについて問う。 (3) 志布志港を多面的に活用した、観光・漁業・商工業振興について問う。	市長 市長 市長
	2 住宅政策について	(1) 住宅政策の現状と、今後の方向性について問う。 (2) 空き家の現状と、その対策について示せ。 (3) 空き家の再生推進事業について。 ① 地域おこし空き家再生支援制度について問う。 ② 空き家再生を自治会の再生につなげていく考え方はないか問う。	市長 市長 市長
2 西江園 明	1 ふるさと納税について	(1) 今回本格的に始めようとした動機を問う。 (2) 市内への経済効果の見込みを問う。 (3) 他自治体を研修し参考にしたのか。 (4) 1万円以上寄付した人を対象とした理由を問う。 (5) お礼に特産品約40種類とあるが、このメニューの決定の経緯を問う。 (6) 手続き、クレジット決済について問う。 (7) 広報の方法と職員の対応について問う。	市長 市長 市長 市長 市長
	2 どんぶり選手権について	(1) これに参加する目的を問う。 (2) 過去3カ年のメニューと成績を問う。 (3) その経費の総額と内訳を問う。 (4) 費用対効果と今後の展開を問う。 (5) 既存商店への対策は適正か。	市長 市長 市長 市長
3 岩根賢二	1 保健医療行政について	(1) 5月27日に医療保険改革法が成立した。これを受けて、本市では医療費削減に向けてどのように取り組む考えか。 (2) 医療機関で1年間1回も受診しなかった世帯に対して、何らかの報奨をする考えはないか。	市長 市長
	2 観光行政について	(1) 市のPRと来訪者増にもつなげるフォトコンテストを開催する考えはないか。 (2) 志布志駅の改築計画に併せて、JR日南線のさらなる利用促進をどのように図っていくのか。	市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 平野 栄作	1 補助団体の経営状況の把握及び指導の在り方について	(1) 福祉関連の補助団体として位置付けられる団体がどの程度あるのか。 (2) 経営状況及び事業効果・課題等をどの程度把握しているのか。 (3) 指導・助言及び時代の変化に即した運営の改善等どのように行ってきたのか。 (4) 円滑な運営及びその効果、活性化の促進と市政の効率的運営を図る為には、評価制度や指導調整機能が必要と思うが、今後取り組む考えはないのか。	市長 市長 市長 市長
	2 教育行政について	(1) 市においては、青少年育成市民会議活動を通じて、地域ぐるみでの青少年健全育成を実施している。 近年、青少年育成校区民会議（今年度から、キラリ輝く「しゅしっ子」育成事業）で開催する行事に参加する児童が、ボランティアカードを持参するケースが多くなった。 企画者側からみると、参加してもらえることはありがたいが、ボランティア参加として捉えることが適当なのか疑問に思える。 ボランティアカードの活用について見解を問う。	教育委員長
	3 学校施設の愛校作業に伴う刈り草等の処分について	(1) 小・中学校における敷地内の環境整備は、学校・PTA・地域等により実施されているところである。 作業実施後に発生する、多量の刈り草等の搬出に頭を悩ませている現状がある。搬出に、ごみ収集車（パッカー車）を市で提供する考えはないか。	市長 教育委員長
5 小野 広嗣	1 認知症対策について	(1) 政府は本年1月、認知症の人への支援を強化する、「認知症施策推進総合戦略」を決め、基本的理念として「認知症の人の意志が尊重され、住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現」を掲げているが、本市の認知症対策の推進状況と今後の取り組みはどうなっているのか。	市長
	2 特定健診について	(1) 生活習慣病の予防、早期発見を目指す厚生労働省の特定健診・特定保健指導は、スタートから5年を経て2期目に入ったが、本市の今後の課題と受診率向上に向けた取り組みについて示せ。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小野 広嗣	3 ICTの利活用について	(1) 行政機関が保有する地理空間情報、防災・減災情報、調達情報、統計情報などの公共データを、利用しやすい形で公開する、オープンデータの展開については、今後どう取り組むのか。 (2) 授業にICTを取り入れ、学ぶ意欲や理解度を高めようと、小・中学生に授業用のタブレット(多機能携帯端末)を配布する自治体が増え始めているが、本市においても導入を図るべきではないか。	市 長 市 長 教育委員長
	4 社会保障に関する教育について	(1) 社会保障に関する学習は、子どもの将来の生活に関わる重要な教育の一環であると思うが、中学校ではこのことについてどのように取り組んでいるのか。	教育委員長
6 青山 浩二	1 人口減少対策の取り組みについて	(1) 若者の流出防止策について問う。 (2) 就労の場の確保に向けた取り組みについて問う。 (3) 将来的(中・長期的)な、人口の目標「人口ビジョン」について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 教育行政について	(1) 学校と地域の連携(コミュニティ・スクール)について問う。	市 長 教育委員長
7 八代 誠	1 教育振興策について	(1) 市内の公立・私立高等学校の通学に対する支援策等と、市内在住の高校生に対する支援策について問う。	市 長 教育委員長
	2 自治会の在り方について	(1) 過疎化及び少子高齢化に伴い運営が大変厳しいとされる、市内自治会の現状と今後の支援策について問う。	市 長
8 丸山 一	1 防災について	(1) 災害に強い街づくりを問う。 ① 上通山～押切西～菱田川への既存排水路の増設について考えられないか。 ② 旧南部消防署跡地前から一丁田方面への線路跡地の排水対策について問う。 ③ 市道一丁田・宇都鼻線の肆部合地区内の排水対策について問う。 ④ 市内沿岸地域に避難タワーを設置する考えはないか。	市 長
9 市ヶ谷 孝	1 道路行政について	(1) 市内の県道・市道における管理体制について問う。 ① 市道の総合的な管理体制について問う。 ② 県道の改善要求への対応について問う。 ③ 各自治会の市道等伐採清掃の在り方について問う。 ④ 道路の維持管理にかかる費用の妥当性について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年6月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9市ヶ谷 孝	2 選挙について	(1) 選挙における投票率低下への対策について問う。	市 長 教育委員長
	3 空き家対策について	(1) 空家等対策の推進に関する特別措置法の完全施行を受け、市の今後の空き家対策への影響と推進計画について問う。	市 長
10鶴迫京子	1 健康増進について	(1) 国の医療保険改革法が5月に成立し、予防や健康づくりに積極的に取り組む自治体には新たに財政支援を強化し、医療の効率化を目指すことになった。2016年度以降、自治体などが主催する健康教室への参加者らにポイントを付与する仕組みの拡充を関連法に明確化する等、健康づくりを後押しする。このことを踏まえて今後、健康増進を市民運動に発展させるための施策をどう考えるか。	市 長
		(2) 若者や中高年など、現役世代に向けた健康づくりの施策をどう考えるか。	市 長
		(3) 本市は健康づくり日本一を目指しているが、老化を遅らせ、病気の予防を目指す抗加齢医学（アンチエイジング）に取り組む施設を造る考えはないか。	市 長
	2 都市公園（市営墓地）の管理について	(1) 市営墓地の管理について、現状と今後の考え方を問う。	市 長
11小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎在り方検討委員会の取り組みについて問う。	市 長
	2 志布志事件の判決について	(1) 志布志事件のたたき割り国家賠償請求事件と無罪国家賠償請求事件について、5月15日に判決が出された。この判決をどの様に受け止めたか。	市 長 教育委員長
	3 国民共通番号制度（マイナンバー）について	(1) 10月から番号通知、来年1月から利用を始めるとして計画されているが、具体的な内容と本市の取り組みについて問う。	市 長
	4 国民健康保険について	(1) 国保会計の現状と見通しについて問う。 (2) 財政運営の主体を県にすることで今後の状況はどのように考えるか。	市 長 市 長
	5 生活保護制度について	(1) 保護基準が引き下げられたことで、本市にはどのような影響が出ているのか。 (2) 生活保護法の改正で、申請の在り方等これまでとどう変わったのか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 志布志駅舎の整備計画について	(1) JR志布志駅舎については、志布志市における情報発信拠点施設として、市の顔となるような施設・観光客のおもてなしと市民が交流できる場となるように、長期的展望に立ち整備したいとのことだったが、いまだにその後の整備計画が議会に示されていないが、どうなっているのか。	市 長
	2 職員の資質向上について	(1) 地方創生元年が喧伝され、自治体間競争が激化する中、時代の要請に即応できる人材の育成が急務である。研修制度などの充実をはじめとした人材育成の推進について、考え方を問う。	市 長
	3 日常生活用具給付事業について	(1) 日常生活の便宜を図るため、障がいの種別や程度に応じて日常生活用具が給付されている。国が示している例示品目のほか、障がいのある方々の地域生活における様々なニーズに対応するために市町村独自に用具品目の追加や対象の拡大が行われている。本市では、地域ニーズの掘り起こしや今後の対象品目の追加検討等はどのように考えているのか。	市 長
	4 子どもの貧困対策について	(1) 政府は昨年1月、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を成立させ、8月には対策に必要な施策をまとめた「子供の貧困対策大綱」を閣議決定した。この一連の国の動きについて、市長の認識を示せ。	市 長 教育委員長
	5 投票率向上対策事業について	(1) 選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立したことを受け、本市でも投票率の底上げに向けて「投票率向上対策事業」が今定例会に提案されているが、これまでの課題と、今後の具体的な取り組みについて示せ。また、教育現場における主権者教育の現状について示せ。	市 長 教育委員長
	6 交通安全対策について	(1) 6月1日の道路交通法の改正に伴う、信号無視や一時不停止などの危険行為を繰り返す自転車運転者への自転車運転者講習の受講の義務化について、市当局・教育委員会の認識を示せ。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 野村広志	1 農業振興について	(1) 子牛価格の高騰に伴う、肥育農家等の経営安定化策について問う。	市 長
		(2) 志布志市農業公社における役割と、今後の課題と展望について問う。	市 長
		(3) 農業振興における、各種制度・交付金事業についての取り組み状況と課題について問う。 ① 多面的機能支払交付金事業 ② 機構集積協力金事業 ③ 環境保全型農業直接支払交付金事業	市 長
		(4) 農業振興における総合的な相談窓口を設置する考えはないか。	市 長
3 玉垣大二郎	1 防災行政について	(1) 通山・押切海岸の侵食について問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 都城志布志高規格道路建設における代替道路の建設計画の状況について問う。 (2) 市道の管理について問う。 ① 中央線・外側線について ② 街路樹について	市 長 市 長
4 平野栄作	1 市道の維持管理並びに整備について	(1) 平成24年9月定例会において、橋梁長寿命化と景観対策について質問したが、その後の対応を問う。 ① 橋梁上の日常管理計画及び実施状況並びに橋梁前後における市道環境整備計画と実施状況。 (2) 蓬原開田等未舗装となっている市道があるが、今後の整備の方向性について問う。	市 長 市 長
	2 防災行政について	(1) 平成23年12月定例会においても質問したが、以下の点についての進捗状況を問う。 ① 消防団へ配備されている機材器具類は順次更新が計画されていると考えるが、車両を除く備品等は今後どのように整備していく考えか。 ② 機能別消防団設置について、情報収集及び調査をしたいという回答であったが、その後の取り組み状況は。 (2) 自主防災組織の育成と機材整備については、昨年から3ヶ年間の補助事業を実施しているが、現時点での組織率の状況と、今後の組織活性化・定着化に向けた取り組みを問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小 辻 一 海	1 国民体育大会について	(1) 第75回国体で本市は成年男子サッカー会場になっているが、現在の取り組み状況と今後の準備運営について問う。 (2) 選手の皆さんに満足していただく会場として、陸上競技場、しおかぜ公園の芝生、施設面等の整備について問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 環境行政について	(1) 生物多様性基本法第13条で、市町村は「生物多様性地域戦略」を定めるよう努めなければならないと規定されているが、本市の生物多様性についての考えと策定に向けた取り組みについて問う。 (2) 外来植物メリケンソウの取り組みの現状と進捗状況について問う。	市 長 市 長 教育委員長
6 八 代 誠	1 港湾及び道路の整備について	(1) 志布志港湾の整備・拡充について、今後の方向性と取り組みを問う。 (2) 東九州自動車道及び都城志布志高規格道路の現状について問う。	市 長 市 長
	1 畜産振興について	(1) 肉用牛の増頭対策について問う。 (2) 肥育牛農家の現状について問う。	市 長 市 長
7 持 留 忠 義	2 茶業振興について	(1) 現在の経営状況と、今後の課題と対策について問う。	市 長
	1 環境行政について	(1) 旧志布志町、松山町、有明町の旧ゴミ処分場は、使用しなくなって長年になる。土壌調査や害虫調査をしたことがあるか。また、今後する考えがあるのか。	市 長
8 東 宏 二	2 観光行政について	(1) 大隅地域の観光開発の一環として、種子島・屋久島へ試験的な高速船の運航はできないか。また、関係機関と協議をする考えはないか。	市 長
	3 枇榔島の栈橋について	(1) 長年栈橋が破損している。島に栈橋が必要だという声が多くなった。船が接岸できる簡単なものは考えられないか。	市 長
	1 政治姿勢について	(1) 国会で議論されている「平和安全法制関連法案」についてどう考えるか。 (2) 志布志事件の県への謝罪要求について、どう検討されたのか。 (3) 本庁舎在り方検討委員会の議論は、どこまで進んでいるか。	市 長 市 長 市 長
9 小 園 義 行	2 マイナンバー制度について	(1) 実施に向けての体制は十分か。	市 長
	3 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 期末手当の支給については、どう検討されたのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年9月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 小園 義行	4 学校教育について	(1) 子育て支援の立場から、多子世帯の給食費を軽減する考えはないか。	市 長 教育委員長
	5 男女共同参画について	(1) 県の教育総合会議での知事の発言についてどう考えるか。	市 長 教育委員長
10 鶴迫 京子	1 観光行政について	(1) 市長の施政方針で、「観光物産の振興については、観光振興計画に基づき、見る観光から訪れる人を喜んで迎えて、文化、歴史、自然に触れてもらい、市民と交流しながら共に喜べるような観光を目指し、ふれあい交流のおもてなしを行ってまいります。」とある。おもてなしについての認識を問う。	市 長
		(2) おもてなしの一環として、公共施設に自動給茶機を設置して志布志のお茶を使用し、PRをもっと積極的にできないか。また、給茶機の設置の現状は。	市 長
		(3) 行政視察など市内外からの研修や、各種会合でのおもてなしの現状は。使用しているお茶やお菓子類は志布志産のものか。	市 長
		(4) 「茶いっぺのまち志布志」と称し、商店等に、市内外を問わず訪れた方々へ、どこでも茶一杯の歓迎ができるよう、お茶購入に一部補助をして、市全体で志布志のリーフ茶のPR運動を積極的に推進するべきであると思うがどうか。	市 長
		(5) 本市のおもてなしを担って活躍しているボランティアグループである観光ガイドのこれまでの活動状況と、成果は。また、これから鹿児島国民体育大会、東京オリンピック、パラリンピックとあるが、市としての対応と観光ガイドの役割をどのように考えているか。間近にせまった国民文化祭への対応も含めて、考え方を問う。	市 長
		(6) 観光ガイドの養成ということで、種子島の鉄砲館では、こどもの観光ガイドが活躍していたが、本市でも小・中・高校生など公募して養成講座を設け、導入する考えはないか。	市 長 教育委員長
		(7) 「花いっぺのまち志布志」と称して、本市の市道・県道沿いの街路に四季折々の花を植えて、花いっぱい癒しとやすらぎの協奏するまち志布志を表現し、志のあるおもてなしの姿を示すべきと思うがどうか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年12月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
1 小野 広 嗣	1 志布志市まち・ひと・しごと“こころざし創生戦略”について	(1) 地方では、進学や就職を機に転出する人が転入者を上回る社会減が、人口減少に拍車を掛けており、いかに社会減を食い止め、人を呼び込むかが問われている。本市ではこの課題に今後、どのように取り組むのか。 (2) 地方創生のポイントは、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることにある。本市では若い世代の経済的安定や、結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援を今後、どのように推進するのか。	市 長 市 長
	2 市道の安全対策について	(1) 市道昭和・弓場ヶ尾線と市道上町線の交差する地点は、見晴らしが悪いうえに信号もなく、極めて危険である。市は、危険回避のためにこれまで警察とどのような協議をしてきたのか。	市 長
	3 市営住宅の入居要件について	(1) 市営住宅の入居申し込みの際、連帯保証人をつけることを義務づけているが、最近では、連帯保証人を確保することが困難な時代状況にある。現状を踏まえた、緩和措置を講ずるべきではないか。	市 長
	4 道徳教育について	(1) 文部科学省は本年3月、特別な教科として格上げする小中学校の道徳について新たな学習指導要領を告示した。本市ではこのような動向をどのように認識し、学校全体の道徳教育の要となる道徳の時間の充実を図るのか。	市 長 教育委員長
2 野 村 広 志	1 福祉・保健行政について	(1) 認知症の現状について (2) 認知症への理解と普及・啓発について (3) 認知症の容態に応じた体制整備について (4) 認知症の方と、それを介護する方に対する支援について	市 長 市 長 教育委員長 市 長 市 長
	2 市民が安心・安全に暮らせる環境づくりについて	(1) 街灯、防犯灯の管理状況と、防犯上危険箇所の把握状況について ① 現状について ② 設置計画及び修繕計画について ③ GIS情報による管理体制について ④ 街灯、防犯灯のLED化について (2) 防犯カメラ設置について ① 現状について ② 課題と今後の設置計画について	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成27年12月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手 方
3 青山浩二	1 人口増対策の取り組みについて	(1) 定住促進住宅用地確保について	市 長
	2 税外収入について	(1) 市の財源確保のため、公共施設の命名権売却（ネーミングライツ）の導入に対する考え方について問う。	市 長 教育委員長
4 八代 誠	1 農業振興について	(1) 茶業振興について、茶業農家に関わる降灰対策の水利用の現状と、今後の課題について問う。	市 長
		(2) 大筋合意した環太平洋連携協定（TPP）を受け、政府では大綱が決定し、大幅な国の予算増が予想される。農林水産業対策費を受けて、本市の農林水産業に対するインフラ整備をはじめとする対策について問う。	市 長
5 平野栄作	1 指定管理者制度について	(1) 平成19年度から導入されているが、具体的にどのような効果があったのかを示せ。	市 長 教育委員長
		(2) 次回から指定管理の期間が5年間に延長されることになるが、事業の評価方法についての考え方を示せ。	市 長 教育委員長
		(3) 利用者の利便性向上や更なる利用率アップを目指すためには、管理者のスキルアップと類似施設管理者間の連携が必要だと考えるが、この点について今後の方向性及び考え方を示せ。	市 長 教育委員長
		(4) 施設や備品類の老朽化が大きな課題であるが、長期的な修繕や改修及び更新計画を指定管理者側に示した上で今回の指定に至っているのか。	市 長 教育委員長
		(5) 委託料を積算する際に、必要経費の算定が必要となると思うが、地域住民からの声も反映させた内容（住宅隣接部の維持管理）となっているのか。	市 長 教育委員長
6 小園義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況を問う。	市 長
	2 マイナンバー法について	(1) 通知カードの配布が進んでいるが、住民には正しく理解されているとは思えない。今後の対応を問う。	市 長
	3 課設置条例について	(1) 今回、農政畜産課を設置するとの提案だが、TPP等対応は十分できると考えるか。	市 長
	4 道路行政について	(1) 県道の改修等の、県との対応について問う。	市 長
		(2) 志布志町大性院地区の改修について、県と具体的な交渉が進んでいるのか。	市 長
	5 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 一時金の支給や、時給の見直しについて考えを問う。	市 長
6 商業振興について	(1) 「地方版総合戦略策定」にあたって、中小商工業者の声を今後どう反映させていくのか。	市 長	